

Victor

取扱説明書

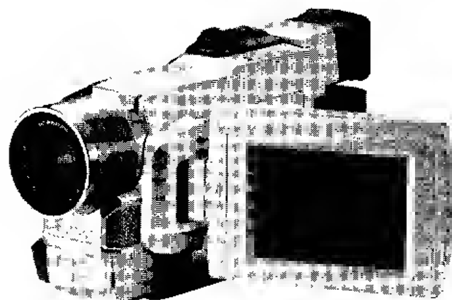
いますぐ使える簡単ガイド（8～12ページ）
ビデオライフの楽しみかた（14～17ページ）
使いこなしダイジェスト（巻末折り返しページ）

お楽しみブック

デジタルビデオカメラ

GR-DVA22K

Mini DV NTSC i DSC DIGITAL STILL CAMERA

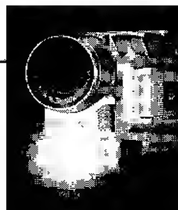




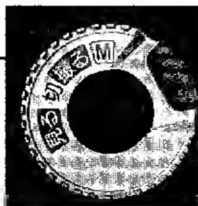
デジタルだから
高画質！



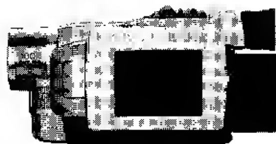
メモリーカード対応で
静止画もOK！



オートビデオライトで
暗い場所でもOK！



簡単操作で
初心者でも安心！



3型液晶画面で
とっても見やすい！

⚠ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」（18～19, 144～151ページ）は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LYT0742-001B

ビクターのデジタルビデオカメラを
お買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、お客様がビデオライフをお楽しみいただけるように、デジタルビデオカメラの操作説明だけではなく、ビデオライフの楽しみかたもご紹介した「お楽しみブック」です。

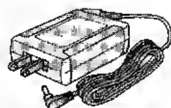
まずは、「主な特長」（☞6～7ページ）をご覧ください。このデジタルビデオカメラは、撮影、再生、編集の際にさまざまな演出ができますので、使いかたを覚えていくにつれて楽しさが拡がっていきます。さらに、メモリーカードに対応しているのでデジタルスチルカメラのように静止画を撮影することもできます。撮影した静止画をパソコンに取り込んでハガキづくりやメール、ホームページにもご活用いただけます。

さあ、いよいよビデオライフの始まりです。「いますぐ使える簡単ガイド」（☞8～12ページ）をご覧になりながら、いますぐデジタルビデオカメラをお楽しみください。また、「ビデオライフの楽しみかた」（☞14～17ページ）をヒントに、お客様それぞれのビデオライフをご満喫ください。

日本ビクター株式会社
ホームAVネットワークビジネスユニット

付属品について

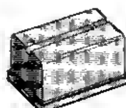
本機の付属品をお確かめください。



ACアダプター
AP-V10



リモートコントロール
RM-V717（リモコン）



バッテリー
BN-V416



ショルダーストラップ



単4乾電池（2本）
（リモコン動作確認用）



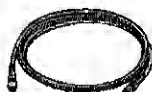
USBケーブル
長さ：約1.1m



CD-ROM



フェライトコア
（1個：別売DVコード用）



編集コード
長さ：約1.5m
自動編集用



AV（映像/音声）コード（φ3.5）
φ3.5ミニプラグ ►ピンプラグ×3
長さ：約1.5m
ビデオカメラとテレビ、
またはビデオデッキ接続用

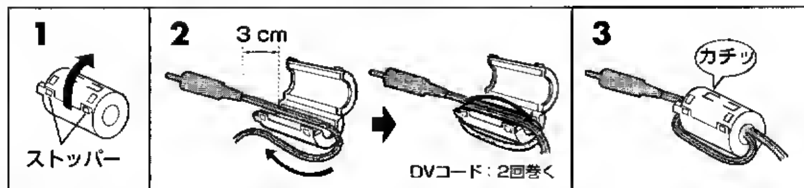


S映像コード
長さ：約1.5m
ビデオカメラとS映像対応のテレビ、
またはビデオデッキ接続用

映像機器と接続したときにおきるノイズを軽減するために付属のケーブルまたはコードにフェライトコアがつくことがあります。
この場合、フェライトコアのついている側の端子をビデオカメラに接続してください。

フェライトコアの取り付けかた

別売のDVコードをお使いになるときに取り付けてください。映像機器と接続したときにおきるノイズを軽減することができます。



1 両端のストッパーをはずして開く

2 フェライトコアにコードを2回巻く
- 端子から約3cmの位置にフェライトコアを取り付けます。

3 コードをはさみ、カチッと音がするまで閉じる

■ 接続するときは、フェライトコアを取り付けた側の端子をビデオカメラに接続してください。

楽しいビデオライフストーリー

付属品については3ページをご覧ください。

(目次)

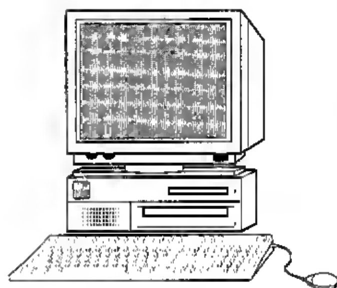
「使いこなしダイジェスト」は、巻末の折り返しにあります。

主な特長　ビクターのデジタル

パソコンで画像が遊べる「メモリーカード対応」



付属のCD-ROMとUSBケーブルを使うとメモリーカードに記録した静止画を簡単にパソコンに取り込めます。また、別売のアダプターを使用すれば、パソコンにケーブルを接続しないで直接静止画像を取り込めます。
☞ 120、121ページ

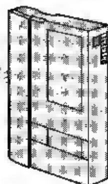


記念日に、育児日記に「静止画モード」

静止画を色々なモード（フレーム、フル、ピンナップ、マルチ4、マルチ9）で撮影できます。
☞ 52、70ページ

デジタル編集ができる「DV入力/出力対応」

別売のDVコードでDV端子を搭載するデジタルビデオ機器などと接続することで、画質・音声劣化のないダビング編集ができます。
☞ 100、101ページ



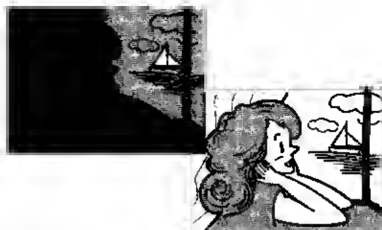
アナログからデジタルへ「アナログ入力対応」

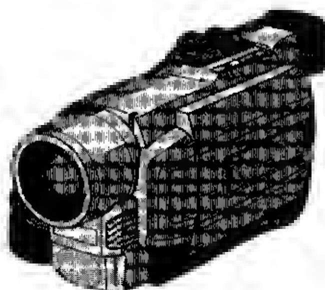
昔撮ったVHS-Cテープや8mmテープのアナログ映像をデジタル映像としてダビングできます。
☞99ページ

ビデオカメラで楽しさこんなに拡がる！

逆光でも暗くならない「逆光補正」

太陽などで背景が明るい場合に被写体が暗く写ります。逆光補正ボタンを押すだけで暗くならないように補正できます。
☞ 54ページ





暗いところでも安心の「オートライト」

撮影時にまわりの明るさを感知して、自動的にライトが点灯します。暗い場所でも撮影が可能です。
☞ 51ページ



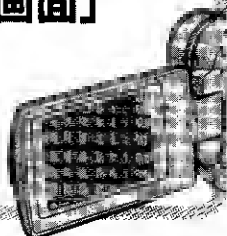


映像に変化をつけて楽しめる「デジタル演出」

映像に変化をつけてさまざまな演出をほどこした録画や再生ができます。☞ 67、90、93ページ

見やすく撮りやすい「3型液晶画面」

大型液晶画面で撮影映像や再生映像が見やすくなりました。



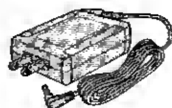
ビデオテープに
いますぐ撮影してみよう

☞は参照ページです。

必要なもの

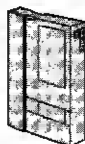
本体



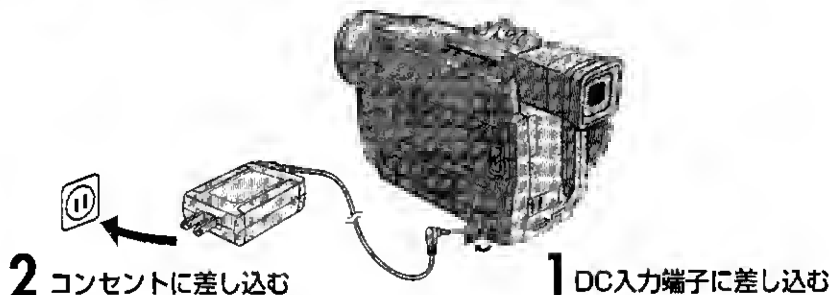


ACアダプター

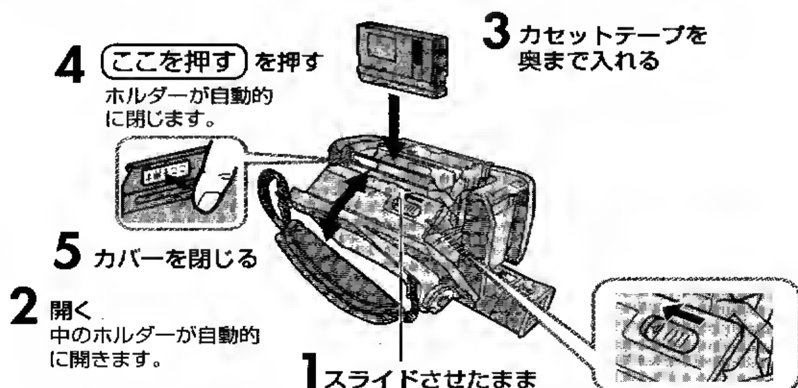
Mini DV（ミニ）
カセットテープ（別売）



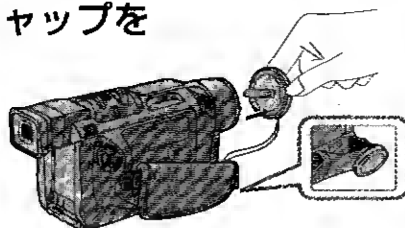
❶ 電源をつなぐ （☞35ページ）

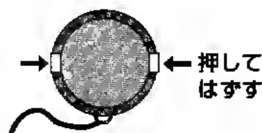


❷ カセットテープを入れる （☞36ページ）



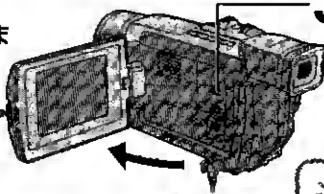
❸ レンズキャップをはずす

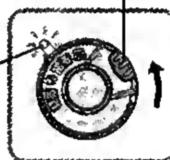


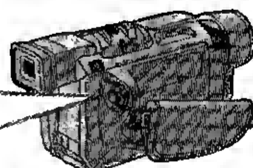


❹ 電源を入れる (☞48ページ)



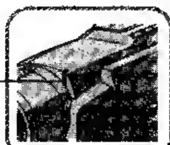


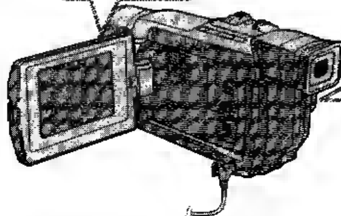




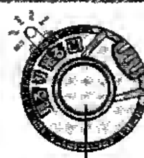
5 電源ダイヤルを「撮る」に合わせる
電源ランプが点灯し、画面に被写体が映ります。

❺ 撮る (☞48ページ)





1 撮影ボタンを押す
- 撮影が始まります。（画面表示：録画）
- 撮影中ランプが点灯します。



液晶画面



撮影中

2 再度撮影ボタンを押すと、撮影一時停止になります。

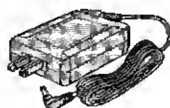
メモリーカードに いますぐ撮影してみよう

☞は参照ページです。

必要なもの

本体





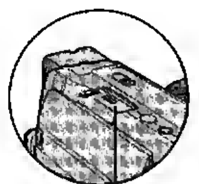
ACアダプター



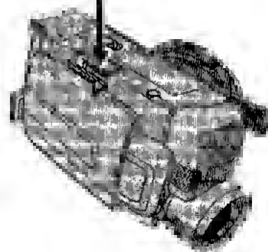
メモリーカード（別売）
（マルチメディアカードまたは
SDメモリーカード）

❶ メモリーカードを入れる (☞37ページ)

1 メモリーカードカバーを開く

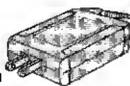


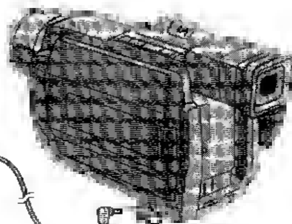
2 メモリーカードを入れる



❷ 電源をつなぐ (☞35ページ)





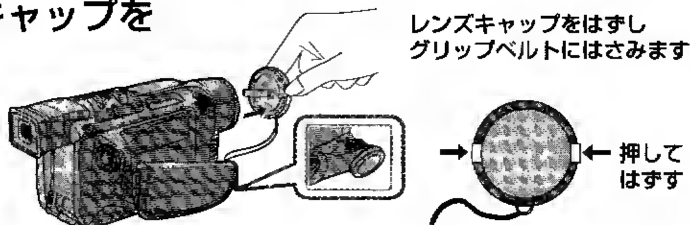


2 コンセントに差し込む

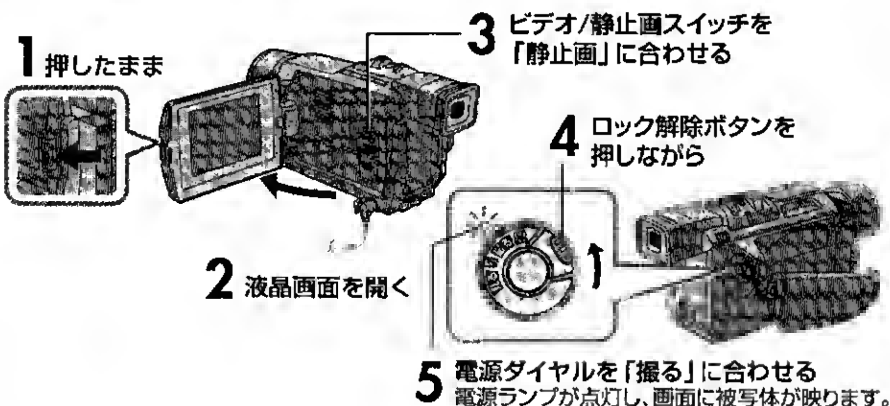
1 DC入力端子に差し込む

すぐ使う

❸ レンズキャップをはずす

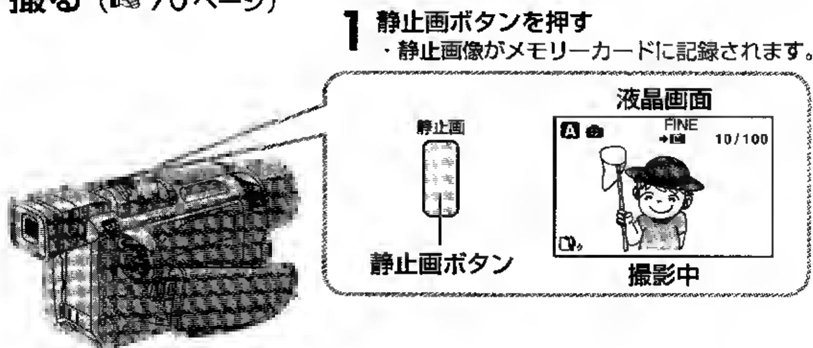


❹ 電源を入れる (☞70 ページ)



❺ 撮る (☞70 ページ)

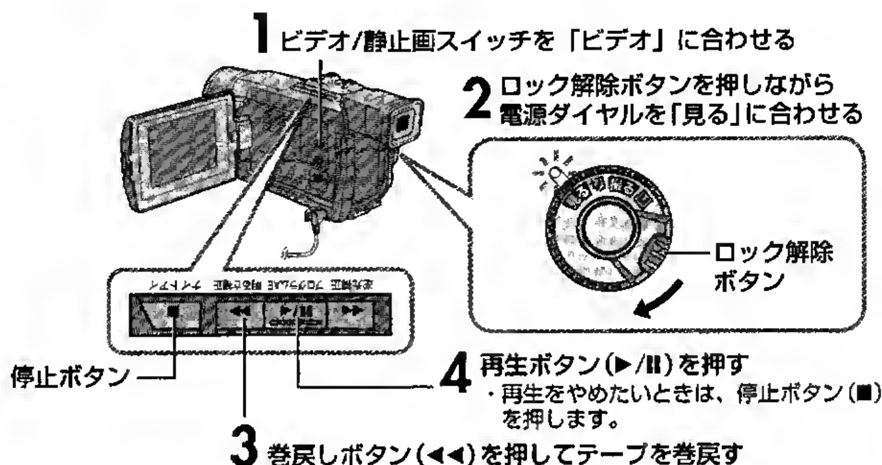
1 静止画ボタンを押す
・静止画像がメモリーカードに記録されます。



いますぐ見てみよう

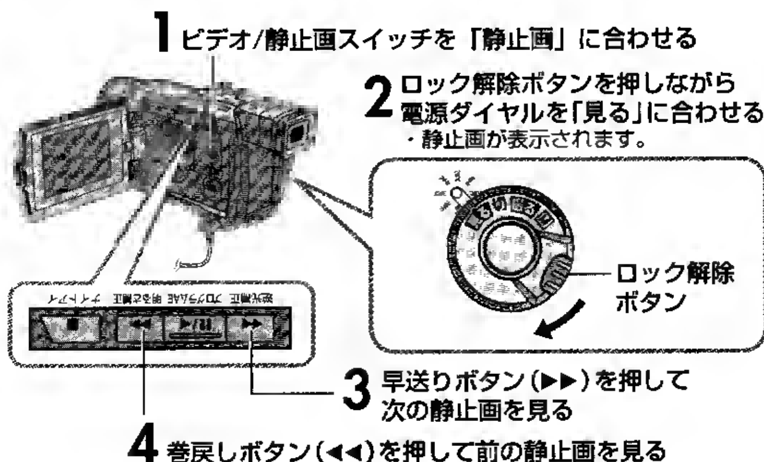
（ビデオテープを再生する）

❶ 再生する （☞56ページ）



（メモリーカードを再生する）

❶ 再生する （☞72ページ）

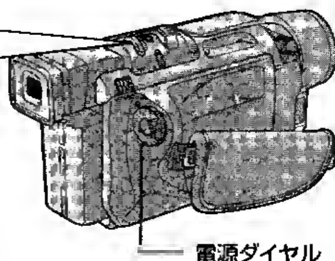


デモンストレーションを見てみよう

本機には、演出効果などの機能を確認するための実演（デモンストレーション）モードがあります。ビデオカメラをお使いになる前に、是非一度ご覧になってください。
お買い上げ時は、「デモモード」の設定が「入」になっていますので、カセットテープを入れずに電源ダイヤルを「撮る」、または「M」に合わせると自動的にデモモードが始まります。

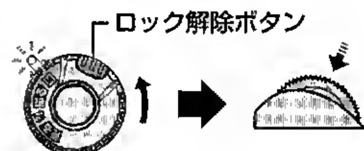
メニューダイヤルの使いかた





❶ ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「M」に合わせ、メニューダイヤルを押す

● メニュー画面が表示されます。



❷ メニューダイヤルを回して「システム設定」を選び、ダイヤルを押す

● システム設定メニューが表示されます。



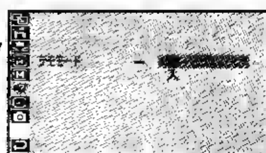
❸ メニューダイヤルを回して「デモモード」を選び、ダイヤルを押す

●「切」と「入」が表示されます。



❹ メニューダイヤルを回して「切」を選び、ダイヤルを押す





❺ メニューダイヤルを 2 回押す

● メニューを終了し、通常の撮影画面に戻ります。





● デモモード表示中にズームスイッチを動かすなどの操作をすると、デモモードを一時的に中断します。その後約 1 分間、何の操作もしないとデモモードが再開します。

ビデオライフの楽しみかた

結婚式で



1. 会場の広さや照明などをチェックしておきましょう。
2. 式次第を事前に確認し、式の流れを把握しておきましょう。
3. 長時間の撮影になるので、十分なバッテリーを用意しておきましょう。
4. 手が疲れるので、三脚を用意しておくと便利です。
5. 新郎、新婦、出席者の表情をアップで撮りましょう。

ワンポイントアドバイス

結婚式はドラマティックなものです。マニュアルで場面切替（☞90ページ）やプログラムAE（☞93ページ）を上手に使って、雰囲気のある映像を撮りましょう。また、タイトルの紙などを事前に用意しておき、撮影しておくと効果的です。

旅行先で



1. 撮影前に、行き先ごとのシナリオを考えておきます。
2. ズームイン・アウトをうまく使ってメリハリをつけて撮りましょう。
3. 人物のだけではなく、まわりの景色も撮りましょう。
4. 場所がわかる標識や看板をタイトル代わりに撮りましょう。
5. 宿泊先の料理なども撮っておくと、思い出になります。

ワンポイントアドバイス

出発するときから、帰ってくるまでを物語風に撮ると、再生のときに楽しくなります。観光スポットでは、歴史や特徴などを声で残しておくのもよいでしょう。暗い場所での撮影には、ビデオライトが役立ちます（☞51ページ）。

運動会で



1. プログラムを事前にチェックしておきましょう。
2. 演技する場所やスタート／ゴールの位置を確認しておきましょう。
3. 運動会の始まる前や、お昼の休憩時間の様子も撮りましょう。
4. お子様だけではなく、周囲のお友達も撮影しましょう。
5. ズームイン・アウトをうまく使ってメリハリをつけて撮りましょう。

ワンポイントアドバイス

運動会の様子を上手に撮るコツは、なんといっても場所の確保です。早めに行って、三脚をセットしておくのもよいでしょう。もし、逆光になるときには、逆光補正機能（☞54ページ）を使って撮影すると、暗くならずに撮れます。

パーティで

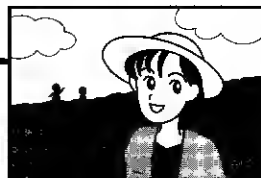


1. 参加者ひとりひとりの顔を撮りましょう。
2. 歌や隠し芸のときには、観客の表情も撮りましょう。
3. パーティの食事や飾り物などもアップで撮りましょう。
4. パーティ会場の外観も撮っておくと、思い出になります。
5. 十分なバッテリーを用意して出かけましょう。

ワンポイントアドバイス

パーティでは、楽しいショットがたくさんあります。ビデオだけではなく、メモリーカードに静止画（記念写真）を撮っておくと（☞ 70ページ）、後でメールで送ったりハガキにプリントするときに役立ちます。

ビデオレターをつくる

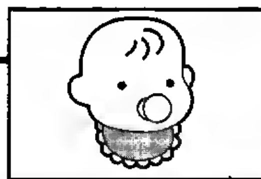


1. カメラ目線で送り主にメッセージを伝えます。
2. ひとりで撮影するときは、リモコンや三脚を使うと便利です。
3. 映像だけではなく、ナレーションを入れて撮影しましょう。
4. 運動会や旅行などの近況を入れると充実します。
5. ラベルには、撮影日と内容、送り主を書いておきましょう。

ワンポイントアドバイス

ビデオレターは、誰にどんなことを伝えたいかを明確にしてから撮影しましょう。今まで撮影したビデオを編集して入れると、楽しいビデオレターに仕上がります。また、受け取る方の名前を撮影しながら音声で入れると喜ばれるでしょう。

育児アルバムをつくる



1. 1ヵ月ごとなど、定期的に撮ると成長していく様子がよくわかります。
2. 誕生日用のビデオテープを決めて、毎年撮るのもよいでしょう。
3. 撮影したビデオテープには、年齢も明記しておきましょう。
4. パパ、ママなど家族の表情やコメントも入れましょう。
5. 撮影後にアフレコ編集で音楽などを加えると楽しいビデオになります。

ワンポイントアドバイス

お子様を撮影したビデオテープがたまってきたら、編集して（☞ 98～101ページ）ダイジェストにまとめておくと、何年か経ったときに見やすくなります。また、身長や体重がわかるように、測定している場面を撮ると成長記録になります。

メールで画像を送る



1. メモリーカードに静止画を撮りましょう。
2. パソコンに静止画を取り込みましょう。
3. 画像加工用のソフトを使って、画像に変化をつけるのもよいでしょう。
4. メールソフトを使って、送りたい方に画像を送ります。
5. メールなら、同時に何人でも送ることができます。

ワンポイントアドバイス

メモリーカードに静止画を撮影しておくと、パソコンに取り込んでメールで送ることができます。パーティなどに参加した方にメールアドレスを聞いておき、送ってあげると喜ばれます。クリスマスカードや年賀状としても楽しめます。

はじめに

写真入り挨拶状をつくる

結婚しました！



1. 挨拶状に使いたい画像をメモリーカードに撮影します。
2. メモリーカードに撮影した画像をパソコンに取り込みます。
3. デザインソフトを使って、挨拶状のレイアウトをします。
4. そこに画像を貼り付けます。
5. ハガキにプリントします。

ワンポイントアドバイス

メモリーカードに静止画を撮影しておくと、年賀状・暑中見舞い・結婚報告などの挨拶状に活用することができます。パソコンを使ってデザインし、ハガキにプリントすれば、写真入りオリジナル挨拶状が作成できます。

⚠ 安全に使っていただくために

安全のために必ずお守りください

⚠危険
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

⚠警告
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵記号が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵記号の意味をよく理解して本文をお読みください。

●注意（危険、警告を含む）が必要なことを示す記号


一般的注意


手がはさまれる


高温に注意

●してはいけない行為（禁止行為）を示す記号


禁止


水場での使用禁止


接触禁止


分解禁止


ぬれ手禁止


水ぬれ禁止

●必ずしてほしい行為（強制、指示行為）を示す記号

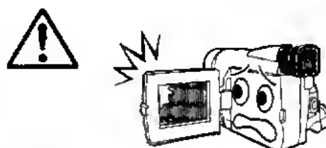
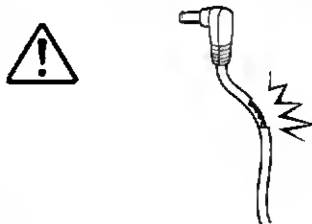

一般的指示


プラグをコンセントから抜く

⚠警告



こんなときはバッテリーをはずすか、電源プラグを抜いてください。

煙が出たり、へんな臭いがするとき	落としたり、壊れたとき
	
内部に水や異物が入った	ACアダプターのコードが傷んだとき
	

・販売店に修理を依頼してください。
・そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
・お客様ご自身による修理は危険です。絶対におやめください。

144～151ページの「安全上のご注意」もお読みください。

ご使用の前に

大切な撮影の前に

- 本機はデジタルビデオカメラ（DVC）とデジタルスチルカメラ（DSC）の機能を搭載しています。
  （MiniDV）マークの付いたデジタルビデオテープをご使用ください。
  （*MultiMediaCard*）マーク、または（SD）マークのついたメモリーカード（マルチメディアカードまたはSDメモリーカード）をご使用ください。
- 大切な録画の場合は、必ず事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確かめてください。
- 万一、デジタルビデオカメラ、テープおよびメモリーカード等の不具合により、正常に録画、録音や再生できなかった場合、内容の補償についてはご容赦ください。
- 本機のマイクやカメラセンサー部分に手や指をかけないようにしてください。雑音が入ったり正しい明るさで撮影できなかったりすることがあります。

著作権について

あなたがビデオカメラで録画、録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。（なお、鑑賞や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場所がありますのでご注意ください。）

アイコンの見方



操作上の注意などが書かれています。



知っているとちょっと便利な内容やキーポイントが書かれています。



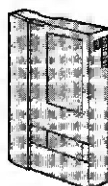
機能や使用上の制限などが書かれています。

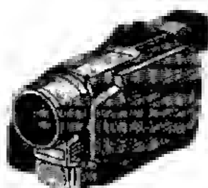

参照ページや参照項目を示しています。

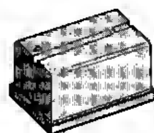
準備 撮影する前に準備しましょう

ミニDVカセットテープを用意しましょう！（別売）

バッテリーを充電しておきましょう！







各部のなまえとはたらき

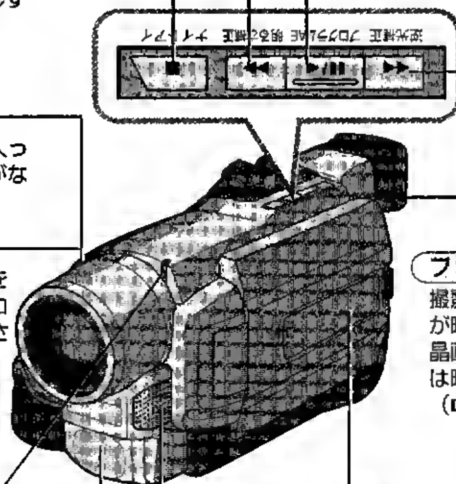
ビデオカメラ本体

巻戻し/明るさ補正ボタン
- テープを巻き戻します。
- メモリーカードの再生時、前の静止画を再生します。
- 撮影時の明るさ補正に使用します。（☞56、72、87ページ）

再生/一時停止/プログラムAEボタン
- テープを再生または再生一時停止（静止）します。
- メモリーカードの再生時、オートプレイを開始します。
- 撮影時、映像に変化をつけるときに使用します。（☞56、72、94ページ）

早送り/逆光補正ボタン
- テープを早送りします。
- メモリーカードの再生時、次の静止画を再生します。
- 撮影時の逆光補正に使用します。（☞54、56、72ページ）

停止/ナイトアイボタン
- テープを停止します。
- メモリーカードの再生時、オートプレイを停止します。
- ナイトアイモードで撮影すときに使用します。（☞56、72、95ページ）



カメラセンサー
撮影に必要なセンサーが入っています。指などでふさがないようにしてください。

リモコン受光部
リモコンからの操作信号を受信します。ここにリモコンを向けて操作してください。（☞30ページ）

ファインダー
撮影中、再生中に映像が映ります。ただし液晶画面が開いている時は映像が映りません。（☞43ページ）

撮影照明
撮影モードのときに点灯します。（☞130ページ）

撮影中ランプ
テープに撮影中、点灯します。（☞48ページ）

ステレオマイク
音声がステレオで入力されます。また、アフレコ編集で音声を吹き込みます。（☞102ページ）

ビデオライト
ライトが点灯します。（☞51ページ）

静止画ボタン
静止画を撮るときに押します。
メモリーカードやテープに静止画が記録されます。
（☞52、70、114、116ページ）

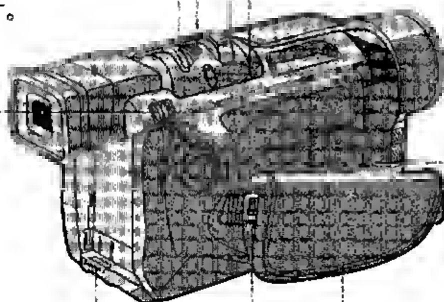
メニューダイヤル
メニュー操作や液晶画面の明るさ調節を行います。
（☞42、123ページ）

バッテリー取外しスイッチ
バッテリーを取りはずすときにスライドさせます。
（☞34ページ）

ズームスイッチ
映像のズームを行います。（☞50ページ）

音量スイッチ
テープの再生中にスピーカー音量を調節します。（☞57ページ）

フォーカス／ブランクサーチ／ジャンプボタン
・ピント合わせに使用します。
・ビデオテープの中にある5秒以上の無記録部分を探します。
・静止画のジャンプ再生を行います。
（☞59、73、86ページ）



端子カバー
下から上に開きます。

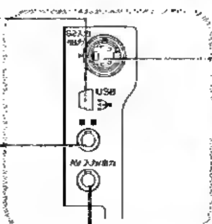
ショルダーストラップ取り付け部
ショルダーストラップを取り付けます。
（☞32ページ）

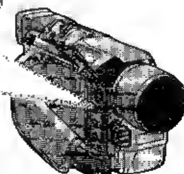
グリップベルト
（☞33ページ）

S2入力／出力端子
S映像コードでS端子付きのビデオ機器に接続します。
（☞58、98、108ページ）

USB端子
付属のUSBケーブルでパソコンに接続します。
（☞120ページ）

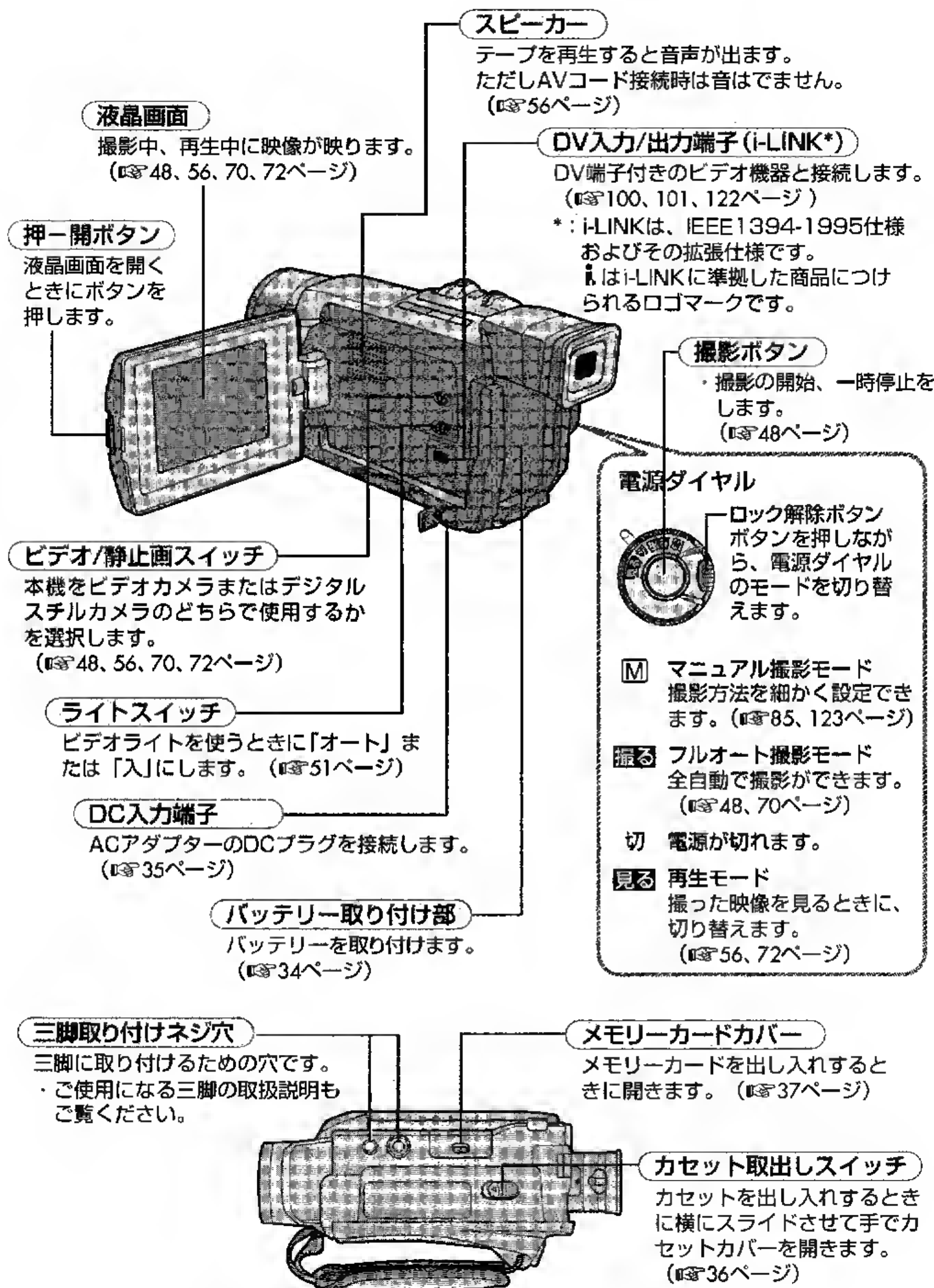
編集端子
・付属の編集コードでリモコンに接続します。
（☞108ページ）





AV入力／出力端子
付属のAVコードでテレビやビデオデッキに接続します。
（☞58、98、108ページ）

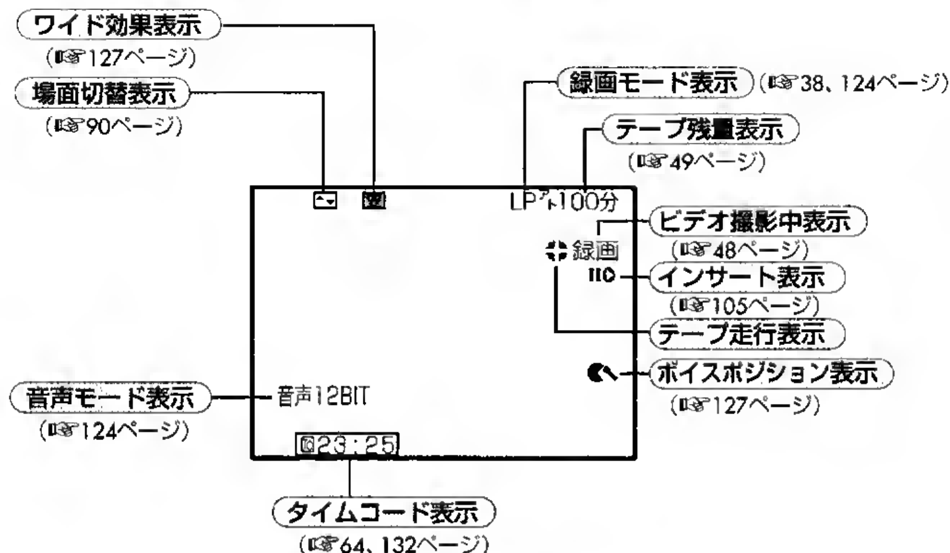
各部のなまえとはたらき



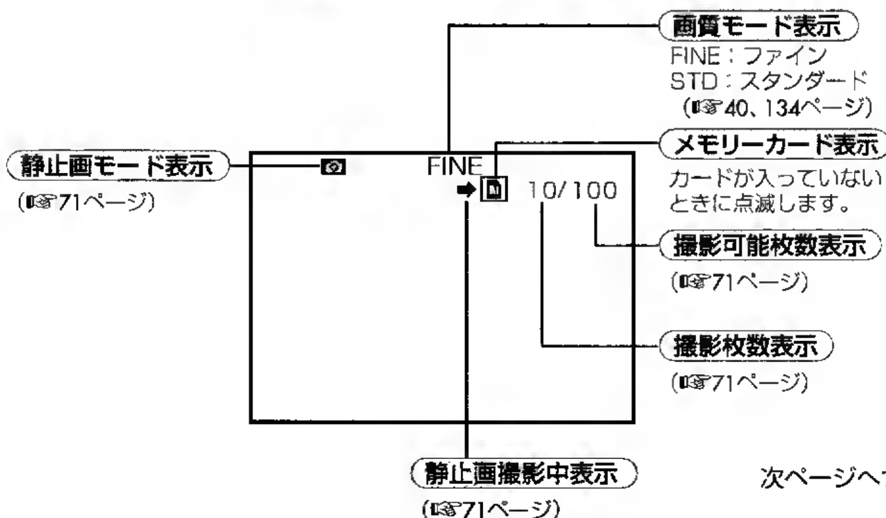
液晶画面とファインダー表示

ー撮影時の表示ー

（テープに撮影するときの表示［ビデオ撮影表示］）

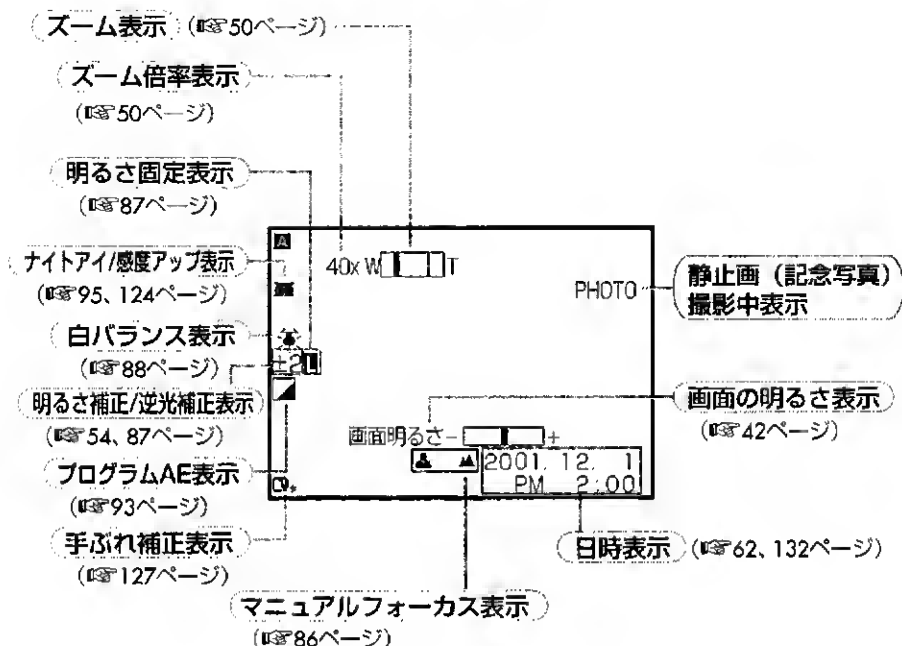


（メモリーカードに撮影するときの表示［静止画撮影表示］）



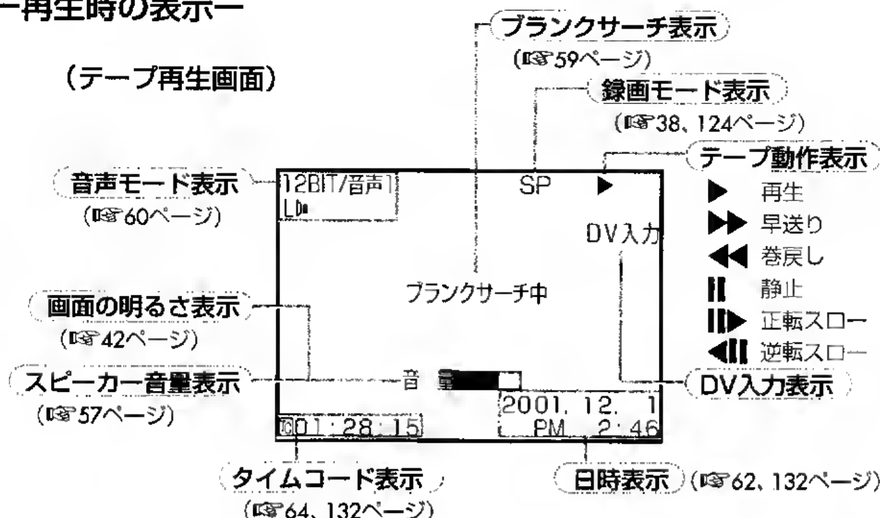
次ページへつづく

（ビデオ撮影時／静止画撮影時共通の表示）

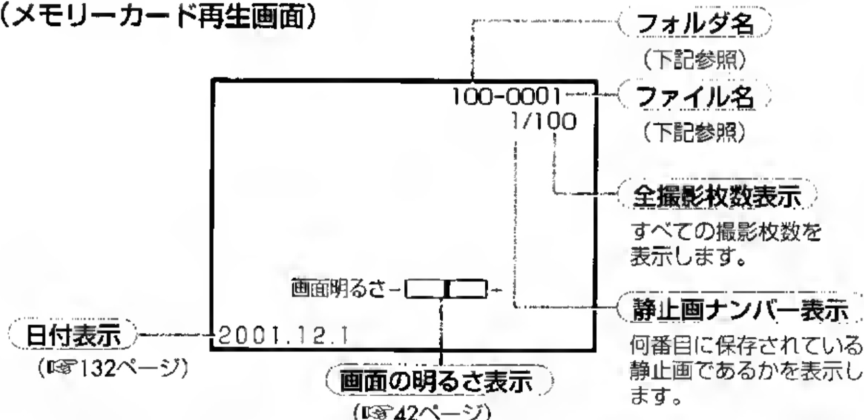


ー再生時の表示ー

（テープ再生画面）



（メモリーカード再生画面）



ファイル名とフォルダ名について

"100-0001" と表示された静止画は、メモリーカードには、次のディレクトリ構造で保存されています。

OCIM¥100JVCGR¥0VC00001.JPG

静止画はすべて JPEG（ジェイペグ）形式で保存されます。

ファイル名は 0VC00001 ～ 0VC09999 まで有効です。0VC09999 まで使用されると新しいフォルダができ、ファイル名は 0VC00001 に戻ります。このときのディレクトリ構造は、次のようになります。

OCIM¥101JVCGR¥0VC00001.JPG

また、ファイル名は既に存在しているファイル名の中で一番大きい番号の次の番号が付けられていきます。

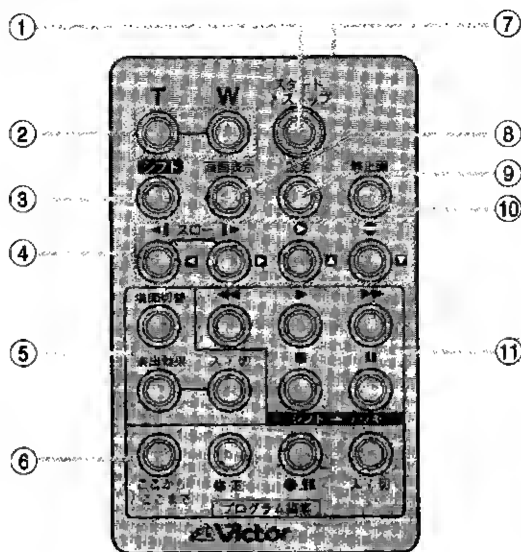
お知らせ表示

表示	表示内容	参照
	バッテリーの残量を表示します。 残量大　→　→　→　残量なし バッテリーが少なくなると　が点滅します。 バッテリーがなくなると自動的に電源が切れます。	☞49
	テープが入っていないときや、テープの誤消去防止用ツマミが「SAVE」側にあるときに表示されます	☞153
テープを入れて下さい!	テープが入っていないときに撮影ボタンや静止画ボタンを押すと表示されます。	—
テープおわり	録画や再生中に、テープが終わると表示されます。	—
レンズキャップ	レンズキャップがレンズについていると表示されます。	—
日時を設定して下さい	内蔵の時計用電池の容量がなくなり、日時情報が失われると表示されます。電池の交換は最寄りの「ビクターサービス窓口」にご相談ください。	☞154
テープがちがいます!	異なるフォーマットのテープを入れたときに表示されます。	—
テープへ記録できません テープのツマミを確認して下さい	誤消去防止用ツマミが「SAVE」側のテープで録画しようとしたときに表示されます。	☞153
コピーガードがかかっています	コピーガードがかかった信号を本機でダビング（録画）しようとしたときに表示されます。	—
音声16BIT (12BIT)	電源ダイヤルを「撮る」または「M」に合わせて電源が入ると、音声モードが約5秒間表示されます。	—
DV入力	DV入力状態で録画一時停止または録画中に表示されます。	☞101
アナログ入力	アナログ入力状態で録画一時停止または録画中に表示されます。	☞99
メモリーカードを入れて下さい!	メモリーカードが入っていないときに静止画ボタンを押すと表示されます。	—
メモリーがいっぱいです	メモリーカードのメモリー（容量）がいっぱいになったときに表示されます。	—
カードエラーです	メモリーカードの認識を60秒以内にできなかったときに表示されます。メモリーカードを入れなおしてください。数回くり返しても表示が消えないときはメモリーカードのデータがこわれています。	

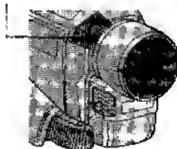
表示	表示内容	参照
記録された画像がありません	静止画が記録されていないメモリーカードを再生したときに表示されます。	—
メモリーカードへ記録できません	テープからメモリーカードへ静止画をコピーするとき、メモリーカードが入っていない、メモリーカードの容量がない、メモリーカードがフォーマットされていない、またはSDメモリカードのライトプロテクトがかかっているときに表示されます。	☞115
テープへ記録できません	メモリーカードからテープに静止画をコピーするとき、テープが入っていない、テープの誤消去防止ツマミが「SAVE」側にある、テープが終わっている、またはつゆつきが発生しているときに表示されます。	☞117
メモリーカードをフォーマットして下さい	フォーマットされていないメモリーカードを入れたときに表示されます。	☞84
ライトプロテクトがかかっています	ライトプロテクトのかかったSDメモリカードで撮影しようとしたときに表示されます。	
音声アフレコできません	テープの無記録部分でアフレコ編集しようとしたときに表示されます。	☞103
音声アフレコできません <LPモードで記録されています> <16BITで記録されています> <テープのツマミを確認して下さい>	• LPモードで記録されたテープでアフレコ編集しようとしたときに表示されます。LPモードで記録されたテープにはアフレコ編集できません。 • 16BIT音声で録音されたテープでアフレコ編集しようとしたときに表示されます。16BIT音声で録音されたテープにはアフレコ編集できません。 • 誤消去防止用ツマミが「SAVE」側のテープでアフレコ編集しようとしたときに表示されます。	☞103
インサート録画できません	テープの無記録部分でインサート編集しようとしたときに表示されます。	☞105
インサート録画できません <LPモードで記録されています> <テープのツマミを確認して下さい>	• LPモードで記録されたテープでインサート編集しようとしたときに表示されます。LPモードで記録されたテープにはインサート編集できません。 • 誤消去防止用ツマミが「SAVE」側のテープでインサート編集しようとしたときに表示されます。	☞105
E01～06 セーフティが働きました バッテリーを外して付け直して下さい	ビデオカメラに生じたトラブルを判断するための表示です。 E01～06が表示されるとビデオカメラは自動的に停止します。バッテリーなどの電源を外してください。数分待ち、再び電源を入れてください。2、3度くり返しても表示が消えないときは、お買い上げ販売店か、ビクターサービス窓口にご相談ください。	—
ヘッドが汚れています クリーニングカセットをためして下さい	ヘッドが汚れているときに表示されます。 クリーニングカセットを再生して、ヘッドを清掃してください。	☞142
ツユがつきました しばらくお待ち下さい	つゆつきが発生したときに表示されます。 表示が消えるまで1時間以上お待ちください。	☞143

リモコン

付属のリモコンを使って、ビデオカメラをリモートコントロールすることができます。ビデオカメラのリモコン受光部に向けて使用します。



リモコン
受光部



リモコンの操作方法

操作範囲は屋内で約5m です。
ビデオカメラのリモコン受光部に向けて操作してください。角度によっては操作できない場合があります。また、ビデオカメラのリモコン受光部に直射日光や照明の強い光が当たるとビデオカメラが誤動作したり、動作しないことがあります。



リモコン電池の入れかた

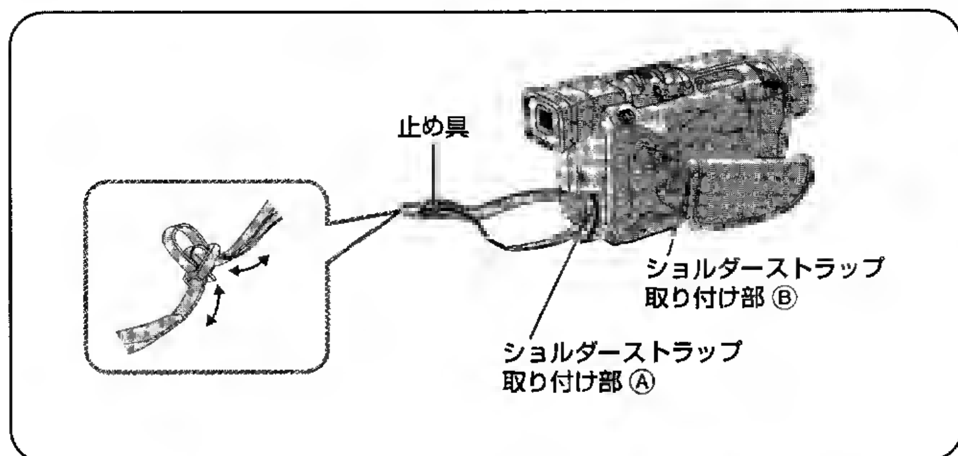


(リモコンの裏側)

ボタン名		ボタンの機能	参照ページ
①	スタート/ストップボタン	撮影をスタートまたはストップする。	-
②	T　ズームボタン W　ズームボタン	映像が大きくなる。 大きくした映像が元に戻る。	50、66
③	シフトボタン	拡大した再生映像を上下左右に動かす。	66、106
④	◀▌ スロー(逆転)ボタン/左ボタン	テープをスローで巻き戻し再生する。 再生ズームした映像を左に動かす。	57、66
	▌▶ スロー(正転)ボタン/右ボタン	テープをスローで再生する。 再生ズームした映像を右に動かす。	57、66
	インサートボタン/上ボタン	インサート編集を行う。 再生ズームした映像を上に動かす。	66、104
	アフレコボタン/下ボタン	アフレコ編集を行う。 再生ズームした映像を下に動かす。	66、102
⑤	場面切替ボタン	自動編集中、場面切替効果を選択する。	108、109
	演出効果ボタン	再生中や自動編集中、演出効果を選択する。	67、109
	演出効果 入/切ボタン	再生映像に演出効果を加える。	67
⑥	ここから/ここまでボタン	自動編集の開始と終了を指定する。	108、109
	修正ボタン	自動編集を修正する。	110
	●❚❚ ビデオ準備ボタン	自動編集でビデオデッキを録画一時停止にする。	110
	入/切ボタン	自動編集表示画面を表示する。	108
⑦	リモートポーズ（入力） 端子	編集コードを接続する。	108
⑧	画面表示ボタン	テレビに出てくるメッセージを出したり、消したりする。	98、132
⑨	設定ボタン	編集に使用するビデオデッキのメーカーを設定する。	106
⑩	静止画ボタン	静止画を撮影する。	-
⑪	◀◀ 巻戻しボタン	テープを巻き戻す。 前の静止画を再生する。	57、72
	▶ 再生ボタン	テープを再生する。 オートプレイを開始する。	57、72
	▶▶ 早送りボタン	テープを早送りする。 次の静止画を再生する。	57、72
	■ 停止ボタン	テープを停止する。 オートプレイを停止する。	57、72
	❚❚ 一時停止ボタン	テープを一時停止する。	57

ショルダーストラップを取り付ける

移動中、落下したりしないようにしっかりと取り付けます。



❶ ショルダーストラップ取り付け部 Ⓐ に通す

ショルダーストラップの先をショルダーストラップ取り付け部 Ⓐ に通します。

- バッテリーやDCコードは、はずしておきます。

❷ 止め具に通す

ショルダーストラップの先を長さ調整用の止め具に通します。

❸ 長さを調節する

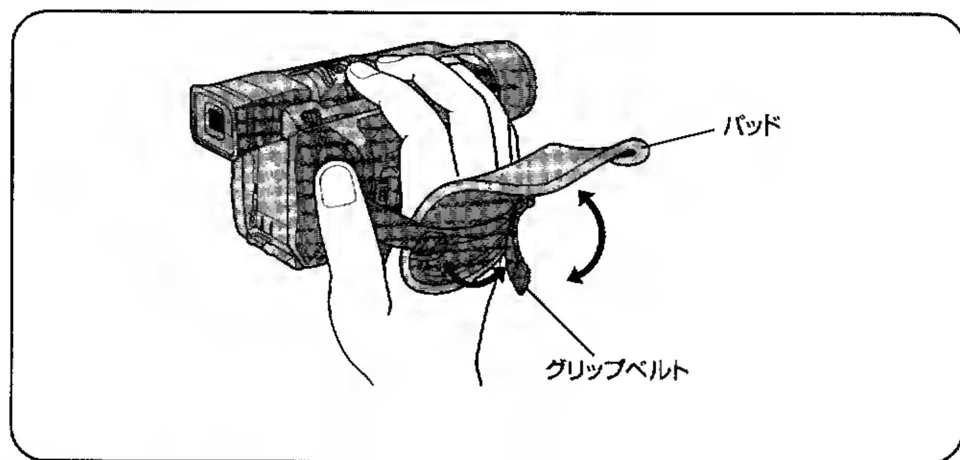
調整用バックルに通っているショルダーストラップを少しゆるめて、長さを調節します。

❹ ショルダーストラップ取り付け部 Ⓑ についても同様に❷〜❸を繰り返す

ショルダーストラップを引っぱり、確実に取り付けられたか確認します。

グリップベルトを手に合わせる

手の大きさに合わせて、グリップベルトを調節します。



準備

❶ パッドをはがす

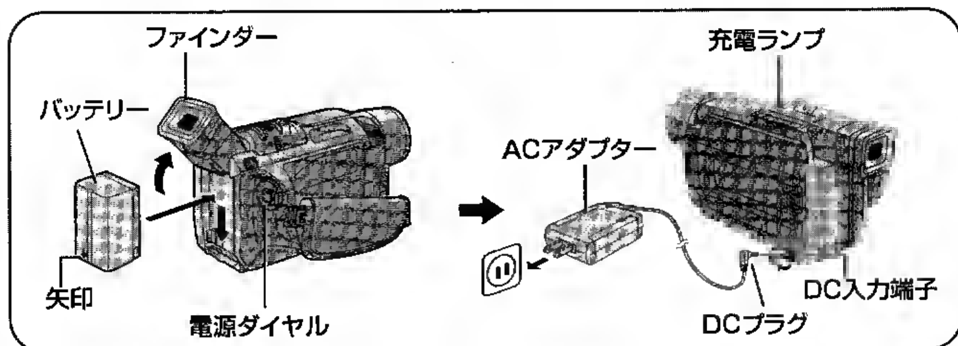
❷ グリップベルトを調節する

- 手を入れてズームスイッチと撮影ボタンを操作しやすいように調節してください。

❸ パッドをはりつける

バッテリーを充電する

バッテリーをビデオカメラに取りつけ、AC アダプターを使用して充電します。
バッテリーをビデオカメラに取りつけるときは、バッテリーのキャップをはずしてください。



❶ バッテリー取りつける

- ファインダーを上にあげ、バッテリーの矢印を下向きにしてビデオカメラに押しつけるようにしながら下にスライドさせます。



❷ ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「切」に合わせる

❸ ACアダプターのDCプラグをビデオカメラのDC入力端子に差し込む

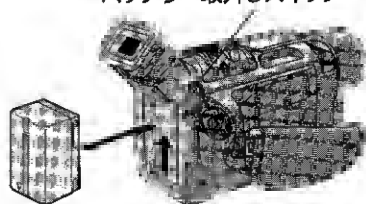
❹ AC アダプターの電源プラグをコンセントに差し込む

- 充電ランプが点滅します。
- 点滅から点灯に変わったら充電完了です。AC アダプターをはずしてください。

バッテリーの取りはずし

バッテリー取外しスイッチをスライドさせたまま、バッテリーを取りはずす

- 下から上へスライドさせて手前に引いて取りはずしてください。

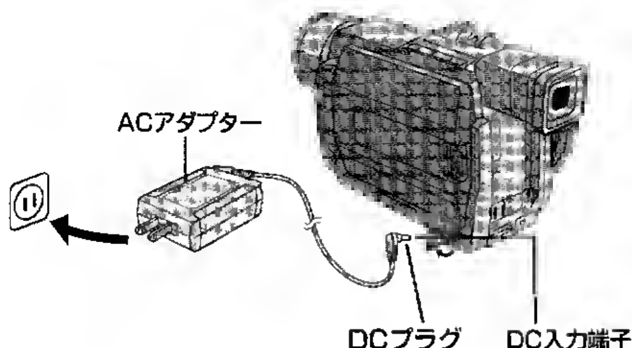




●充電時間の目安（室温 10℃～35℃）	➡ バッテリー（BN-V416：付属）で約 120 分 バッテリー（BN-V428：別売）で約 200 分
●充電しても撮影時間が短い	➡ 寿命です。新しいバッテリーに交換してください。
●充電できない	➡ 電源ダイヤルが「切」以外になっているときは、充電できません。
●バッテリーについて	➡ 154ページもご覧ください。

コンセントの電源でビデオカメラを動かす

室内で使うときは、AC アダプター（付属）を使ってコンセントから電源をとると便利です。変換プラグを使用すると海外でもご利用できます。（☞156 ページ）



❶ DCプラグをビデオカメラのDC入力端子に差し込む

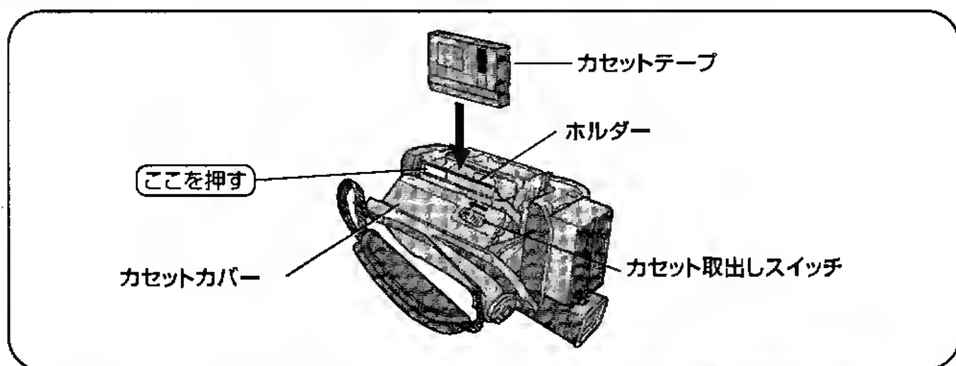
❷ 電源プラグをコンセントに差し込む



●AC アダプターが、温かくなることがあります。

カセットテープを入れる・取り出す

電源（バッテリーまたはACアダプター）がつながれていれば、電源ダイヤルが「切」のままでもホルダーを開けることができます。



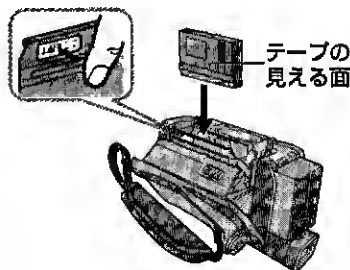
❶ カセット取出しスイッチを矢印方向にスライドさせて、カセットカバーを開く



- 自動的に、ホルダーが開きます。

ご注意 ●内部の部品を直接手でさわらないでください。

❷ カセットテープをホルダーに入れ ここを押す を押す



- カセットテープは奥まで確実に入れてください。
- 自動的にテープが収納されます。

❸ カセットカバーを「カチッ」と音がするまで閉める

- テープが収納されない場合は、カセットカバーを一度完全に開いて、カセットを取り出し、少し待ってからカセットを入れ直してください。

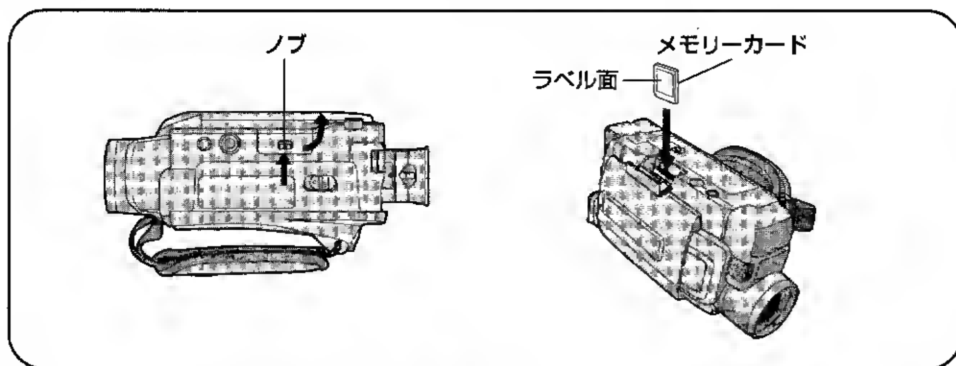
ご注意 ●ホルダーに指をはさまないようにご注意ください。

カセットテープを取り出す

上の手順 ❶ のあとでカセットテープを引き上げて取り出す

メモリーカードを入れる・取り出す

本機をデジタルスチルカメラとして使用するときは、別売のメモリーカード（マルチメディアカードまたは SD メモリーカード）を使用します。



❶ メモリーカードカバーを開く

●ノブを押してカバーを開きます。

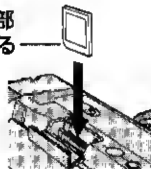


❷ メモリーカードを入れる

●奥までしっかり入れてください。



●必ず電源を切ってから入れてください。
●電極に手を触れないでください。



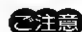
❸ メモリーカードカバーを閉める



●メモリーカードが正しく入っていても、本機がカードを認識するまでに多少時間がかかることがあります。

メモリーカードを取り出す

上の手順 ❶ のあとでメモリーカードを押すと出てきます



●メモリカードはマルチメディアカード（MultiMediaCard）、またはSDメモリーカード（SD Memory Card）をご使用ください。

テープへ記録する録画モードを選ぶ



録画モードとは

●SPモード：標準、LPモード：1.5倍

SPモードとLPモードの２種類の録画モードがあります。LPモードではSPモードに比べ1.5倍長く撮影することができます。ただしLPモードにするとアフレコ編集（☞102ページ）やインサート編集（☞104ページ）ができなくなります。

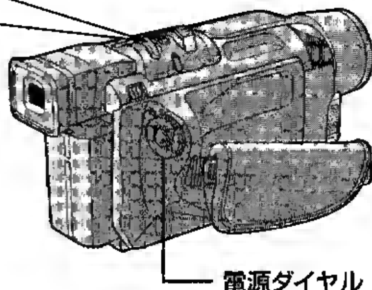
操作はココ！

メニューダイヤルの使いかた

左右に回す
押す

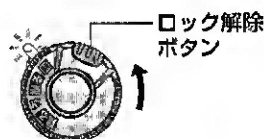
●選択する

●メニューを表示する
●決定する

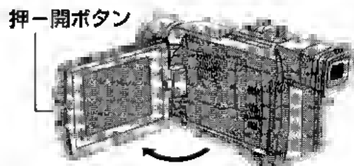


❶ ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「M」に合わせる

●電源ランプが点灯し電源が入ります。

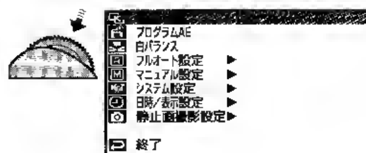


❷「押ー開」ボタンを押して液晶画面を開く



❸ メニューダイヤルを押す

●メニュー画面が表示されます。



❹ メニューダイヤルを回して「🄰フルオート設定」を選び、ダイヤルを押す

●「録画モード」が選択されます。

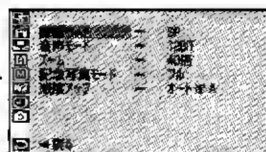




❺ メニューダイヤルを押す

●「SP」と「LP」が表示されます。

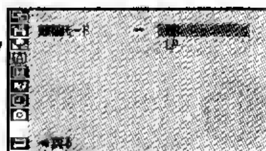




準備

❻ メニューダイヤルを回して「SP」または「LP」を選び、ダイヤルを押す

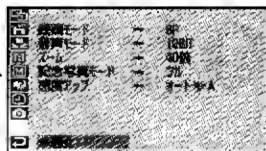




❼ メニューダイヤルを2回押す

●撮影画面に戻ります。





メモリーカードへ記録する画質モードを選ぶ



画質モードとは

●ファインモード：高画質
スタンダードモード：標準画質

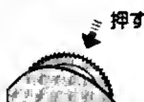
メモリーカードに記録する静止画の使用目的に応じて画質モードを選ぶことができます。画質は良い順にファイン、スタンダードの２種類があります。

操作はココ！

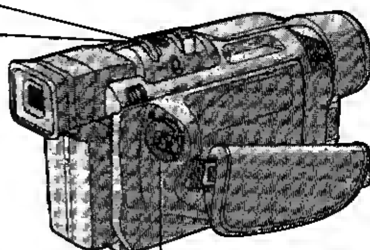
メニューダイヤルの使いかた



●選択する

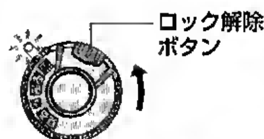


●メニューを表示する
●決定する

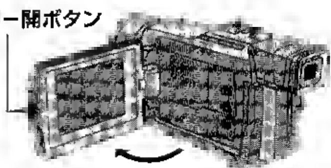


❶ ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「M」に合わせる

●電源ランプが点灯し電源が入ります。



❷ 「押－開」ボタンを押して液晶画面を開く



❸ メニューダイヤルを押す

●メニュー画面が表示されます。



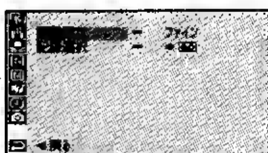
❹ メニューダイヤルを回して「📷 静止画撮影設定」を選び、ダイヤルを押す

●「画質設定」が選択されます。



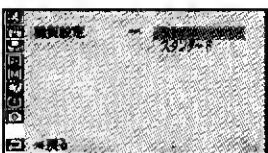

❺ メニューダイヤルを押す

●「スタンダード」と「ファイン」が表示されます。

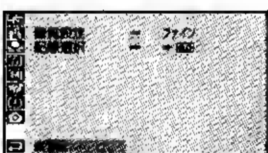
準備

❻ メニューダイヤルを回して「スタンダード」または「ファイン」を選び、ダイヤルを押す

❼ メニューダイヤルを2回押す

●撮影画面に戻ります。

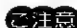





撮影可能枚数の目安

メモリカード	画質モード	
	ファイン	スタンダード
8MB(別売)	約100枚	約200枚
16MB(別売)	約200枚	約400枚
32MB(市販)	約400枚	約800枚
64MB(市販)	約800枚	約1600枚

● 使用するメモリーカードや撮影する被写体の画像内容などによって撮影可能枚数は変化します。
● 撮影画面では、ファインモードはFINE、スタンダードモードはSTDと表示されます。

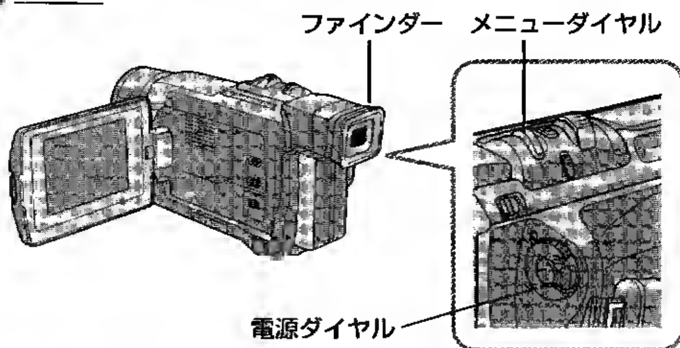


●メモリカードはマルチメディアカード(MultiMediaCard)、またはSDメモリーカード(SD Memory Card)をご使用ください。

画面の明るさを調節する

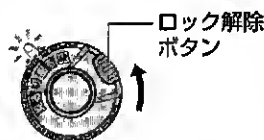
液晶画面やファインダーの明るさを調節してから、撮影や再生を行います。

操作はココ！

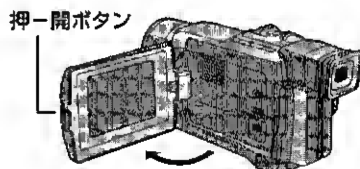


❶ ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「撮る」に合わせる

- 電源ランプが点灯し電源が入ります。

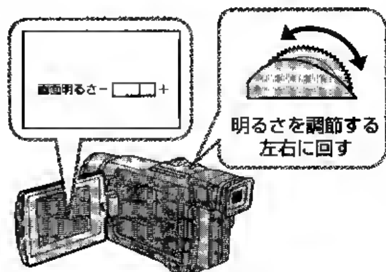


❷ 「押ー開」ボタンを押して液晶画面を開く



❸ メニューダイヤルを回す

- 画面の明るさを調節します。



ファインダーの明るさ調節

上の手順 ❷ で液晶画面を閉じて手順 ❸ をおこなう

ファインダーを調節する

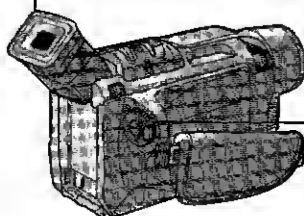


こんなときにお使いください。

●視力とファインダー表示が合わないとき

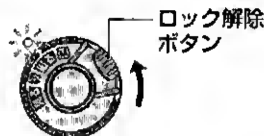
ファインダー内の表示が見やすくなるように調節します。

操作はココ！



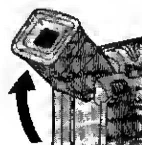
❶ ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「撮る」に合わせる

●電源ランプが点灯し電源が入ります。



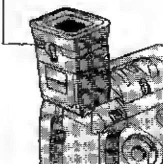
❷ ファインダーを上げる

●液晶画面は閉じておいてください。



❸ ファインダーをのぞいてレバーを動かす

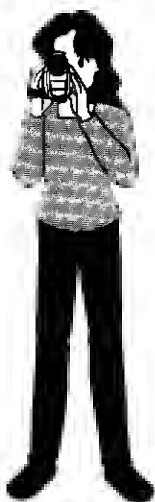
●ファインダー内の表示が良く見えるように調節します。





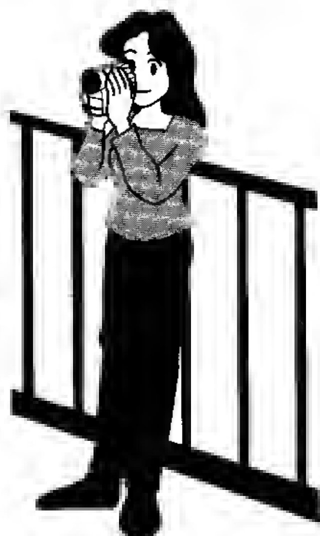
●ファインダーの角度調節
ファインダーは映像が見やすいように約90°動かすことができます。

撮影の基本（上手に撮るコツ）



ポイント❶ わきをしめる

わきをしめて、左手もビデオカメラにそえる。



ポイント❷ カメラを安定させる

壁や柱によりかかり、安定させる。





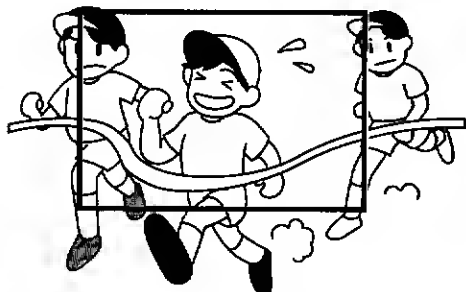
ポイント❸ 両手でカメラを持つ

低い姿勢で撮影するときも、わきをしめて、両手でビデオカメラを持つ。液晶画面を上に向けたり、ファインダーを上に向けて撮影すれば地面に咲いている花なども撮影できます。子供を撮るときは低い姿勢で子供の目線で撮りましょう。

ポイント❹ 高い位置からの撮影

高い位置から撮影する場合は、液晶画面を下に向けて、撮影する。

ポイント❺ ビデオカメラを動かさない



安定した映像で撮影するためには、ビデオカメラを固定して撮ります。左右に動かすとき（パンニング）や上下に動かすとき（チルディング）は、ゆっくり動かします。撮り始めと撮り終わりは、ピタッと止めます。

準備

ポイント❻ 液晶画面を回転させる



液晶画面は上に180°、下に90°回転します。液晶画面にご自分を映し、映り具合を見ながら撮影することもできます。液晶画面を開いて180°回転させ前に向けてください。レンズをご自分に向ければ、ビデオ日記などを撮影するときに役立ちます。

ポイント❼ 三脚を使う

三脚（別売）に取り付けると、安定した撮影ができます。

コラム こんなときどうするの？Q&A

Q

子供の運動会があり、朝から夕方まで撮影し続けたいのですが、長時間撮影ができるバッテリーはありますか？

A

長時間の撮影を可能にするベルトホルダータイプのバッテリーキットVU-V840KITとVU-V856KITの２種類があります（別売）。バッテリーキットには、バッテリー、充電器、バッテリーポーチが付属されています。バッテリーをビデオカメラに直接取り付けることはできません。



VU-V840KIT



VU-V856KIT

連続撮影時間の目安

バッテリーキット	ファインダー使用時	液晶画面使用時
VU-V840KIT	6時間40分（3時間50分）	5時間20分（3時間20分）
VU-V856KIT	9時間20分（5時間20分）	7時間30分（４時間40分）

（　）はライト使用時の時間

実撮影時間の目安

バッテリーキット	ファインダー使用時	液晶画面使用時
VU-V840KIT	3時間10分（1時間45分）	2時間30分（1時間30分）
VU-V856KIT	4時間20分（2時間30分）	3時間30分（2時間10分）

（　）はライト使用時の時間

連続撮影時間はズームを使ったり、撮影一時停止を繰り返すなどで短くなります。
実撮影時間は、撮影、撮影一時停止、電源の入/切、ズームなどを繰り返したときの撮影時間です。実際はこれよりも短くなることがあります。

ご注意 バッテリーキットをお買い求めの際は、専用のDCコードVC-VBN856も合わせてお買い求めください。

撮影

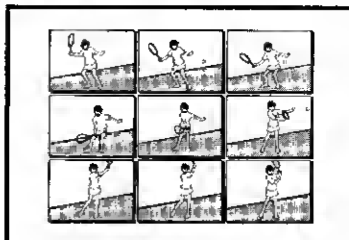
撮りたいものを撮ってみよう！

楽しみかた

ズーム撮影で、迫力ある映像を撮ろう！



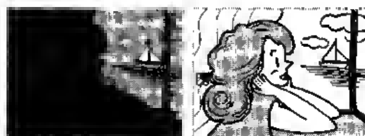
記念写真モードで撮って被写体に変化をつけてみよう！



ビデオライトを使って暗い場所でも撮影してみよう！



逆光でも、暗くならないので場所を気にしないで撮ろう！



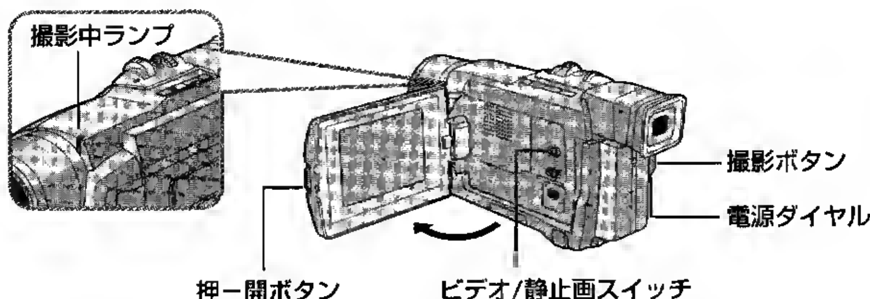
暗い　　明るい

録画モード設定は☞38ページ、日時表示設定は☞133ページ

テープに撮影する

ピントや露出合わせも自動（フルオートモード）で、簡単に撮影できます。

操作 はココ！



❶ ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「撮る」に合わせる

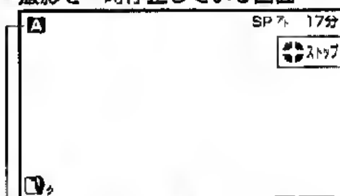
- 電源ランプが点灯し電源が入ります。



❷「押ー開」ボタンを押して液晶画面を開き、ビデオ／静止画スイッチを「ビデオ」に合わせる

- 撮りたい被写体に合わせます。

撮影を一時停止している画面

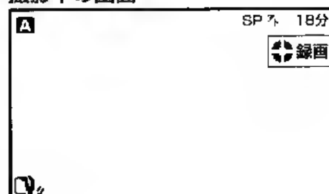


電源ダイヤルが「撮る」のときのみ表示されます。

❸ 撮影ボタンを押す

- 録画が始まります。
- 撮影中ランプが点灯します。
- 再度押すと録画一時停止になり、ストップ表示がでます。

撮影中の画面





連続撮影時間の目安

バッテリー	ファインダー使用時	液晶画面使用時
8N-V416（付属）	2時間40分（1時間30分）	2時間10分（1時間20分）
8N-V428（別売）	4時間40分（2時間40分）	3時間50分（2時間20分）
VU-V840KIT*(別売)	6時間40分（3時間50分）	5時間20分（3時間20分）
VU-V856KIT*(別売)	9時間20分（5時間20分）	7時間30分（4時間40分）

（　）はライト使用時の時間

＊ VU-V840KITおよびVU-V856KITには、バッテリー、充電器、バッテリーポーチが付属されています。バッテリーをビデオカメラに直接取り付けることはできません。VU-V840KITまたはVU-V856KITをお買い求めの際は、専用のDCコードVC-V8N856も合わせてお買い求めください。

実撮影時間の目安

バッテリー	ファインダー使用時	液晶画面使用時
8N-V416（付属）	1時間15分（40分）	1時間（35分）
8N-V428（別売）	2時間10分（1時間10分）	1時間45分（1時間）
VU-V840KIT*(別売)	3時間10分（1時間45分）	2時間30分（1時間30分）
VU-V856KIT*(別売)	4時間20分（2時間30分）	3時間30分（2時間10分）

（　）はライト使用時の時間

撮影

連続撮影時間は、ズームを使ったり、撮影一時停止を繰り返すなどで短くなります。バッテリーは撮影予定時間の約３倍分をご用意されることをおすすめします。
実撮影時間は撮影、撮影一時停止、電源の入／切、ズームなどを繰り返したときの撮影時間です。実際にはこれよりも短くなることがあります。

- ５分以上撮影を一時停止したときは
  ビデオカメラの節電とテープ保護のため、自動的に電源が切れます。再び撮影したいときは、電源ダイヤルを一度「切」にしてから「撮る」または「M」に戻してください。
- 液晶画面が見づらいときは
  光の反射などで液晶画面が見づらいとき、液晶画面を閉じてファインダーをのぞいて撮影することをおすすめします。液晶画面とファインダーは同時に使用できません。
- テープの残量を確認するには
  撮影中は、自動的にテープの残量が表示されます。テープ残量は目安としてお使いください。使用するテープによっては正しく表示されないことがあります。また、80分テープの巻き始めでは、正しい残量表示をするまでに時間がかかったりすることがあります。テープの残量が残り２分となると表示が点滅し、テープが終わると「テープおわり」と表示されます。
- バッテリー残量表示（ ▭ ）が点滅したら
  バッテリーの残量が少なくなっています。バッテリーの残量がなくなると自動的に電源が切れます。電源が切れる前にバッテリーを交換してください。
- 正常に録画できない
  ビデオヘッドが汚れているかもしれません（☞142ページ）。大切な撮影の前には試し撮りをして、正常に録画、録音されていることをご確認ください。

ズームして撮影する

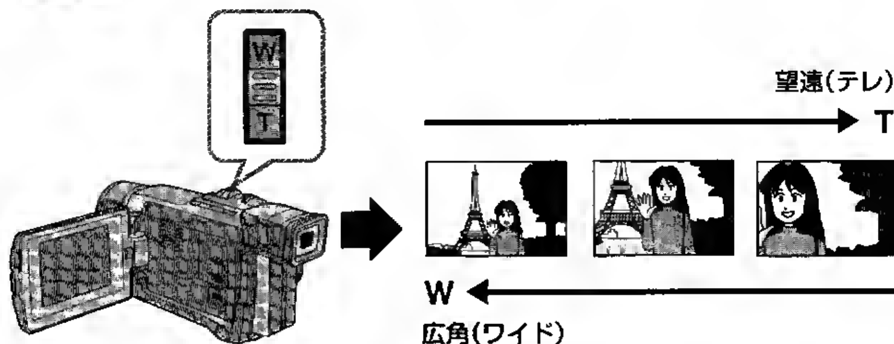


こんなときにお使いください。

●被写体が遠いところにいるときや、画面に変化をつけたいとき

被写体をズームして撮影することができます。

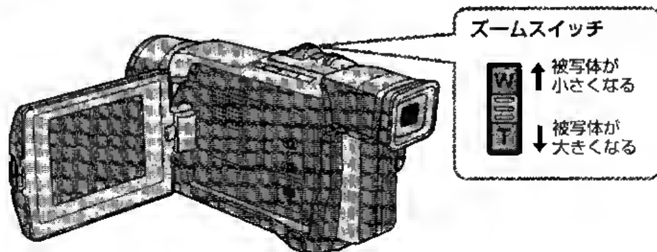
操作はココ！



ご注意 ●使いすぎると見づらい映像になります。

❶ ズームスイッチを動かす

●軽く動かすとゆっくりズームし、強く動かすと早くズームします。





●最大ズーム倍率 ➡ 何倍までズームを可能にするか変更できます。(☞124ページ)

●接写したいとき(マクロ撮影) ➡ W側にいっぱいまで押すとレンズから約5cmまで被写体に近づいて撮影可能
T側のときは、約1m、(テレマクロ"入"のときは約60cm)(ピントが合わない距離では、▲、▲、▼、▲ が点滅して自動的にズームがW側になります。)



●10倍以上のズーム(デジタルズーム) ➡ 10倍までの映像に比べて多少映像品質が劣化します。(デジタル処理をするため)

●10倍以上のズームが使用できない ➡ 映像をデジタル処理する機能(ゴーストなど)との併用はできません。

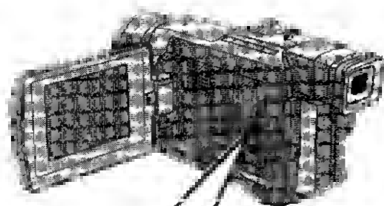
ビデオライトを使用する

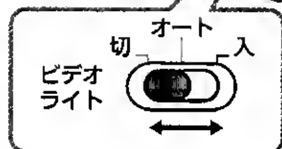


こんなときにお使いください。 ●被写体や周囲が暗いとき

被写体や周囲が暗いときにライトを使用して撮影ができます。

操作はココ！







- ビデオライトの点灯中や消灯直後は、ビデオライトが熱くなっています。
  手を触れたり物を近づけたりしないでください。

❶ ライトスイッチを設定する

- ライトスイッチをお好みの位置に合わせます。

「切」　　：常にライトが消灯します。
「オート」：一定の暗さになると点灯します。
「入」　　：常にライトが点灯します。



ご注意

- 小さなお子様の目などに直接光が入らないようにご注意ください。



- ビデオライトが点灯しないとき
  ライトスイッチを「オート」に設定していても演出効果（☞93ページ）で「夜景」を選択しているとき、またはナイトアイ（95ページ）を設定しているときはビデオライトは点灯しません。
- バッテリーを長持ちさせて撮影するために撮影しないときはライトスイッチを「切」にしてください。室内では付属のACアダプターのご使用をおすすめします。

テープに静止画（記念写真）を撮る

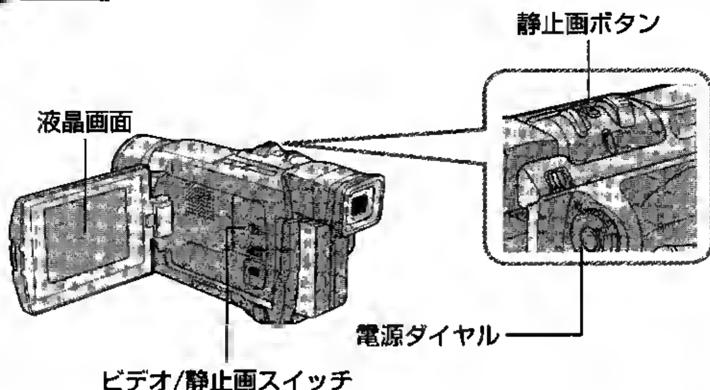


こんなときにお使いください。

●被写体の表情などをワンポイントで記録したいとき

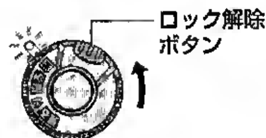
ビデオテープの中に写真のような映像を挿入することができます。

操作はココ！

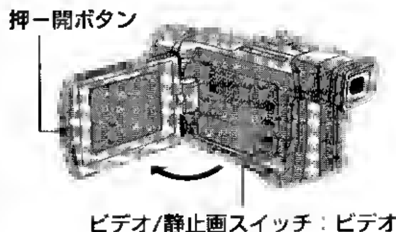


❶ ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「M」または「撮る」に合わせる

●電源ランプが点灯して電源が入ります。



❷ 「押－開」ボタンを押して液晶画面を開き、ビデオ／静止画スイッチを「ビデオ」に合わせる



❸ 静止画ボタンを押す

- 静止画像が約６秒間記録されます。
- 押し続けると静止画像が約1秒ごとに連写されます。



記念写真（静止画）モードについて

記念写真モードには、５つのモードがあります。これらのモードはメニュー画面で選択することができます。（☞124ページ）

ピンナップモード



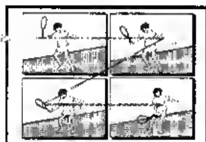
フレームモード



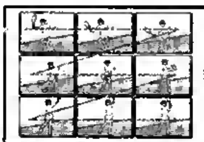
フルモード



4マルチモード



9マルチモード



撮影



- **撮影中に記念写真を撮影したときは**
  静止画像が約6秒間記録され通常の撮影に戻ります。
- **記念写真撮影ができないときは**
  静止画ボタンを押したとき画面に「PHOTO」が点滅してお知らせします。
- **演出効果を設定していても記念写真撮影時に働かないものがあります。**
  このようなときは、演出効果アイコンが点滅してお知らせします。
- **AV端子にコードが接続されているときは**
  「カシャ」音は出ません。ただし、テープには記録されます。
- **「静止画撮影設定」メニューの「記録選択」が「➡ 📼／➡ M」のときは**
  テープだけでなくメモリーカードにも静止画が記録されます。テープが入っていないときは、メモリーカードにも記録されません。（☞134ページ）
- **再生中も記念写真モードを使えます**
  「ビデオ再生モード設定」メニューの「📼 ➡ M コピー」を「切」にしてご使用ください。
  （☞163ページ）
  「カシャ」音は出ません。
- **4マルチ、9マルチモードを設定していても、デジタルズーム中、ナイトアイ設定中はフルモードで記録されます。**

逆光を補正する

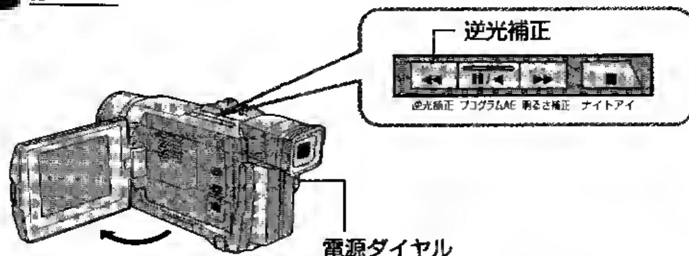


こんなときにお使いください。

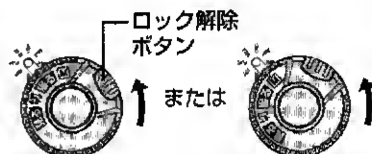
●太陽などで背景が明るすぎて被写体が暗くなるとき

逆光補正ボタンで被写体が暗くならないように補正します。

操作はココ！

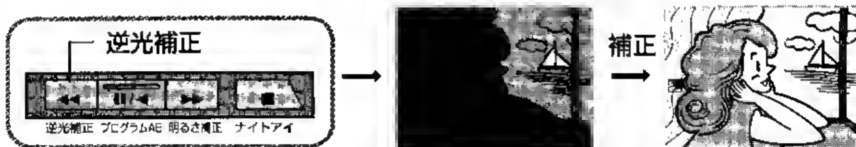


❶ ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「撮る」または「M」に合わせる



❷ 逆光補正ボタンを押す

- 画面に逆光補正マークが表示されます。
- 再度押すと、逆光補正を解除します。





- 逆光補正ボタンを使うと
  被写体の周囲が明るくなりすぎて白くなることがあります。

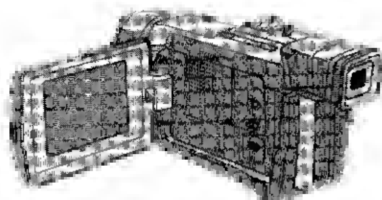


- より適切な明るさに調節するときは
  手動で明るさ補正してください。
  (☞87ページ)
  手動で明るさ補正しているときは、逆光補正ボタンは、使えません。

再生　撮った映像を見てみよう！

楽しみかた

撮ったその場ですぐ映像をチェック！

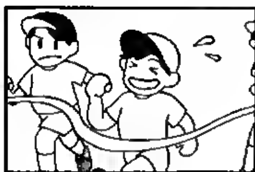


テレビやビデオデッキにつないで家族や友達と見よう！



ズームして再生すれば迫力満点の映像に！





撮った映像に演出を加えて、さらに楽しく！



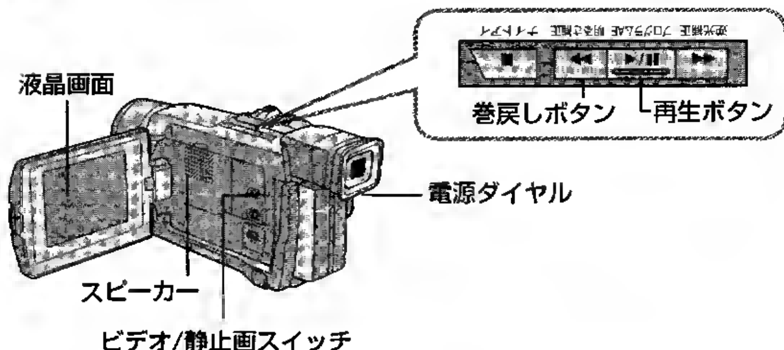
ビデオカメラの画面で見る



こんなときにお使いください。 ●撮ったその場で映像を確認したいとき

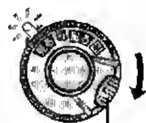
ビデオカメラの液晶画面で再生映像を見ることができます。

操作はココ！



❶ ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「見る」に合わせる

- 電源ランプが点灯し、電源が入ります。



❷ 「押ー開」ボタンを押して液晶画面を開き、ビデオ／静止画スイッチを「ビデオ」に合わせる



ビデオ/静止画スイッチ：ビデオ

❸ 巻戻しボタン（◀◀）を押してテープを巻戻す

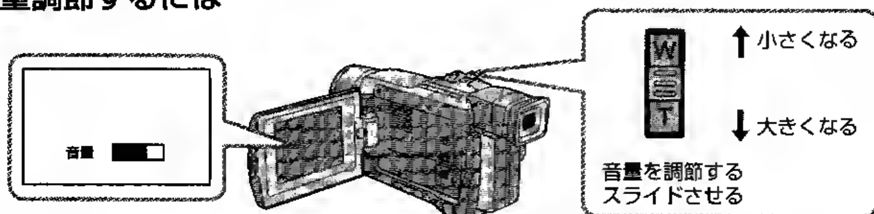


❹ 再生ボタン（▶/❚❚）を押す

- 画面に再生映像が映り、音声がスピーカーから出ます。
- 再生をやめたいときは、停止ボタン（■）を押します。



音量調節するには



色々な再生

こうして見たい	このボタンを押す		ふつうの再生に戻す
・画面を見ながら早送りして探し見したい（早送り再生）9倍速	再生中に ▶▶	1度ポンと押す	▶/II 再生ボタンを押す
		押し続ける	指を離す
・画面を見ながら巻戻しして探し見したい（巻戻し再生）9倍速	再生中に ◀◀	1度ポンと押す	▶/II 再生ボタンを押す
		押し続ける	指を離す
・画面を一時停止させて見たい（静止画再生）	再生中に ▶/II		▶/II 再生ボタンを押す
・スローで再生したい（スロー再生）	通常再生または静止画再生中に（リモコンで操作） ◀I スロー I▶ どちらか一方を2秒以上押す		▶/II ▶ ビデオカメラまたはリモコンの再生ボタンを押す 正転スロー再生を約2分、または逆転スロー再生を約1分続けると自動的に通常再生に戻ります。
・コマ送りで再生したい（コマ送り再生）	通常再生または静止画再生中に（リモコンで操作） ◀I スロー I▶ どちらか一方を押すたびにコマ送りします またはメニューダイヤルを回します。（＋側：正転、－側：逆転）		▶/II ▶ ビデオカメラまたはリモコンの再生ボタンを押す

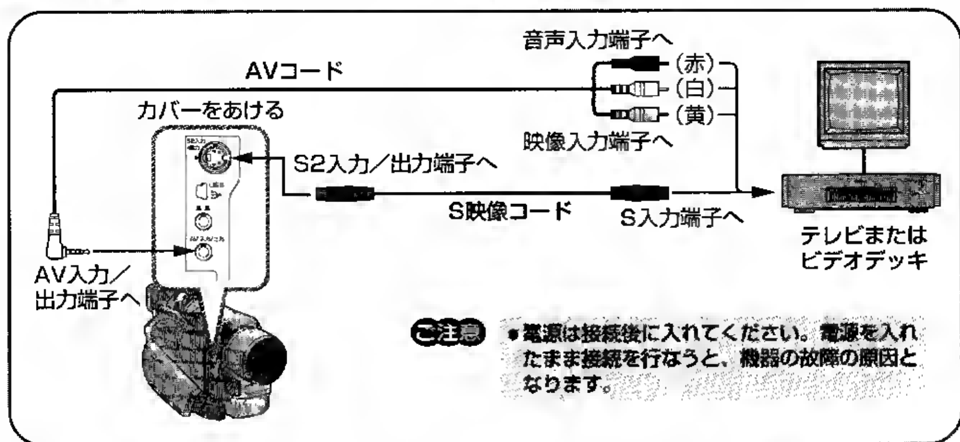


- 静止画再生を約３分以上続けると自動的に停止します。
- 高速再生、スロー再生中は多少モザイクのかかったような映像になります。また、音声は出ません。
- スローボタンを押すと数秒間静止画になり、その後青い静止画（ブルーバック）が数秒間表示されるときがあります。故障ではありません。
- 停止状態を５分以上続けると電源が自動的に切れます。ただし、電源ダイヤルが 見る で、ACアダプターからの電源供給時は、電源が切れません。
- 静止画にするために▶/II(またはリモコンの ▶)を押しても映像が静止するまでに多少時間がかかることがあります。
- モザイク状のノイズが出たり、青い画面のまま映像が出ないときは、ヘッドを清掃してください。(☞142ページ)

再生

テレビまたはビデオデッキにつないで見る

みんな揃ってビデオを楽しみたいときなど、ビデオカメラをご家庭のテレビやビデオデッキにつないで再生することができます。S映像端子付きのテレビまたはビデオデッキと本機をS映像コードを使ってつなぐと、より高画質の映像をお楽しみいただけます。



❶ ビデオカメラをテレビまたはビデオデッキに接続する

❷ テレビ、またはビデオデッキの電源を入れる

❸ テレビのチャンネルやビデオデッキの入力モードを設定する

- ビデオカメラをテレビに接続したとき
  テレビの入力モードをビデオカメラを接続した端子に切り替えます。
  （例えば「ビデオ1、ビデオ2、ムービー」など）。
- ビデオカメラをビデオデッキに接続したとき
  テレビをビデオを見るチャンネルに合わせ、ビデオデッキの入力モードを外部入力に切り替えます。

❹ 再生する

- テープを再生するには（☞56ページ）
- メモリーカードを再生するには（☞72ページ）



- ご使用になるテレビやビデオデッキによって、入力モードの設定方法は異なります。詳しくはテレビやビデオデッキの取扱説明書を参照してください。
- テレビに映像／音声が出ないときは
  ビデオ再生モード設定メニューで「アナログ入力」を「切」にしてください。（☞163ページ）
- テレビから「ピー」「ウワーン」というノイズ音が出るときは、テレビからビデオカメラを離すか、テレビの音量を下げてください。
- 再生時のメッセージ表示を消すには（☞62、64、132ページ）

テープの録画されていない部分を探す（ブランクサーチ）



こんなときにお使いください。 ●テープの途中から撮影したいとき

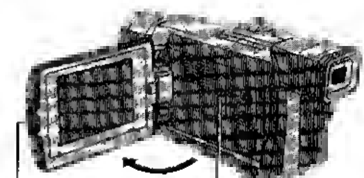
ビデオテープの中にある５秒間以上録画されていない部分を探します。途中まで記録したビデオテープを取り出したり、再生したあとなどに撮影開始点を効率よく見つけることができます。

1 ロック解除ボタンを押しながら、電源ダイヤルを「見る」に合わせる



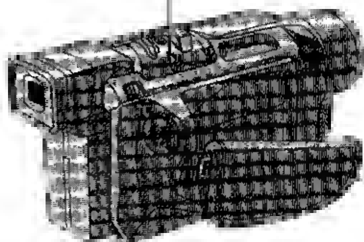
2 「押ー開」ボタンを押して液晶画面を開き、ビデオ／静止画スイッチを「ビデオ」に合わせる

- 液晶画面に青い画面が表示されます。



3 ブランクサーチボタンを押す

- ブランクサーチがスタートします。
  5秒間以上の録画されていない部分を見つけると、約３秒手前で自動的に停止します。
- ブランクサーチを中止するには、停止ボタン（■）を押します。



再生



- すでに映像が記録されている部分でも、５秒間以上の録画されていない部分があると停止します。停止した位置以降に記録されている部分がないか、録画を開始する前によく確認してください。
- 録画されていない部分の約３秒手前で停止しますので、そこから録画をスタートすると、約３秒間映像が上書きされてしまいます。必要に応じて再生し、スタート位置を確認してください。
- ブランクサーチを映像の記録された部分からスタートすると早送り方向に、録画されていない部分からスタートすると巻き戻し方向にブランクサーチを行います。

再生音声を切り替える



こんなときにお使いください。

- テープを再生するとき、ステレオ音声または左右どちらかの音声のみで再生するか設定するとき（音声切替）
- アフレコ編集したテープを再生するとき、撮影時の音声を再生するか、アフレコ音声を再生するか設定するとき（12BIT 音声）

アフレコ編集（☞102ページ）したテープでは、撮影時の音声とアフレコ時に録音した音声（アフレコ音声）のどちらを再生するか選択できます。また、ビデオカメラは常にステレオ音声で録音しますが、片方のスピーカの音声のみを再生することもできます。

操作はココ！

メニューダイヤルの使いかた

左右に回す

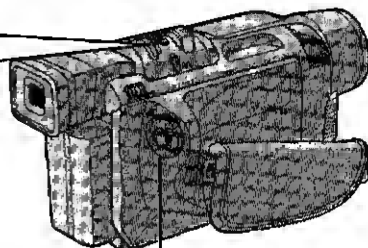


- 選択する

押す

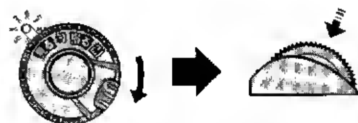


- メニューを表示する
- 決定する

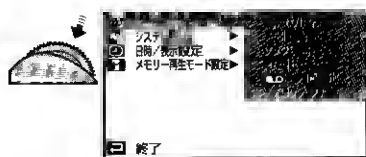


❶ 電源ダイヤルを「見る」に合わせ、メニューダイヤルを押す

- メニュー画面が表示されます。

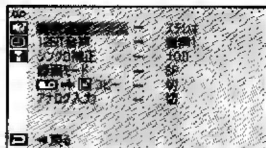


❷ メニューダイヤルを押す



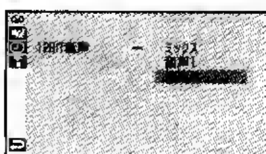
❸ メニューダイヤルで「音声切替」、または「12BIT 音声」を選び、ダイヤルを押す





❹ メニューダイヤルでお好みのモードを選び、ダイヤルを押す





- 「音声切替」のモードについて

  ステレオ：ステレオ音声で聞きたいとき
  音声L　：左の音声のみ聞きたいとき
  音声R　：右の音声のみ聞きたいとき

- 「12BIT 音声」のモードについて

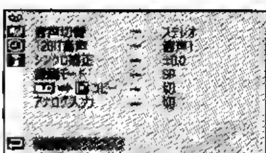
  ミックス：撮影時の音声とアフレコ音声を同時に聞きたいとき
  音声1　：撮影時の音声を聞きたいとき
  音声2　：アフレコ音声を聞きたいとき

再生

❺ メニューダイヤルを 2 回押す

- メニューを終了し、通常の再生画面に戻ります。







- **再生中の音声モード（12BIT/16BIT）を確認するには**
  ビデオカメラは、ビデオの音声モードを自動判別して再生します。ビデオを再生すると、画面の左上端に再生中の音声モードが表示されます（早送り/巻戻し再生中は自動判別できません）。

- **12BIT/16BIT 音声について**
  従来のビクター製ビデオカメラでは、12BIT 音声を 32kHz 音声、16BIT 音声を 48kHz 音声と表現しています。

日時表示を切り替える



こんなときにお使いください。 ●日時表示を出したり、消したりしたいとき

テープに撮影すると、撮影した日時が自動的にテープに記録されます。テープを再生するときに日時表示を出したり消したりすることができます。

操作はココ！

メニューダイヤルの使いかた

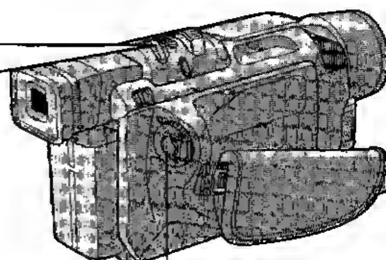
左右に回す



押す



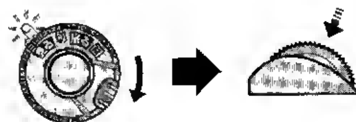
●選択する　●メニューを表示する　●決定する



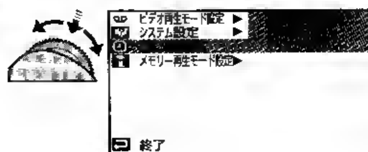
電源ダイヤル

❶ 電源ダイヤルを「見る」に合わせ、メニューダイヤルを押す

●メニュー画面が表示されます。



❷ メニューダイヤルで「日時／表示設定」を選び、ダイヤルを押す



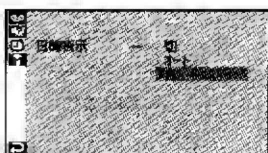
❸ メニューダイヤルで「日時表示」を選び、ダイヤルを押す





❹ メニューダイヤルで「お好みのモード」を選び、ダイヤルを押す

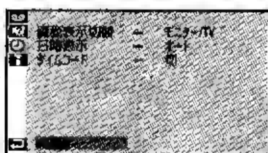




- 「日時表示」のモードについて
  - 切　　：日時表示を出したくないとき
  - オート：日時表示を再生開始から５秒間のみ出したいとき（撮影された日時が表示されます。）
  - 入　　：常に日時表示を出したいとき

❺ メニューダイヤルを２回押す





- メニューを終了し、通常の再生画面に戻ります。

再生



- 日時表示設定メニューは、電源ダイヤルが「M」のときも表示することができます。（☞132 ページ）
- メモリーカードの静止画再生時は日付のみ表示されます。（☞27 ページ）
- 「オート」に設定すると電源ダイヤルを「撮影」または「M」にしたときも５秒間のみ日時表示が出ます。

タイムコード表示を設定する

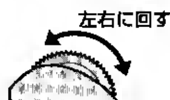


こんなときにお使いください。 ●テープの位置を確かめたいとき

テープに撮影すると、タイムコード（ビデオ撮影開始からの「分:秒:フレーム」）が自動的にテープに記録されます。ビデオの再生、編集、撮影の際にタイムコードを表示すると、テープの位置を確かめる目安となります。

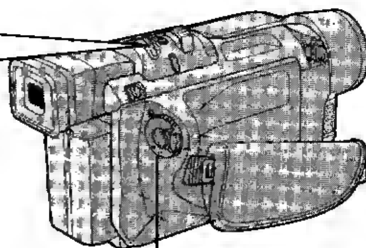
操作はココ！

メニューダイヤルの使いかた





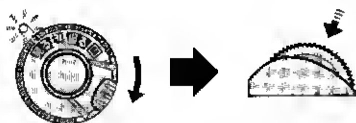
●選択する　●メニューを表示する
●決定する



電源ダイヤル

例)「タイムコード」を「入」に設定する

❶ 電源ダイヤルを「見る」に合わせ、メニューダイヤルを押す



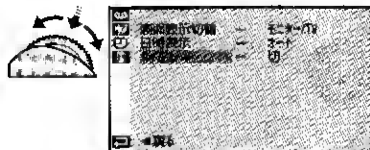
❷ メニューダイヤルで「日時／表示設定」を選び、ダイヤルを押す





日時表示設定メニューは
電源ダイヤルが「M」のときも表示することができます。（☞132ページ）

❸ メニューダイヤルで「タイムコード」を選び、ダイヤルを押す



❹ メニューダイヤルで「入」を選び、ダイヤルを押す

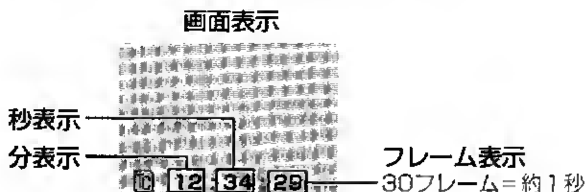


❺ メニューダイヤルを 2 回押す

●メニューを終了し、通常の再生画面に戻ります。

タイムコードとは

撮影中、ビデオカメラはテープの1コマ1コマにタイムコードと呼ばれる数字を記録していきます。タイムコードはビデオの撮影、再生や編集の際に、映像の位置を確かめる目安になります。自動編集（☞106ページ）などはタイムコードを利用して行います。





- 早送り、巻き戻し時のタイムコード表示は、ビデオカメラがテープの位置を確認するため、タイムコードが数秒間前後することがあります。
- 撮影中は、分と秒のみ表示されます。

再生

テープの途中に無記録部分があると誤動作の原因となります

テープに何も記録されていない部分を無記録部分と言います。同じテープの中の何も記録されていない部分から撮影を開始すると、タイムコードは「00:00:00」（分:秒:フレーム）から新たにタイムコードを記録していきます。1本のテープの中に複数の同一タイムコードが記録されるため、自動編集などの誤動作の原因になります。

次のような場合は一度再生して、場面の終わりを確かめてから撮影してください。

- 撮影後に確認のため再生してみたテープで引き続き撮影するとき
- 撮影の途中で電源やバッテリーが切れたとき
- 使い切っていないテープをビデオカメラから出し入れして撮影するとき
- 途中まで撮影したテープを使って撮影するとき
- テープの途中にある無記録部分に撮影したいとき
- 撮影後にテープのテープカバーを開閉した後で撮影するとき

ズームして再生する



こんなときにお使いください。　●再生中に画面をズームしたいとき

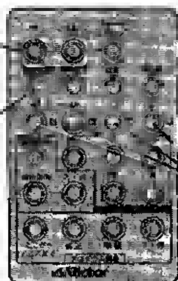
付属のリモコン（☞30ページ）を使うと、ビデオカメラでテープを再生しているときに、画面をズームすることができます。また、ズームした映像の中のお好きな場所に画面を移動させることができます。

操作はココ！

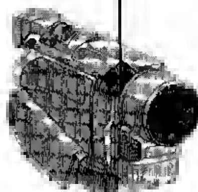
T/Wボタン

シフトボタン

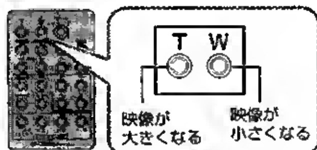
上下左右ボタン



リモコン受光部
この部分にリモコンを向けてください。



❶ 再生中に画面をズームするには、リモコンの「T」ボタンを押す



通常再生



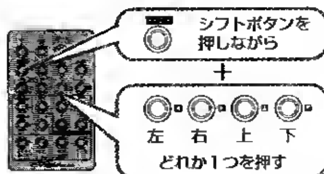


ズーム再生（10倍まで）



• 静止画再生／スロー再生中もズームできます。

❷ 拡大した状態で画面を移動するには、シフトボタンを押しながら上下左右ボタンを押す





拡大再生



画面移動





● **ズームをやめたいときは**
通常の再生画面の大きさに戻るまで「W」を押します。または、リモコンの停止ボタンを押した後に再生ボタンを押します。

● **ズームしたときの映像は**
通常の再生画面よりも多少再生映像が粗くなります。

● **再生映像に「ゴースト」を加えたときは**
再生ズームで拡大した映像は解除されます。

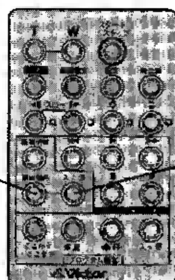
演出効果を加えて再生する

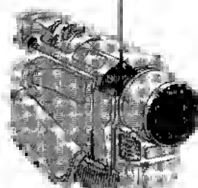


こんなときにお使いください。　●再生中に効果を加えて楽しみたいとき

付属のリモコンを使うと、テープを再生しているときの映像に演出効果（プログラムAE ☞93ページ）を加えることができます。

操作はココ！





❶ ビデオカメラの再生中にリモコンの演出効果ボタンを押す





再生効果
1　映画効果
2　B/W 白黒
3　セピア
4　ストロボ
5　ゴースト

❷ 演出効果ボタンを押して演出効果を選ぶ

選択して約2秒後
⬇
画面が消える
⬇
選択した演出効果が加えられます。



再生効果
1　映画効果
2　B/W 白黒
3　セピア
4　ストロボ
5　ゴースト



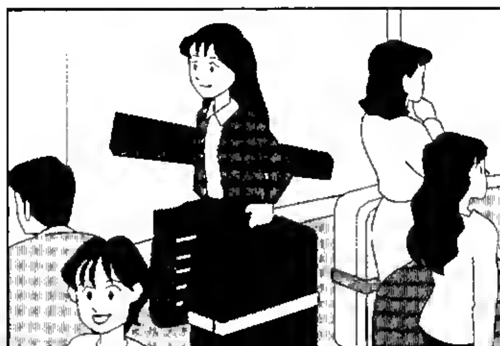
●演出効果入／切ボタンで選んだ演出効果をいつでも入／切できます。



コラム こんなときどうするの？Q&A

Q 海外旅行にビデオカメラを持って行きたいのですが、付属のACアダプターは海外でも使えますか？

A 付属のACアダプターは海外でも使用可能です。バッテリーをビデオカメラに取り付けて充電したりコンセントから直接電源を確保できます。ただし、コンセントの形状は国によって異なります。訪問国のコンセントに合った変換プラグをご用意ください。詳細は旅行代理店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。



コンセントの形状と使用する変換プラグ

コンセントの形状					
使用する変換プラグ	ACパワーアダプターのプラグを直接、差し込みます。 主に北米、南米など	主にオーストラリア	主にヨーロッパ		

デジタル
スチル
カメラ

デジタルスチルカメラとして楽しもう！

楽しみかた

**撮った静止画を一覧表示して
お気に入りの静止画を探そう！**



**オートプレイを使えば
簡単に試写会ができる！**



**たくさんの静止画を撮って
メールやホームページを楽しもう！**



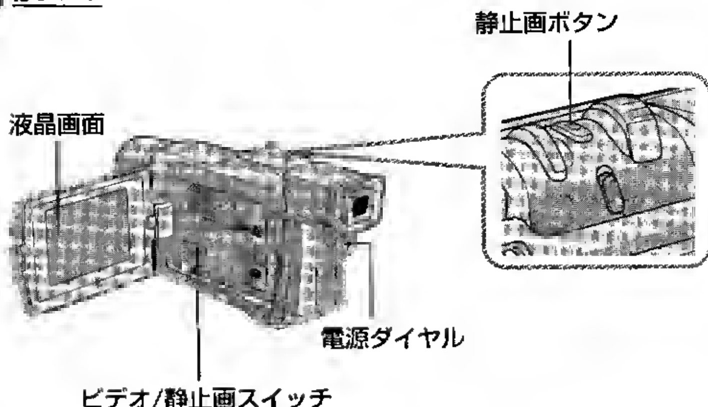




静止画をパソコンへ取り込むときは☞120、121ページ

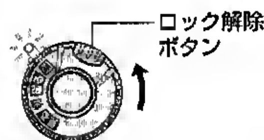
メモリーカードに静止画を撮る

本機をデジタルスチルカメラとして使用することができます。撮影するとメモリーカードに静止画が記録されます。



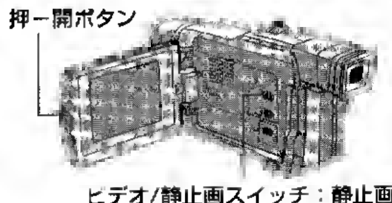
1 ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「M」または「撮る」に合わせる

- 電源ランプが点灯して電源が入ります。



2 「押ー開」ボタンを押して液晶画面を開き、ビデオ／静止画スイッチを「静止画」に合わせる

- 画面に「📷」が表示されます。



ビデオ/静止画スイッチ：静止画

❸ 静止画ボタンを押す

- VGA の画像サイズ（640 × 480 ドット）で静止画が記録されます。
- 記録中は M が表示され、➡ が点滅します。





記念写真（静止画）モードについて

記念写真モードには、5 つのモードがあります。これらのモードはメニュー画面で選択することができます。（☞124 ページ）

ピンナップモード



フレームモード



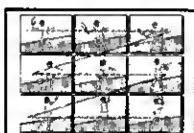
フルモード

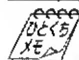


4マルチモード



9マルチモード





- 画質モードを変更したいときは （☞40 ページ）
- 撮影可能枚数の目安は

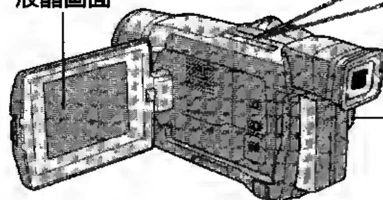
メモリカード	画質モード	
	ファイン	スタンダード
8MB（別売）	約100枚	約200枚
16MB（別売）	約200枚	約400枚
32MB（市販）	約400枚	約800枚
64MB（市販）	約800枚	約1600枚

- 不要な静止画を削除したいときは （☞78 ページ）
- 静止画撮影ができないときは
  静止画ボタンを押したとき画面に「PHOTO」が点滅してお知らせします。
- 演出効果を設定していても静止画撮影時に働かないものがあります。
  このようなときは、演出効果アイコンが点滅してお知らせします。
- 映像をズームしたいときは （☞50 ページ）
- ビデオライトを使用したいときは （☞51 ページ）
- 逆光を補正したいときは （☞54 ページ）
- バッテリー使用時に 5 分以上撮影を一時停止したときは
  ビデオカメラの節電のため、自動的に電源が切れます。再び撮影したいときは、電源ダイヤルを一度「切」にしてから「撮る」または「M」に戻してください。
- AV 端子にコードが接続されているときは
  「カシャ」音は出ません。
- 4マルチ、9マルチモードを設定していても、デジタルズーム中、ナイトアイ設定中はフルモードで記録されます。
- 記録された静止画像ファイルは
  DCF (Design rules for Camera File systems) に対応しています。DCF対応していない機器とは互換性がありません。

メモリーカードを再生する

撮ったその場で静止画を確認することができます。

操作はココ！





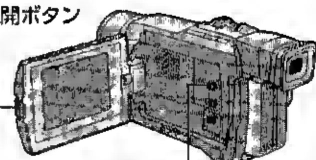
❶ ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「見る」に合わせる

● 電源ランプが点灯し、電源が入ります。



❷「押－開」ボタンを押して液晶画面を開き、ビデオ／静止画スイッチを「静止画」に合わせる

● 静止画が表示されます。



❸ 早送りボタン（▶▶）を押す

● 次の静止画が表示されます。

巻戻しボタン（◀◀）を押す

● 前の静止画が表示されます。





静止画を１枚ずつ自動で再生するには（オートプレイ）
再生ボタン（▶/Ⅱ）を押します
- 静止画が１枚ずつ自動で表示されます。
- 止めたいときには、停止ボタン（■）を押します。





● **DCF対応した機器で記録されたVGA以外の静止画を再生したときは**
静止画が縮小されて表示されます。また、この静止画はパソコンに取り込めません。

● **DCF対応していない機器で記録された静止画を再生したときは**
「未対応のデータです。」と表示されます。

● **テレビにつないで静止画を見たいときは**
(☞58ページ)

静止画ナンバーを入力して再生する（ジャンプ再生）

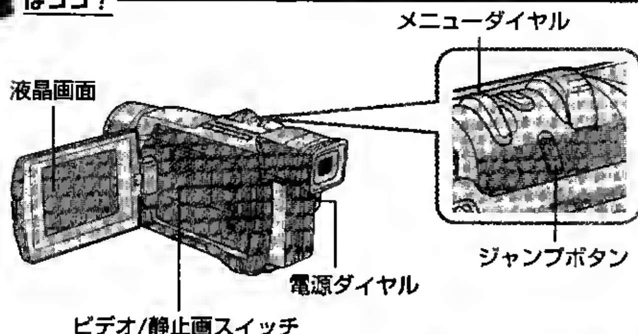


こんなときにお使いください。

●見たい静止画の静止画ナンバーを覚えているとき

静止画ナンバー（☞74ページ）を直接入力して、見たい静止画を簡単に再生することができます。見たい静止画の静止画ナンバーを覚えているとき、インデックス画面（☞74ページ）から探すよりも早く再生することができます。

操作はココ！



❶ ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「見る」に合わせる

● 電源ランプが点灯し、電源が入ります。



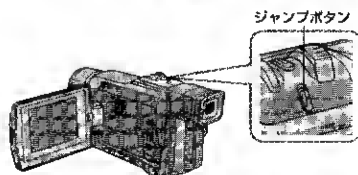
❷ 「押ー開」ボタンを押して液晶画面を開き、ビデオ／静止画スイッチを「静止画」に合わせる



ビデオ/静止画スイッチ：静止画

❸ ジャンプボタンを押す

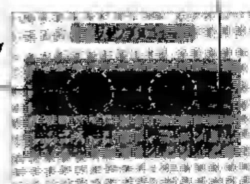
● ジャンプメニューが表示されます。



❹ メニューダイヤルを回して見たい静止画の静止画ナンバーを入力し、ダイヤルを押す

● 入力した静止画ナンバーの静止画が表示されます。
● ジャンプ再生をやめたいときは、ジャンプメニュー表示中に再度ジャンプボタンを押します。





静止画を一覧表示で見る（インデックス画面）



こんなときにお使いください。　●見たい静止画を探すとき

メモリーカードに撮影した静止画を一覧表示します。再生またはプリントしたい静止画を探すときなどに役立ちます。また、画質の種類やどの静止画がプロテクト（削除防止）されているかも確認できます。



1：静止画ナンバー
静止画ナンバーは記録された順に１、２、３･･･というように付けられます。静止画が1から10の10画像あるとき、２、４、６の３画像を削除すると静止画ナンバーは新しく付け直されて、1から７までの７画像になります。

F/S：画質モード
記録された静止画の画質を表示します。画質の良い順にファイン（F)、スタンダード（S）の２種類があります。
(☞40ページ)

🔒：プロテクト
静止画にプロテクト（削除防止）をかけると🔒マークが付きます。プロテクトをかけた静止画は、プロテクトをはずさないと削除できなくなるので、大切な静止画を誤って削除することを防ぎます。

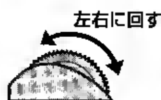
選択静止画
静止画を選ぶときは、メニューダイヤルを回して緑色のわくを選択したい静止画のところへ移動させます。
緑色のわくで囲まれた静止画が現在選択されている静止画です。

インデックス画面から静止画を選んで再生する(インデックス再生)

インデックス画面で静止画を選んでからメニューダイヤルを押せば、選んだ静止画を再生をすることができます。

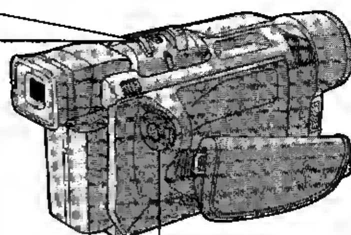
操作はココ！

メニューダイヤルの使いかた



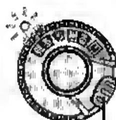


●選択する　●メニューを表示する
●決定する

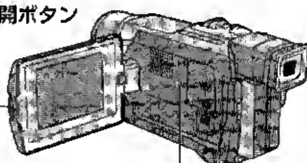


1 ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「見る」に合わせる

●電源ランプが点灯し、電源が入ります。



2 「押ー開」ボタンを押して液晶画面を開き、ビデオ／静止画スイッチを「静止画」に合わせる



3 メニューダイヤルを押してメニューを表示させ、「Ⓜメモリー再生モード設定」を選びダイヤルを押す

4 メニューダイヤルで「インデックス」を選び、ダイヤルを押す

●インデックス画面が表示されます。





5 メニューダイヤルで表示したい静止画を選び、ダイヤルを押す

●選択した静止画が表示されます。



静止画を削除できないようにする（プロテクト）



こんなときにお使いください。 ●大切な静止画を削除したくないとき

メモリーカードに記録した大切な静止画にはプロテクト（削除防止）をかけておくことをおすすめします。誤って削除することが防げます。

操作はココ！

メニューダイヤルの使いかた

左右に回す

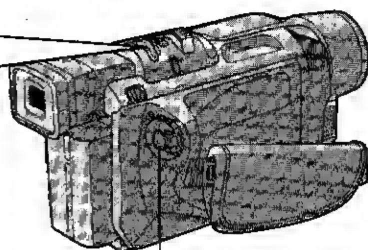


●選択する

押す



●メニューを表示する
●決定する



電源ダイヤル

❶ ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「見る」に合わせる

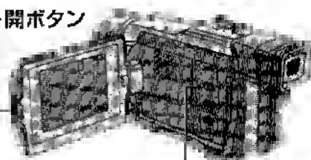
●電源ランプが点灯し、電源が入ります。



ロック解除ボタン

❷ 「押－開」ボタンを押して液晶画面を開き、ビデオ／静止画スイッチを「静止画」に合わせる

押－開ボタン



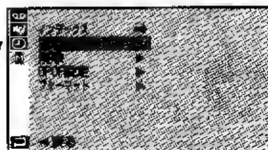
ビデオ/静止画スイッチ：静止画

❸ メニューダイヤルを押してメニューを表示させ、「Ⓜメモリー再生モード設定」を選びダイヤルを押す

❹ メニューダイヤルで「プロテクト」を選び、ダイヤルを押す

●手順❺に進みます。

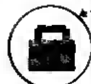




プロテクト(削除防止)をかけたいときは

❺ メニューダイヤルでプロテクトをかけたい静止画を選び、ダイヤルを押す

- 選んだ静止画に🔒マークがついてプロテクトがかかります。
- 必要な静止画すべてに、プロテクトをかけてください。





❻ メニューダイヤルを左に回して「EXIT」を選び、ダイヤルを押す

- 通常再生画面に戻ります。



デジタルスチルカメラ

プロテクト(削除防止)をはずしたいときは

❺ メニューダイヤルでプロテクトをはずしたい静止画を選び、ダイヤルを押す

- 選んだ静止画の🔒マークが消えてプロテクトがはずれます。
- 他にもプロテクトをはずしたい静止画があるときは、手順❺を繰り返します。




❻ メニューダイヤルを左に回して「EXIT」を選び、ダイヤルを押す

- 通常再生画面に戻ります。



プロテクトしていてもフォーマットした場合は削除されます。必要な静止画はパソコンに転送して保存することをおすすめします。

静止画を削除する

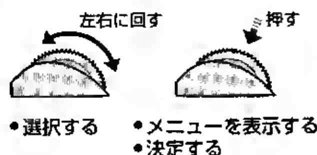


こんなときにお使いください。　●不要な静止画を削除したいとき

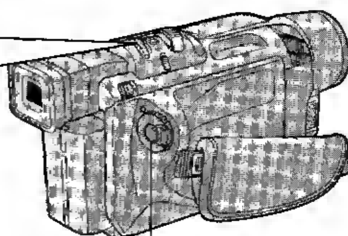
削除した分だけメモリーに空きができるため、撮影できる枚数を増やすことができます。削除のしかたには、「表示している静止画を削除 (☞79ページ)」、「すべての静止画を削除 (☞79ページ)」、「静止画を選択して削除 (☞80ページ)」の3つがあります。

操作はココ！

メニューダイヤルの使いかた



●選択する　●メニューを表示する　●決定する

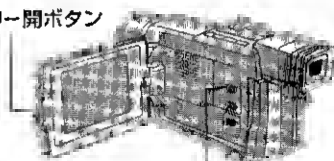


❶ ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「見る」に合わせる

●電源ランプが点灯し、電源が入ります。



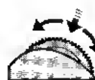
❷「押ー開」ボタンを押して液晶画面を開き、ビデオ／静止画スイッチを「静止画」に合わせる

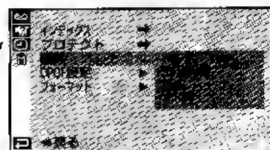


❸ メニューダイヤルを押してメニューを表示させ、「Ⓜメモリー再生モード設定」を選びダイヤルを押す

❹ メニューダイヤルで「削除」を選び、ダイヤルを押す

●手順❺ (☞79ページまたは80ページ) に進みます。





ご注意　●削除中はメモリーカードを取り出したり、電源を切らないでください。故障などの原因となることがあります。

表示している静止画を削除したいときは

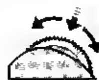
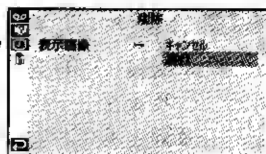
5 メニューダイヤルで「表示画像」を選び、ダイヤルを押す

- 確認画面が表示されます。




6 メニューダイヤルで「実行」を選び、ダイヤルを押す

- 現在表示されている静止画が削除されます。
- 静止画にプロテクトがかかっていた場合は、「プロテクトがかかっています」と表示され、静止画は削除されません。
- 削除をやめたいときは、「キャンセル」を選びます。

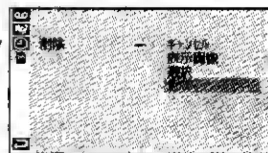



デジタルスチルカメラ

すべての静止画を削除したいときは

5 メニューダイヤルで「すべて」を選び、ダイヤルを押す

- 確認画面が表示されます。

6 メニューダイヤルで「実行」を選び、ダイヤルを押す

- プロテクトされていないすべての静止画が削除されます。
- 削除をやめたいときは「キャンセル」を選びます。






すべての静止画を削除しても撮影できる枚数が少ないときは、メモリーカードをフォーマット（初期化）してください。（☞84ページ）

静止画を削除する

静止画を選択して削除したいときは

5 メニューダイヤルで「選択」を選び、ダイヤルを押す

- 削除インデックス画面が表示されます。




6 メニューダイヤルで削除したい静止画を選び、ダイヤルを押す

- 削除したい静止画に×マークがついて選択されます。
- 静止画を選択した後で、削除をやめたいときは、再びダイヤルを押します。選択していることを表す×マークが消えます。




7 メニューダイヤルを左に回して「NEXT」を選び、ダイヤルを押す

- 確認画面が表示されます。




8 メニューダイヤルで「実行」を選び、ダイヤルを押す

- 選択した静止画が削除されて、再生画面に戻ります。
- 削除をやめたいときは「キャンセル」を選びます。
- 不要な静止画すべてにXマークをつけてください。




プリント情報を設定する(DPOF設定)



こんなときにお使いください。 ●静止画を自動プリントしたいとき

今後の自動プリントシステムなど将来の環境を考慮し、自動プリントするための情報を記録するDPOF(Digital Print Order Format) 規格に対応しています。DPOF設定には「すべての静止画を1枚ずつプリントするように設定する」、「静止画とプリント枚数を選んで設定する」の2つがあります。DPOF設定ができるのはメモリーカードに記録された静止画のみです。テープに記録した映像をDPOF設定によってプリントしたいときは、プリントしたい映像(静止画)をあらかじめメモリーカードにコピーしておきます(☞114ページ)

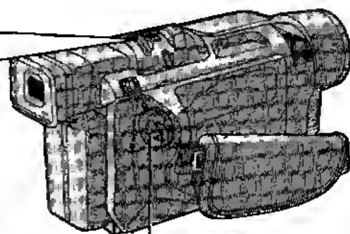
操作はココ!

メニューダイヤルの使いかた





●選択する　●メニューを表示する　●決定する

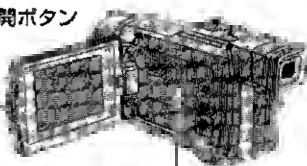


❶ ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「見る」に合わせる

●電源ランプが点灯し、電源が入ります。



❷ 「押ー開」ボタンを押して液晶画面を開き、ビデオ/静止画スイッチを「静止画」に合わせる

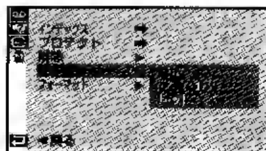


❸ メニューダイヤルを押してメニューを表示させ、「Ⓜメモリー再生モード設定」を選びダイヤルを押す

❹ メニューダイヤルで「DPOF設定」を選び、ダイヤルを押す

●手順❺(☞82ページ)に進みます。



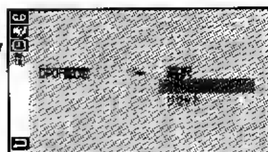


ご注意 ●DPOF設定の操作中は、電源を切ったりしないでください。メモリーカードの静止画ファイルが壊れることがあります。

プリント情報を設定する（DPOF設定）

すべての静止画を1枚ずつプリントするように設定する

❺ メニューダイヤルで「すべて1枚」を選び、ダイヤルを押す

- 確認画面が表示されます。

❻ メニューダイヤルで「実行」を選び、ダイヤルを押す



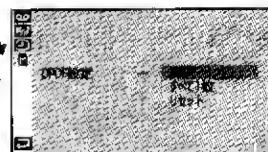

- 設定完了後、再生画面に戻ります。
- 設定をやめたいときは、「キャンセル」を選びます。

<枚数をすべて0枚にもどすには>

手順❺で「リセット」を選び、メニューダイヤルを押します。
すべての静止画が0枚に設定されます。

静止画とプリント枚数を選んで設定する

❺ メニューダイヤルで「選択」を選び、ダイヤルを押す

- DPOF設定画面が表示されます。

❻ メニューダイヤルでプリントしたい静止画を選び、ダイヤルを押す




- 静止画の枚数欄が選択されます。



DPOF対応プリンターを使用すると、DPDF設定した静止画を自動でプリントすることができます。

❼ メニューダイヤルでプリントしたい枚数を選び、ダイヤルを押す





- 最大15枚まで設定できます。
- 手順❻、❼をくり返し、プリントしたい静止画すべてに枚数設定してください。

❽ メニューダイヤルを左に回して「NEXT」を選び、ダイヤルを押す

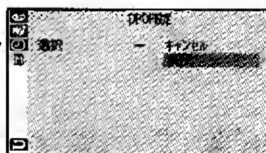




- 確認画面が表示されます。

❾ メニューダイヤルで「実行」を選び、ダイヤルを押す





- 設定完了後、再生画面に戻ります。
- 設定をやめたいときは、「キャンセル」を選びます。

<枚数をすべて0枚にもどすには>

手順❺で「リセット」を選び、メニューダイヤルを押します。
すべての静止画が0枚に設定されます。

メモリーカードをフォーマットする(初期化)

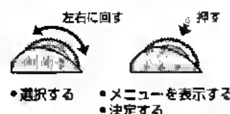


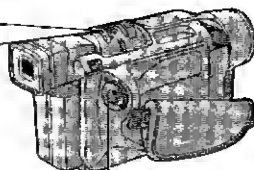
こんなときにお使いください。　●メモリーカードに不具合が生じたとき

通常はメモリーカードをフォーマットする必要はありません。何らかの理由でメモリーカードに不具合が生じたときは、フォーマットすることで回復できることがあります。フォーマットするとメモリーカード内の静止画やデータはすべて消去されます。

操作はココ！

メニューダイヤルの使いかた



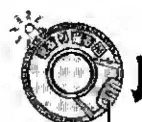


ご注意

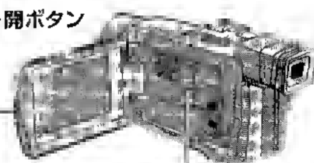
- フォーマット中は電源を切ったり、他の操作をしないでください。
  故障の原因になります。また、ACアダプターをお使いください。
  途中でバッテリーがなくなると、故障の原因となります。

❶ ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「見る」に合わせる

- 電源ランプが点灯し、電源が入ります。



❷「押ー開」ボタンを押して液晶画面を開き、ビデオ／静止画スイッチを「静止画」に合わせる



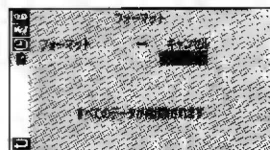
ビデオ/静止画スイッチ：静止画

❸ メニューダイヤルを押してメニューを表示させ、「M メモリー再生モード設定」を選びダイヤルを押す

❹ メニューダイヤルで「フォーマット」を選び、ダイヤルを押す

❺ メニューダイヤルで「実行」を選び、ダイヤルを押す

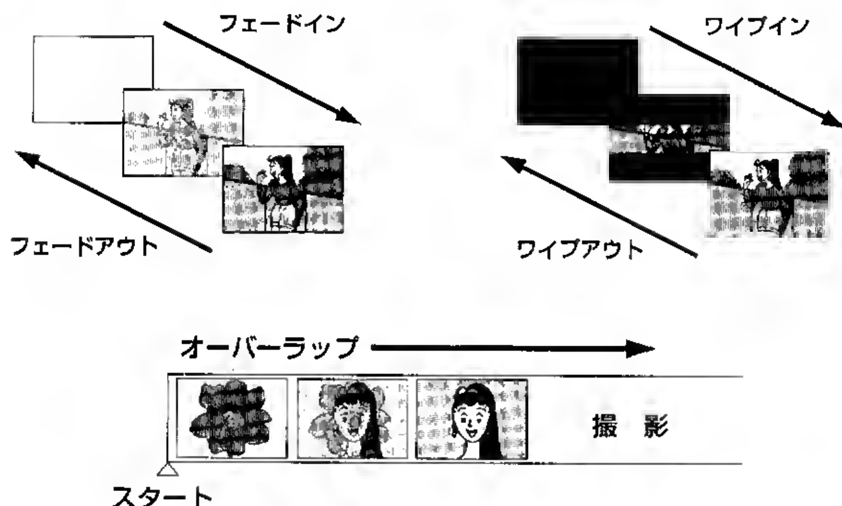
- フォーマットが始まり、メモリー内容が消去されます。フォーマットが終了すると「記録された画像がありません」と表示されます。



手動

マニュアル（手動）撮影でさらに高度なビデオライフを！

楽しみかた



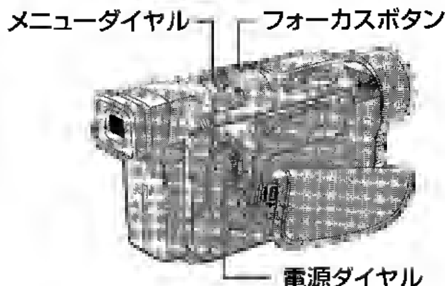
ピントを手動で合わせる（マニュアルフォーカス）



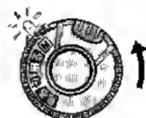
こんなときにお使いください。

●ピントが合いにくいとき

オートフォーカスでは、約5センチから無限遠まで自動的にピントが合います。しかし、ピントが合いにくいときや被写体が画面中央にないときは、手動でピントを合わせてください。



❶ 電源ダイヤルを「M」に合わせる



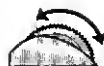
❷ フォーカスボタンを押す

●ピントの調整モードになります。



❸ メニューダイヤルを回してピントを合わせる

●被写体が良く見えるように合わせます。

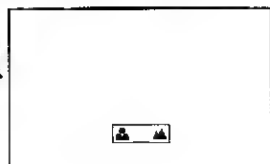


左いっぱいに回す（ー側）（最至近点） ⟷ 右いっぱいに回す（＋側）（最遠点）

❹ メニューダイヤルを押す

●フォーカスが固定します。固定したピントを合わせ直したいときは、手順❷からくり返します。





<ピントをオートフォーカスに戻すには>

● 手順❷でフォーカスボタンを2回押します。
● 電源ダイヤルを「撮る」に合わせてもオートフォーカスに切り替えることができます。



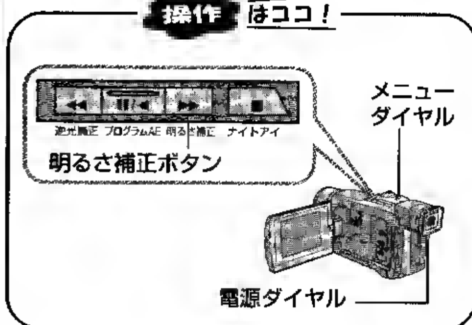
●こんなときに手動でピントを合わせます
・平らな壁や青空など、コントラスト（明暗差）のほとんどない被写体を撮るとき
・金網などの障害物が被写体との間にあるとき
・細かい模様や同じ模様が規則正しく並んでいる被写体を撮るとき
・蛍光灯などのちらつきのある光源の下で撮影するとき

画像の明るさを調節する（明るさ補正）

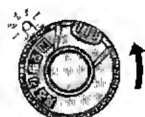


こんなときにお使いください。

- 逆光補正ボタン（☞54ページ）で補正できないとき
- スポットライト機能（☞93ページ）で補正できないとき



太陽が背景にあって被写体が暗くなったり、スポットライトなどがあたって被写体が明るくなりすぎるとき、逆光補正ボタンやスポットライト機能では補正しきれないことがあります。このようなときは、手動で明るさを調節してください。



❶ 電源ダイヤルを「M」に合わせる



❷「明るさ補正」ボタンを押す

❸ メニューダイヤルを回して明るさを調節する

- 被写体を程良い明るさに調節します。
- 「＋３」は逆光補正ボタンと同じ効果です。
- 「－３」はスポットライト機能と同じ効果です。



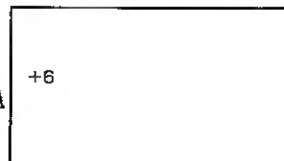


左に回す：暗くする（-6まで） ⟷ 右に回す：明るくする（+6まで）

❹ メニューダイヤルを押す

- 明るさの補正が固定されます。
  固定した明るさを合わせ直したいときは、手順❷からくり返します。





<明るさを自動調節に戻すには>

- 手順 ❷ で「明るさ補正」ボタンを２回押します。
- 電源ダイヤルを「撮る」に合わせても自動調節に切り替えることができます。



- 一定の明るさで撮影するには
  - ・手順❸のあと、メニューダイヤルを２秒以上押す
    明るさ調節表示の数字の横にⓁが表示されます。
  - ・再度メニューダイヤルを押す
    明るさが固定されます。動きのある被写体や、ズーム操作を行うときなど画面上の被写体を一定の明るさにすることができます。
- 明るさを手動で調節しているときは
  逆光補正ボタン（☞54ページ）、スポットライト機能（☞93ページ）、スノー機能（☞93ページ）などは使用できません。

手動

画像の色合いを調節する（白バランス）



こんなときにお使いください。

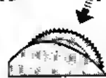
●画像の色合いが不自然なとき

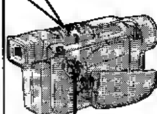
ビデオカメラは、通常、色のバランスを自動的に調節し、最も自然な色合いを再現します。ただし、天候やビデオライトなど光源の状態によって、自然な色合いを再現できないときは、手動で白バランスを設定してください。

操作はココ！

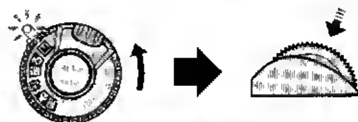
メニューダイヤルの使いかた





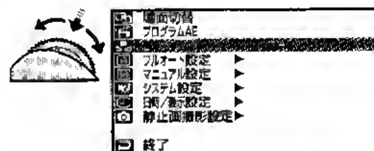


❶ 電源ダイヤルを「M」に合わせ、メニューダイヤルを押す

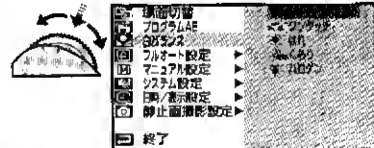


❷ メニューダイヤルで「白バランス」を選び、ダイヤルを押す

●白バランスメニューが表示されます。



❸ メニューダイヤルでモードを選択し、ダイヤルを押す

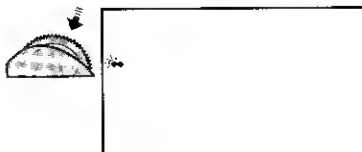


次の5つのモードから選択できます。

- オート……自動的に色のバランスを調節します。フルオートモードでは「オート」に設定されています。
- ワンタッチ……あらかじめ被写体に合わせて設定しておいた色のバランスで撮影したいときに選択します。(☞89ページ)
- はれ……晴れた日に屋外で撮影するときに選択します。
- くもり……曇りの日や日陰で撮影するときに選択します。
- ハロゲン……ビデオライトなどの照明を使用して撮影するときに選択します。

❹ メニューダイヤルを押す

●白バランスが固定されます。



<白バランスを自動調節に戻すには>

● 手順 ❸ で「オート」を選択します。

白バランスを正確に設定する



こんなときにお使いください。

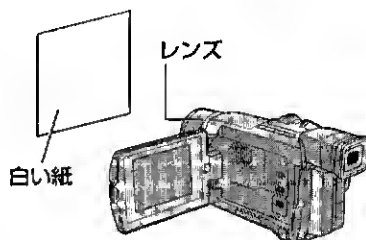
●自然な色で撮影したいとき

ビデオカメラに設定されている白バランスモードで撮影するより正しい色で撮影することができます。

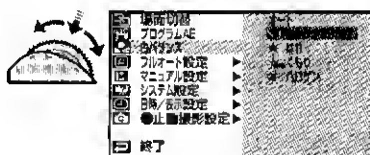


❶ レンズの前に白い紙を置き、画面いっぱいに白い紙を映します。

- ピントが合いにくいときは、マニュアルフォーカス（☞86ページ）であわせてください。
- 裏の透けない紙（コピー用紙など）をお使いください。



❷ 前ページ（☞88ページ）の手順❸で「ワンタッチ」を選ぶ



❸ 「」が点滅するまでメニューダイヤルを押し続ける

- 「」の点滅が止まったところの色のバランスが、ビデオカメラに記憶されます。



❹ メニューダイヤルを２回押す

- 「」が表示されます。



●設定した白バランスは
「ワンタッチ」に別の白バランスを設定するまで記憶されています。

●室内で撮影するときは
外光、蛍光灯、ロウソクの光など、いろいろな光源が被写体にあたります。自然な色合いで撮影したいときは白バランスを調節してください。



●色紙を使って白バランスを調節するときは
手順❶で色紙を置いて白バランスを調節すると、白い紙を置いて調節したときとはちょっと変わった色合いの撮影がお楽しみいただけます。

例）

赤い紙で調節した場合：青緑がかった色で撮影されます。

青い紙で調節した場合：オレンジ色で撮影されます。

黄色い紙で調節した場合：青紫がかった色で撮影されます。

手動

変化をつけて映像をつなぐ（場面切替）



こんなときにお使いください。

● 場面と場面のつなぎ目に変化をつけたいとき

「白・黒画面で切替」を使ったときの効果

1）フェーダー効果

ビデオの撮り始めと撮り終わりをフェードイン、フェードアウトでつなぎます。

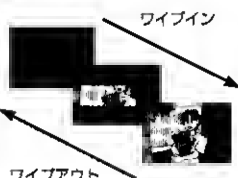
(例) 白フェーダー



2）ワイプ効果

ビデオの撮り始めと撮り終わりをワイプイン、ワイプアウトでつなぎます。

(例) シャッターワイプ

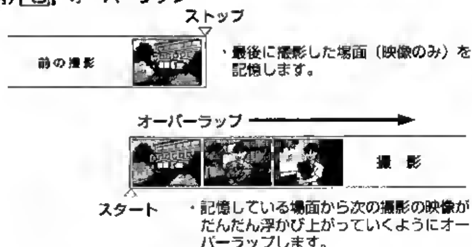


「最後の映像（静止画）で切替」を使ったときの効果

1）オーバーラップ

ビデオの撮り始めをオーバーラップでつなぎます。

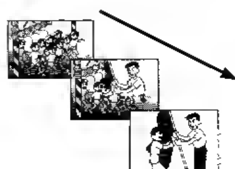
(例) P オーバーラップ



2）アイコンにPの付いているワイプ効果

ビデオの撮り始めをワイプインでつなぎます。

(例) Pコーナーワイプ





● 静止画撮影では、場面切替が使用できません。

場面切替には17種類の効果があります。

■白・黒画面で切替

アイコン	効果
フェーダー：白	白い画面でフェードイン、フェードアウトします。
フェーダー：黒	黒い画面でフェードイン、フェードアウトします。
フェーダー：モザイク	モザイク画面でフェードイン、フェードアウトします。
フェーダー：白黒	白黒画面からカラー画面にフェードインし、カラー画面から白黒画面にフェードアウトします。
ワイプ：コーナー	黒い画面の右上から左下へ映像が徐々にワイプインし、左下から右上へワイプアウトします。
ワイプ：ウィンドウ	黒い画面の中心から映像が徐々にワイプインし、画面の中心へワイプアウトします。
ワイプ：スライド	黒い画面の右から左へ映像が徐々にワイプインし、左から右へワイプアウトします。
ワイプ：ドア	黒い画面の中央から映像が左右にドアを開けていくように徐々にワイプインし、閉めていくようにワイプアウトします。
ワイプ：スクロール	黒い画面から映像が下から上へ徐々にワイプインし、上から下へワイプアウトします。
ワイプ：シャッター	黒い画面の中央から映像が上下に徐々にワイプインし、上下から中央にワイプアウトします。

■最後の映像（静止画）で切替

アイコン	効果
P オーバーラップ	最後に撮った映像から次の撮影の映像が徐々に浮かび上がっていくように場面を切り替えます（オーバーラップ）。
P ワイプ：コーナー	最後に撮った映像の右上から左下へ徐々にワイプインします。
P ワイプ：ウィンドウ	次の撮影の映像が、最後に撮った映像の中心から徐々にワイプインします。
P ワイプ：スライド	次の撮影の映像が、最後に撮った映像の右から左に徐々にワイプインします。
P ワイプ：ドア	次の撮影の映像が、最後に撮った映像の中央から左右にドアを開けていくように徐々にワイプインします。
P ワイプ：スクロール	次の撮影の映像が、最後に撮った映像の下から上に徐々にワイプインします。
P ワイプ：シャッター	次の撮影の映像が、最後に撮った映像の中央から上下に徐々にワイプインします。
切	「場面切替」を使用しないときに選択します。

手動

ご注意

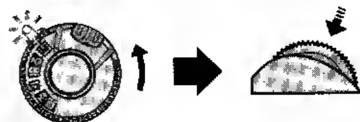
- アイコンが点滅しているとき、またはアイコンが表示されないときは、その機能は動作しません。
(☞92、139ページ)

設定方法は92ページからです。

場面切替を設定する

❶ 電源ダイヤルを「Ⓜ」に合わせ、メニューダイヤルを押す

- メニュー画面が表示されます。



❷ メニューダイヤルで「場面切替」を選び、ダイヤルを押す



❸ メニューダイヤルでお好みの場面切替を選ぶ



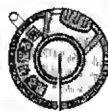
❹ メニューダイヤルを２回押す

- 選択した場面切替が設定され、画面に選択した場面切替のアイコンが表示されます。



❺ 撮影ボタンを押す

- 選択した場面切替でビデオを撮り始めます。
- もう一度撮影ボタンを押すと選択した場面切替でビデオを撮り終えます。





例：P ワイプシャッターの場合

＜場面切替をやめたいときは＞

- 手順 ❸ で「切」を選択します。



- 場面切替設定と演出効果設定（☞91、93ページ）を一緒に使うと
さらに効果的なビデオ撮影をお楽しみいただけます。ただし、演出効果設定と一緒に使えない場面切替があります。場面切替設定アイコンが点滅して、使えない機能であることをお知らせします。



- 電源を切ってしまったときは
「最後の映像で切替」（アイコンにＰの付いている切替）を設定したとき、電源が切れると、ビデオカメラに記憶されている最後の映像が消えてしまいます。このとき、画面切替設定アイコンが点滅しますので、もう一度通常の撮影をしてから場面切替を行ってください。撮影一時停止を５分以上続けても電源が切れますので、注意してください。

映像に変化をつける(プログラムAE)



こんなときにお使いください。

● 映像そのものに変化をつけたいとき

被写体を何重にも重ねて撮影したり、暗い場所の被写体を明るく撮影することなどができます。演出効果は全部で13種類の効果があります。

アイコン	効　果
1/60 シャッター1/60	テレビ画面などを撮影するときに出る黒い帯は細くなります。
1/100 シャッター1/100	蛍光灯や水銀灯の光で撮影するときに出るちらつきは少なくなります。(50Hz地域のみ)
スポーツ	被写体の明るさに合わせてシャッタースピードを1/250から1/4000まで自動的に調節して撮影します。スポーツをしている人物やモータースポーツなど、動きの速い被写体を1コマ1コマ鮮明に撮ることができます。
スノー	晴れた日の雪原など周囲が明るい場所で撮影するときに、被写体を明るく補正することができます。効果としては「逆光補正」(☞54ページ)と同じですが、こちらの方がやや弱い効果になるので「逆光補正」では効果が強すぎる場合に便利です。
スポットライト	スポットライトなどがあたって被写体(人物)が明るく写りすぎるときに、被写体を暗く補正することができます。
夜景	夜景などを撮るとき、映像がザラザラせず、自然な感じで記録することができます。「白バランス」は ☀ になりますが、お好みの設定に変えることができます。(☞88ページ) ピントは、10m～無限遠の間では自動的に合います。10m以内の間では手動で合わせてください。

アイコン	効　果
セピア	古い写真のようなセピア色で映像を記録します。「ワイド効果」の「ワイド」や「シネマ」(☞127ページ)と合わせて使うと、古い白黒映画のような雰囲気をお楽しみいただけます。
B/W ブラック/ホワイト	映像を白黒で記録します。「ワイド効果」の「ワイド」や「シネマ」と合わせて使うと、白黒映画のような雰囲気をお楽しみいただけます。
映画効果	早いコマ落とし効果を付けて映像を記録します。
ストロボ	コマ落としの効果で、連続写真のように記録します。
1 高感度 4倍	暗い場所の映りにくい被写体を、通常よりも明るく浮かび上がらせて撮影することができます。 高感度4倍：約4倍の明るさ(シャッタースピードは1/15秒) 高感度10倍：約10倍の明るさ(シャッタースピードは1/6秒)
2 高感度 10倍	
ゴースト	被写体が何重にもなって撮影されます。幻想的な雰囲気を出したいときなどに効果的です。

手動

ご注意

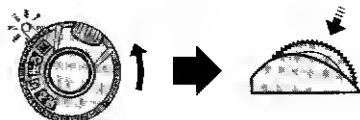
● アイコンが点滅しているとき、またはアイコンが表示されないときは、その機能は動作しません。(☞94、139ページ)

設定方法は94ページからです。

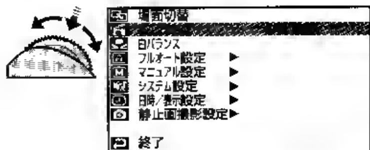
プログラムAEを設定する

❶ 電源ダイヤルを「M」に合わせ、メニューダイヤルを押す

●メニュー画面が表示されます。



❷ メニューダイヤルで「プログラムAE」を選び、ダイヤルを押す



❸ メニューダイヤルでお好みのプログラムAEを選ぶ



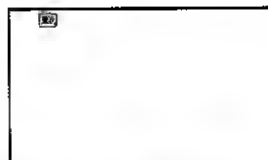
❹ メニューダイヤルを2回押す

●メニューを終了し、通常の撮影画面に戻ります。



❺ プログラムAEボタンを押す

●選択した演出効果が設定され、画面にプログラムAEのアイコンが表示されます。

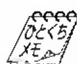


<プログラムAEをやめたいときは>

再度、プログラムAEボタンを押します。



プログラムAEボタン



●シャッターモードまたはスポーツモードを使うときは
シャッタースピードが速くなればなるほど画面が暗くなります。できるだけ明るい場所で撮影してください。

●高感度モードを使うときは
暗いところでのみお使いください。撮影した映像はコマ落としのようになります。手動フォーカス表示が出て点滅したときは、ピントを手動で合わせ、三脚などで固定してください。

●ゴーストを設定しているときは
デジタルズームはご利用いただけません。



●演出効果設定と場面切替設定を一緒に使うと
さらに効果的なビデオ撮影をお楽しみいただけます。ただし、場面切替設定と一緒に使えない演出効果があります。演出効果設定アイコンが点滅して、使えない機能であることをお知らせします。

暗い場所で撮影する（ナイトアイ）



こんなときにお使いください。

- 暗い場所の映りにくい被写体を撮影するとき

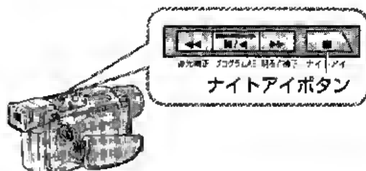
被写体の明るさに応じてビデオカメラがシャッタースピードを自動調整して、被写体を最大約30倍まで明るくさせて撮影することができます。ビデオライトを点灯させたくないときなどにお使いください。

❶ 電源ダイヤルを「M」に合わせる



❷ ナイトアイボタンを押す

- 「■」マークが表示されます。
- ナイトアイが働いているときは、「■」マークの横に「A」マークが表示されます。



＜ナイトアイをやめたいときは＞

再度、ナイトアイボタンを押します。
「■」マークが消えます。

手動



- ナイトアイ設定中は、働かない機能があります。この場合、その機能のアイコンが点滅、または表示されません。〔プログラムAEの一部（☞93ページ）、最後の映像（静止画）で場面切替（☞91ページ）、感度アップ（☞124ページ）、手振れ補正（☞127ページ）、オートライト（☞51ページ）など〕
- 撮影した映像は、コマ落としの効果がついたようになります。
- ナイトアイが働いているときは、ピントが合いにくくなりますので三脚を使用することをおすすめします。
- ナイトアイ設定中でも被写体が明るいときは、「A」マークが表示されずナイトアイは働きません。

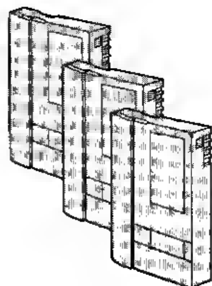
コラム こんなときどうするの？Q&A

Q 子供が小さいので、頻繁に撮影しています。でも、ビデオテープがたくさんたまり、整理に困っています。何かよい整理方法はありますか？

A

アナログテープはデジタル化して保管する

以前にVHS-Cや8mmのビデオカメラで撮影したアナログのビデオテープがあれば、それらをデジタルビデオテープにダビングして保管しましょう。（☞ 99ページ）。アナログのビデオテープは、時間が経つにつれて画質や音声が劣化することがあるため、大切な思い出が台無しになってしまうことがあります。デジタルビデオテープでは、画質や音質がほとんど劣化しません。



テープには内容を書いたラベルを貼る

撮影したテープには、例えば「2001.10.10 美奈の運動会（ビクター小学校）」など、日付と内容などを書いたラベルを貼っておきましょう。

2001.10.10
美奈の運動会
（ビクター小学校）

画像をプリントして貼り付ける

1年、2年と経過すると、テープのラベルを見ただけでは、収録内容を思い出せなくなります。そこで、静止画をパソコンに取り込んでプリントしたり、ビデオプリンター（別売）で象徴的なシーンをシール紙にプリントし、ケースに貼り付けておくと、中身がわかりやすくなります。

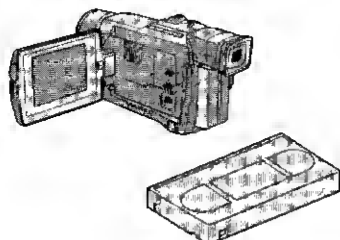


編集

撮影した映像を編集して楽しもう！

楽しみかた

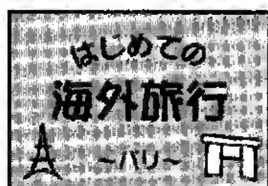
ダビングしてお友達にあげよう！



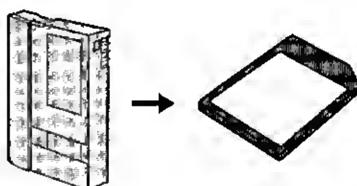
ナレーションを加えて映像を演出しよう！



タイトルなどを入れてオリジナルのドラマづくり！



パソコンに取り込めるように静止画をコピーしよう！



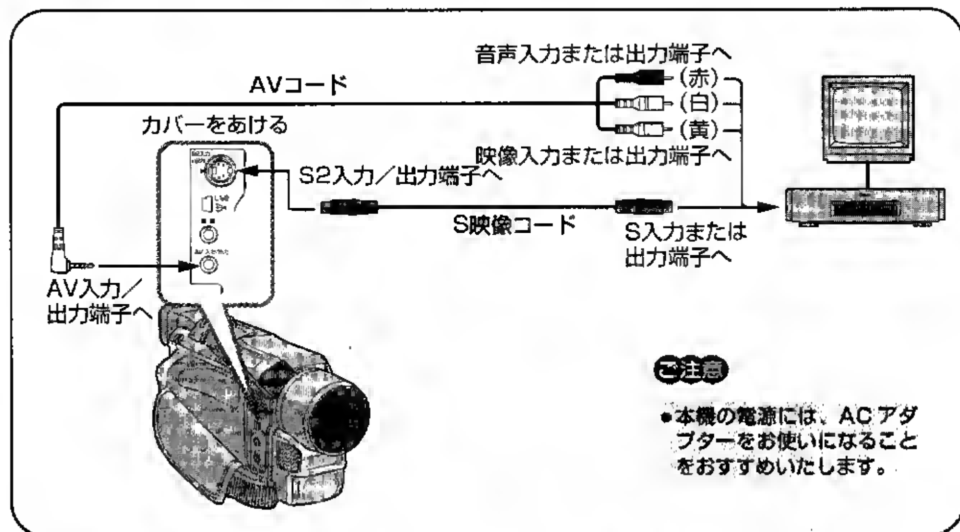
ダビングする

本機を再生側として使う



こんなときにお使いください。　●ビデオデッキでダビングしたいとき

S映像端子付きのビデオデッキと本機をS映像コードを使ってダビングすると、より高画質の映像をダビングできます。

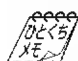


❶ 電源を入れない状態で
本機のAV入力／出力端子とビデオデッキの映像／音声入力端子をAVコードで接続する

●S映像コードでビデオをダビングするときは、本機のS2入力／出力端子とビデオデッキのS入力端子を接続してください。

❷ 本機を再生し、ダビングしたいところで
ビデオデッキの録画ボタンを押す

●本機またはリモコンを操作してテープを再生してください。



●**ビデオデッキでダビングする前に**
ご使用になるビデオデッキの取扱説明書もお読みください。

●**カットしたい映像があるときは**
ビデオデッキの一時停止ボタンを押してダビングを一時停止させ、ダビングしたい場面がテレビや液晶画面に現われたら録画を再開してください。

●**ダビングを終了したいときは**
ビデオデッキの録画停止ボタンを押します。

●**画面に表示されるメッセージを消してダビングしてください**（☞62、64、132ページ）
テレビの画面に表示されるメッセージは、そのままダビングされます。メッセージを消してからダビングしてください。

本機を録画側として使う



こんなときにお使いください。

●VHS テープなどから DV テープへダビングしたいとき

ビデオデッキなど、DV端子を持たないビデオ機器からビデオカメラへダビングできます。

1 電源を入れない状態で
本機のAV入力／出力端子とビデオ機器の映像／音声出力端子をAVコードで接続する（☞ 98ページ）
- S映像コードでダビングするときは、本機のS2入力／出力端子とビデオ機器のS出力端子を接続してください。

2 **録画モードを選ぶ**
（☞ 38、124ページ）

3 **電源ダイヤルを「見る」に合わせる**

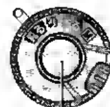
4 **メニューダイヤルを2回押す**
- ビデオ再生モード設定メニューが表示されます。

5 **メニューダイヤルで「アナログ入力」を選び、ダイヤルを押す**

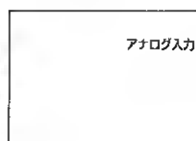
6 **メニューダイヤルで「入」を選び、ダイヤルを押す**

7 **メニューダイヤルを2回を押す**
- 通常の画面に戻ります。

8 **撮影ボタンを押す**
- 録画一時停止状態になり、画面に「アナログ入力」と表示されます。



撮影ボタン



9 ビデオ機器を再生し、ダビングしたいところで
撮影ボタンを押す
- 録画を開始し、表示が回転します。

10 **録画を止めたいときは、再度撮影ボタンを押す**
- 録画一時停止状態に戻り、表示の回転が停止します。

ご注意 ダビング終了後は、手順6で「アナログ入力」の設定を「切」に戻してください。「入」のまま再生すると、ご使用のビデオ機器やテープにより映像が乱れることがあります。



- アナログ信号がデジタル信号に変換されてテープに記録されます。
- 他のビデオカメラから本機へダビングすることもできます。

編集

デジタルダビングする

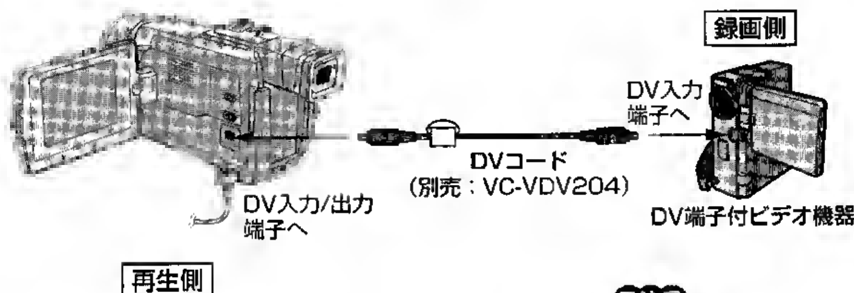
本機を再生側として使う



こんなときにお使いください。

●DV入力端子付きのビデオ機器へダビングしたいとき

デジタル信号でダビングするために画質や音質の劣化がほとんどありません。



ご注意

●本機の電源には、ACアダプターをお使いになることをおすすめいたします。

1 電源を入れない状態で
ビデオカメラとDV端子付ビデオ機器をDVコードで接続する

●DVコード（別売）で、本機のDV入力/出力端子とDV端子付ビデオ機器のDV入力端子を接続してください。

2 本機を再生し、ダビングしたいところで
DV端子付ビデオ機器の録画ボタンを押す



●**再生側が映像の乱れた部分や無記録部分を再生すると**
異常な映像が記録されたりダビングが停止することがあります。

●**再生時に「場面切替」「演出効果」「デジタルズーム」「記念写真」を設定していても**
DV出力端子からは、テープの通常再生映像のみ出力されます。また、日時表示なども出力されません。

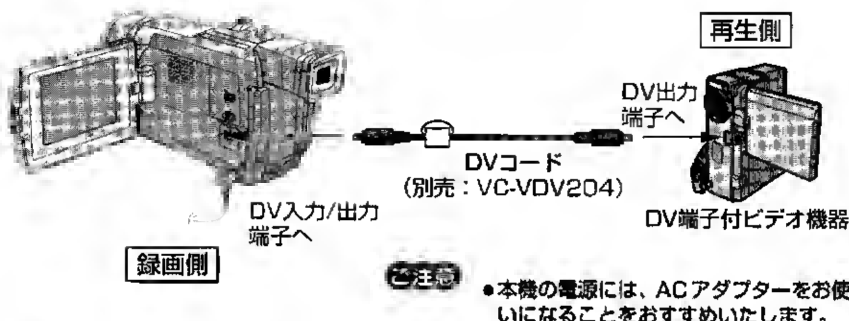
本機を録画側として使う



こんなときにお使いください。

● DV 出力端子付きのビデオ機器からダビングしたいとき

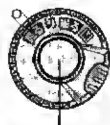
デジタル信号でダビングするために画質や音質の劣化がほとんどありません。

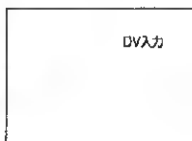


1 電源を入れない状態で
本機とDV出力端子付きのビデオ機器をDVコードで接続する
● DV コード（別売）で本機のDV入力/出力端子とDV出力端子付きビデオ機器のDV 出力端子を接続してください。

2
録画モードを選ぶ（☞ 38、124ページ）

3
電源ダイヤルを「見る」に合わせる





4
撮影ボタンを押す
● 録画一時停止状態になり、画面に「DV入力」と表示されます。

5 DV 端子付きビデオ機器を再生し、ダビングしたいところで
撮影ボタンを押す
● 録画を開始し、表示が回転します。

6
録画を止めたいときは、再度撮影ボタンを押す
● 録画一時停止状態に戻り、表示の回転が停止します。



● **再生側が映像の乱れた部分や無記録部分を再生すると**
異常な映像が記録されたり、ダビングが停止することがあります。

● **本機を録画側として DV 入力しているときは**
S2入力／出力端子、AV入力／出力端子から信号が出力されません。

編集

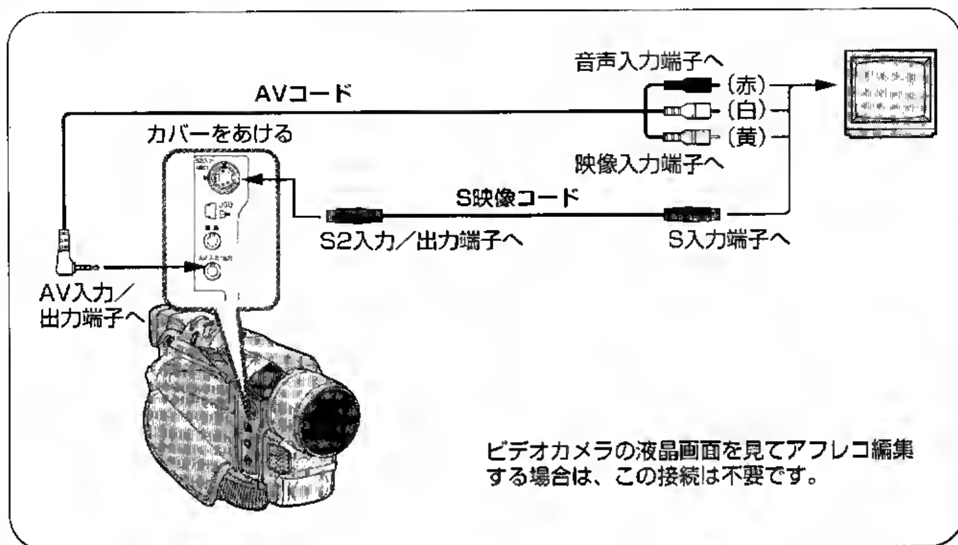
音声を加える（アフレコ編集）



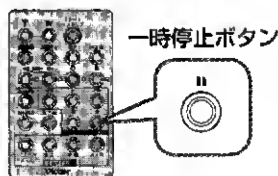
こんなときにお使いください。

●撮影したテープにナレーションを入れたいときなど

録画モードSPで、音声モードを12BITで撮影しておくと、後でオリジナルテープにナレーションなどを追加することができます。アフレコ編集は、付属のリモコン（☞30ページ）を使用して行います。



❶ テープを再生し、アフレコ編集したい場面でビデオカメラを一時停止する

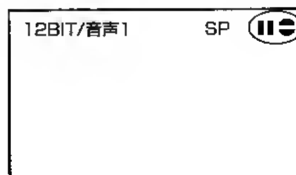


❷ リモコンのアフレコボタンを押しながら一時停止ボタンを押す

●画面にアフレコ編集アイコンが表示されます。





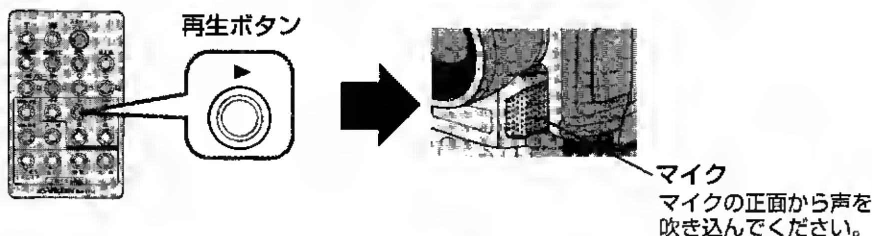




●アフレコ編集で吹き込んだ音声は
撮影時の音声とは別に、アフレコ編集した声がステレオ音声で記録されます。

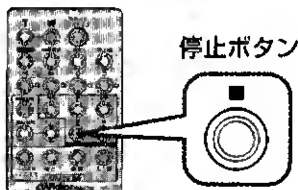
❸ 再生ボタンを押し、ビデオカメラのマイクに向かってナレーションなどを吹き込む

●アフレコ編集が始まり、吹き込んだ声が記録されます。



マイクの正面から声を吹き込んでください。

❹ 停止ボタンを押して、アフレコ編集を終了する



編集



●アフレコ編集した音声を聞きたいときは
(☞60ページ)

●画面に「音声アフレコできません」と表示されたときは (☞29ページ)
LPモードで撮影したテープ、16BITで音声を記録したテープ、誤消去防止用ツマミが「SAVE」側になっているテープ、およびテープの無記録部分ではアフレコ編集できません。

●別の場面からアフレコ編集を再開したいときは
リモコンの「一時停止ボタン」を押します。ビデオが静止画になります。リモコンの停止ボタンを押してアフレコ編集を終了し、アフレコ編集を再開したい場面を表示させてから再び編集を行ってください。

●テレビから「ピー」、「ウワーン」というノイズ音が出るときは
テレビからビデオカメラを離すか、テレビの音量を下げてください。

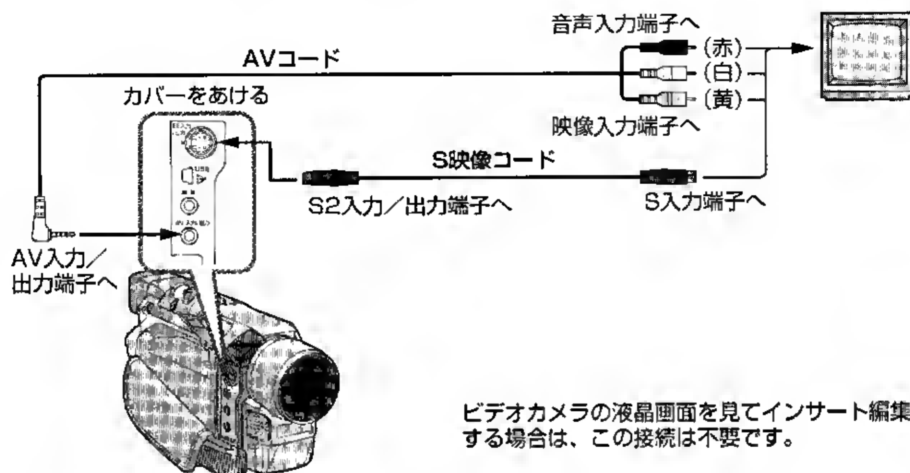
映像を入れかえる（インサート編集）



こんなときにお使いください。

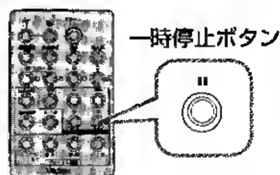
●撮影したテープにタイトルなどを入れたいとき

録画モードSPで撮影済みのテープに、後でタイトルなど別の場面を挿入することができます。タイトルを書いた紙などを用意してからインサート編集を行ってください。インサート編集は付属のリモコン（☞30ページ）を使用して行います。



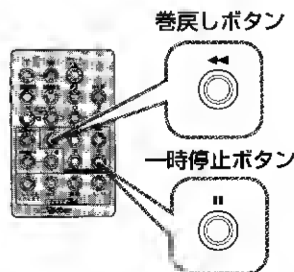
ビデオカメラの液晶画面を見てインサート編集する場合は、この接続は不要です。

❶ テープを再生し、インサート編集を終える場面でビデオカメラを一時停止する



- 終える場面のタイムコードを確認してください。タイムコード表示が出ていないときは（☞64ページ）

❷ インサート編集を開始する場面までビデオカメラを巻き戻し、一時停止ボタンを押す





- インサート編集中、映像に変化をつけたいときは（☞93ページ）

❸ リモコンのインサートボタンを押しながら一時停止ボタンを押す

- 画面にインサート編集アイコンが表示されます。



❹ インサートするタイトルなどをカメラに映るようにしてリモコンの「スタート／ストップ」ボタン（またはビデオカメラの撮影ボタン）を押す



❺ リモコンのスタート / ストップボタンを押して、手順 ❶ で確認したタイムコードの位置でインサートを終了する

❻ リモコンの停止ボタン（■）を押して、インサート編集を終了する

編集



- 画面に「インサート録画できません」と表示されたときは（☞29 ページ）
  LPモードで撮影したテープ、誤消去防止用ツマミが「SAVE」側になっているテープ、およびテープの無記録部分ではインサート編集できません。
- インサート編集したあとの映像と日時は新しい映像と日時が上書きされます。

ビデオを自動で編集する（自動編集



こんなときにお使いください。

●好きな場面を選んでビデオデッキに自動でダビングしたいとき

撮影済みのビデオの中からお好きな場面を8場面まで選んで、ビデオデッキのテープに自動的にダビングすることができます。あらかじめアフレコ編集（☞102ページ）してあるビデオを編集すると、テレビドラマや映画のようなビデオを作成することができます。編集する場面と場面の間に場面切替効果（☞90ページ）を挿入したり、演出効果（☞93ページ）を使って映像そのものに変化をつけることもできます。自動編集は、ビデオカメラ、および付属のリモコン（☞30ページ）とご家庭のビデオデッキを接続して行ないます。

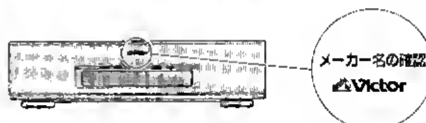
ビデオデッキのメーカーをリモコンに登録する

自動編集では、付属のリモコンを使用してご家庭のビデオデッキを操作します。ここでは、自動編集を行う前に、ご家庭のビデオデッキのメーカーをリモコンに登録する方法を説明します。ビデオデッキをリモコンに登録しておくと、自動編集以外でもリモコンでご家庭のビデオを操作できるようになります。

❶ ビデオデッキの電源を切る



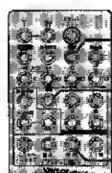
❷ ご使用のビデオデッキのメーカー名を確認する



❸ 設定ボタンを押したまま「メーカー別リモコン設定表」（次ページ）に対応したボタンを順番に押す

●ビデオデッキの電源が入れば設定終了です。
●同じメーカーでも信号の種類は複数あります。
●「リモコン信号A」でビデオデッキが反応しないときは、「リモコン信号B」「リモコン信号C」…の順でボタンを押してください。

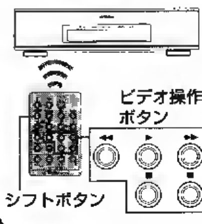
例：ビクター（リモコン信号A）の場合



1 押したまま
設定
設定ボタン
＋
2 リモコンの ボタン1
ビデオ準備 ボタン
続けて →
3 リモコンの ボタン2
巻戻し ボタン

リモコン登録後のビデオの操作方法

シフトボタンを押したまま、ビデオ操作ボタンを押します。



リモコンメーカー設定表

メーカー名	リモコン信号	リモコンのボタン1	リモコンのボタン2
ビクター	A	●II（ビデオ準備）	◀◀（巻戻し）
	B	●II（ビデオ準備）	■（停止）
	C	●II（ビデオ準備）	（シフト）
アカイ	A	■（停止）	▶▶（早送り）
	B	■（停止）	▶（再生）
	C	（ここから/ここまで）	（ここから/ここまで）
サンヨー	A	■（停止）	▶（再生）
	B	（シフト）	II（一時停止）
	C	（シフト）	（プログラム編集入/切）
	D	（ここから/ここまで）	●II（ビデオ準備）
シャープ	A	◀◀（巻戻し）	II（一時停止）
	B	◀◀（巻戻し）	（プログラム編集入/切）
ソニー	A	■（停止）	II（一時停止）
	B	■（停止）	（プログラム編集入/切）
	C	（シフト）	●II（ビデオ準備）
	D	（シフト）	◀◀（巻戻し）
東芝	A	■（停止）	●II（ビデオ準備）
	B	■（停止）	◀◀（巻戻し）
NEC	A	（シフト）	（ここから/ここまで）
	B	（シフト）	（修正）
日立	A	■（停止）	■（停止）
	B	■（停止）	（シフト）
フナイ	A	（ここから/ここまで）	（シフト）
松下	A	◀◀（巻戻し）	（シフト）
	B	◀◀（巻戻し）	（ここから/ここまで）
	C	◀◀（巻戻し）	◀◀（巻戻し）
	D	●II（ビデオ準備）	▶（再生）
	E	◀◀（巻戻し）	（修正）
三菱	A	■（停止）	（ここから/ここまで）
	B	■（停止）	（修正）

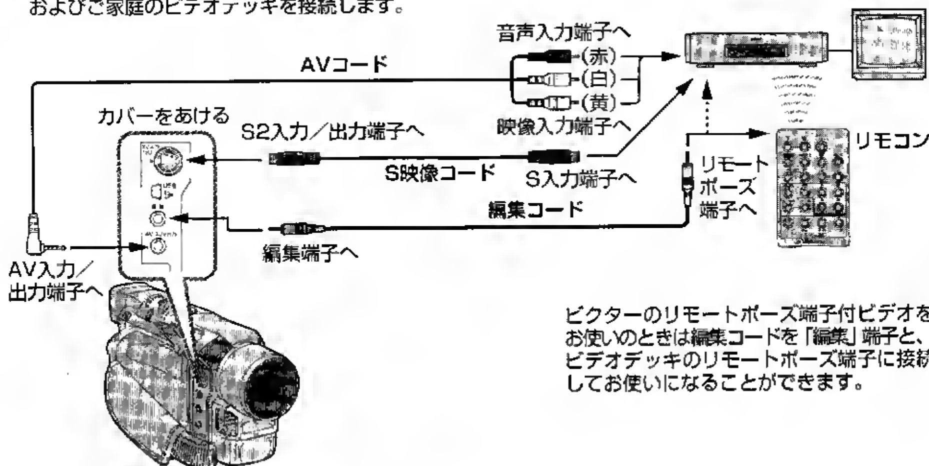


●乾電池の容量がなくなったときは
設定したビデオデッキのメーカー設定も消えてしまいます。乾電池を交換してメーカー設定をやり直してください。

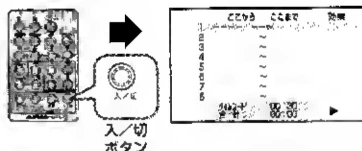
●リモコンでビデオデッキを操作できないときは
機種によってはリモコンでのビデオデッキのメーカー設定ができないものや、特定のボタンだけ操作できないものもあります。ご了承ください。

編集

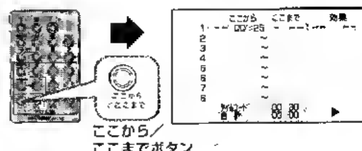
好きな場面を選んでダビングする



1 リモコンをビデオカメラのリモコン受光部に向けてビデオカメラを再生し
自動編集の「入/切」ボタンを押す
- 液晶画面に自動編集表示画面が表示されます。



2 編集を開始したい場面で
リモコンの「ここから/ここまで」ボタンを押す
- ビデオカメラの液晶画面やテレビに編集開始場面のタイムコードが表示されます。

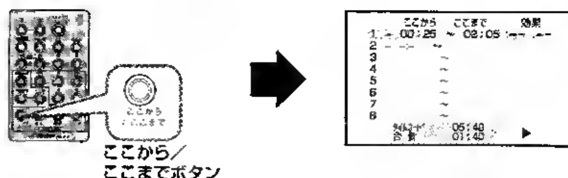




- 場面の撮り始めに変化を付けたいときは（☞90ページ）
  リモコンの場面切替ボタンを押します。ボタンを押すたびにカウンターの左側に表示される場面切替アイコンが変わります。利用したい場面切替アイコンが表示されるまでボタンを押してください。ただし、自動編集する最初の場面では映像が記録されていないため、「最後の映像によるコーナーワイプ」などを使用することはできません。
  場面切替が設定されていないときは「－－」が表示されます。

❸ 編集を終了したい場面で リモコンの「ここから／ここまで」ボタンを押す

●ビデオカメラの液晶画面やテレビに編集終了場面のタイムコードが表示されます。

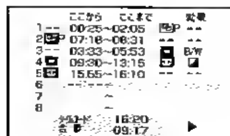




●**場面の録り終わりに変化を付けたいときは**（☞90ページ）
リモコンの場面切替ボタンを押します。ボタンを押すたびにカウンターの右側に表示される場面切替アイコンが変わります。利用したい場面切替アイコンが表示されるまでボタンをくり返し押してください。ただし、自動編集する最後の場面では「最後の映像によるコーナーワイプ」などを使用することはできません。録り終わりの場面切替効果を決めると、次の編集開始映像が自動的に録り終わりの場面切替効果で始まります。また、場面の録り終わりで場面切替効果を使用すると、編集終了時点からフェードアウトやワイプアウトを行うため、その時間がビデオの編集時間に加算されます。ただし、デジタルダビングでは変化を付けることはできません。場面切替が設定されていないときは「－－」が表示されます。

●**映像そのものに変化を付けたいときは**（☞93ページ）
リモコンの演出効果ボタンを押します。ボタンを押すたびに「効果」の下に表示される演出効果アイコンが変わります。ただし、デジタルダビングでは変化を付けることはできません。演出効果が設定されていないときは「－－」が表示されます。

❹ 手順❷、❸を繰り返して自動編集したい場面を登録する

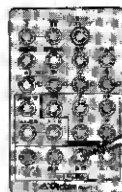


編集

5 最初に登録した場面 1 の編集開始点の前までビデオカメラのテープを巻き戻し、ビデオカメラを再生一時停止する

6 ビデオデッキのリモコン受光部に向けて リモコンのビデオ準備ボタン（●II）を押す

- ビデオデッキが録画一時停止になります。一時停止にならないときは、手動でビデオデッキを操作して録画一時停止にしてください。



7 ビデオカメラの撮影ボタンを押す

- 自動編集が始まり、指定した場面を最後まで自動的にダビングします。ダビングが終了するとビデオカメラが一時停止し、ビデオデッキは録画一時停止状態になります。



リモコンの「スタート／ストップ」ボタンでは始まりません。

8 ビデオカメラとビデオデッキを停止させ、編集を終了する



- **画面に表示されるメッセージを消して自動編集してください**
  テレビの画面に表示されるメッセージは、自動編集でもそのまま記録されます。メッセージを消してから自動編集してください。(☞62、64、132ページ)
  (自動編集表示は自動編集をスタートすると消え、ビデオには記録されません)。
- **各場面のタイムコードとタイムコードの合計時間は**
  編集開始場面と終了場面のタイムコードには1秒以下の数値（フレーム）が表示されないため、各場面のタイムコードの時間と合計時間が合わないことがあります。
- **自動編集の登録場面を修正したいときは**
  リモコンの「修正ボタン」を押します。ボタンを押すたびに最後から登録場面が消去されます。



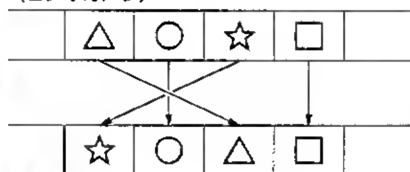
- **ダビング中のリモコンの位置は**
  ビデオデッキのリモコン受光部に向けてください。障害物があるとうまくダビングできません。
- **こんなときは自動編集できません**
  - ・同じタイムコード（☞65ページ）が2つ以上存在するテープでタイムコードを指定しても、どのタイムコードかわからないため誤動作することがあります。
  - ・編集終了場面のタイムコードの値が編集開始場面の値より小さいときは自動編集できません。
  - ・編集終了場面と開始場面までの早送り時間がビデオデッキの一時停止可能時間（当社の場合約5分以内）を超えるときは、自動編集できません
  - ・リモコンのプログラム編集入/切ボタンを押して「切」にしたときは、自動編集に登録した内容すべてが消えてしまいます。
  - ・編集開始場面や終了場面の前後に無記録部分があるときは、ブルーバック（青い画面）を記録してしまうことがあります。
  - ・自動編集中にビデオカメラを操作すると、ビデオデッキが録画一時停止状態になり、自動編集を中止します。
- **編集終了場面を決めずにダビングしたときは**
  ビデオの最後まで自動的にダビングします。

知っておきたい自動編集のしくみ

普通に自動編集したときは

撮影済みのビデオの中から最大8つまでの場面を指定して、お好きな順番に並べ替えてダビングすることができます。普通に自動編集すると、ビデオは次のようにダビングされます。

撮影済みテープ
（ビデオカメラ）

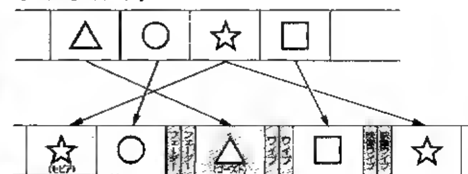


編集済みテープ
（ビデオデッキ）

場面切替や演出効果を入れて自動編集したときは

自動編集するビデオの最初と終わりに場面切替を入れたり、映像そのものに演出効果を付けてダビングすることができます。場面切替や演出効果を入れて自動編集すると、ビデオは次のようにダビングされます。

撮影済みテープ
（ビデオカメラ）



編集済みテープ
（ビデオデッキ）

編集

より正確に自動編集する（シンクロ補正）



こんなときにお使いください。

●録画タイミングの誤差を補正したいとき

ビデオデッキには録画タイミングの早いものと遅いものがあります。自動編集（☞106ページ）でビデオカメラとビデオデッキを同時にスタートさせてもそれぞれ動き出すタイミングが異なるため、余計な場面をダビングしてしまったり、必要な場面をダビングできなかったりすることがあります。そんなときはビデオカメラ側でビデオデッキの録画タイミングの誤差を補正してから再度自動編集を行ってください。

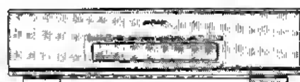
録画タイミングのズレを確認する

任意の場面を自動編集してみて、ビデオカメラのビデオ再生開始タイミングとビデオデッキの録画開始タイミングのズレを確認します。



❶ 適当な場面を1場面だけ自動編集する

- 録画タイミングのズレを確認するだけなので、自動編集の指定は1場面だけでかまいません。自動編集する場面は、録画タイミングのズレがわかりやすいように場面が切り替わっている場面を指定してください。



❷ ダビングしたテープを巻き戻し、再生する

- 指定した編集開始場面よりも前の場面が録画されているときは、ビデオカメラのビデオ再生開始場面よりも先にビデオデッキが録画を開始しています。
- 指定した編集開始場面よりも後の場面から録画されているときは、ビデオカメラのビデオ再生開始時点よりも後にビデオデッキが録画を開始しています。

このようなときは録画タイミングのズレを補正する必要があります。

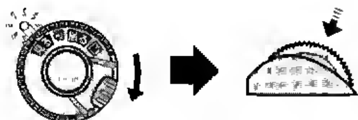


- 自動編集を行う前に
  数回自動編集のテストを行って補正値が適切であることを確認してから、最終的な自動編集を行ってください。
- 補正しても録画タイミングが合わないときは
  ビデオデッキによっては、録画タイミングのズレを補正しきれないことがあります。ご了承ください。

録画タイミングのズレを補正する

「録画タイミングのズレを確認する」(☞112ページ)でビデオカメラのビデオ再生開始タイミングとビデオデッキの録画開始タイミングのズレがあったときは、録画タイミングのズレを補正します。

❶ 電源ダイヤル「見る」で、メニューダイヤルを押す



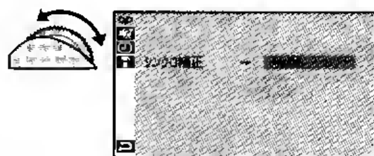
❷ メニューダイヤルを押す



❸ メニューダイヤルで「シンクロ補正」を選び、ダイヤルを押す



❹ メニューダイヤルで「シンクロ補正」の数値を設定する



－1.3～＋1.3秒まで、0.1秒単位で補正値を設定することができます。

- ビデオカメラのビデオ再生開始場面よりも先にビデオデッキが録画を開始しているときは、マイナス（－）の値を設定します。
- ビデオカメラのビデオ再生開始場面よりも後にビデオデッキが録画を開始しているときは、プラス（＋）の値を設定します。

❺ メニューダイヤルを押す



❻ メニューダイヤルを2回押す

- メニューを終了し、通常の画面に戻ります。



編集

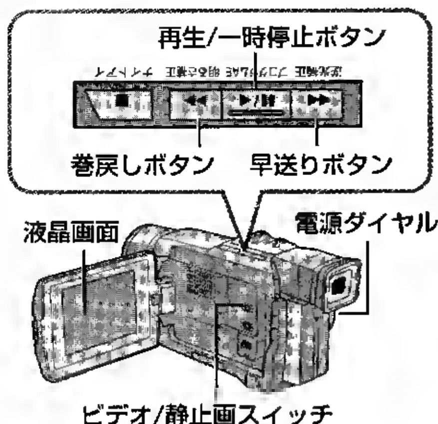
テープからメモリーカードへコピーする

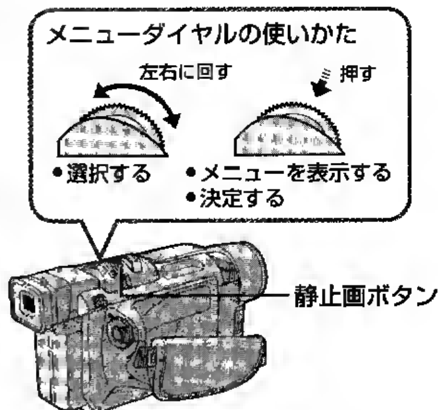


こんなときにお使いください。

●テープに撮った映像を静止画としてパソコンへ取り込みたいとき

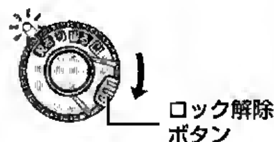
操作はココ！



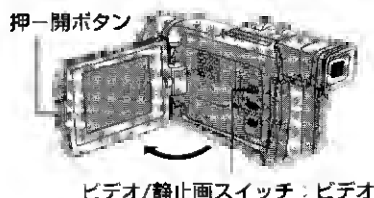


❶ ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「見る」に合わせる

●電源ランプが点灯し、電源が入ります。

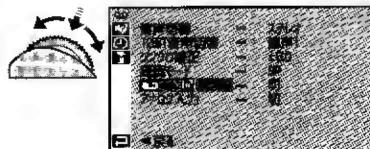


❷「押－開」ボタンを押して液晶画面を開き、ビデオ／静止画スイッチを「ビデオ」に合わせる

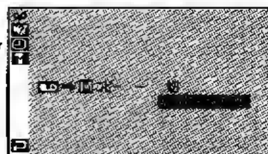


❸ メニューダイヤルを２回押す

❹ メニューダイヤルで「 ➡ M コピー」を選び、ダイヤルを押す

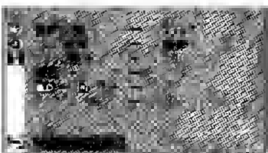


❺ メニューダイヤルで「入」を選び、ダイヤルを押す

❻ メニューダイヤルを２回押す

- 再生画面に戻ります。

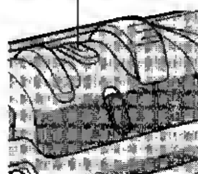
❼ 再生／一時停止ボタン、早送りボタン、巻戻しボタンでコピーしたい画像を探す



❽ コピーする画像が見つかったら再生／一時停止ボタンを押して再生一時停止にする

❾ コピーするときの静止画モードを選ぶ

- 静止画モードについて（☞53、71ページ）



❿ 静止画ボタンを押す

- 選んだ画像がメモリーカードにコピーされます。
- コピー中は「➡」表示が点滅します。

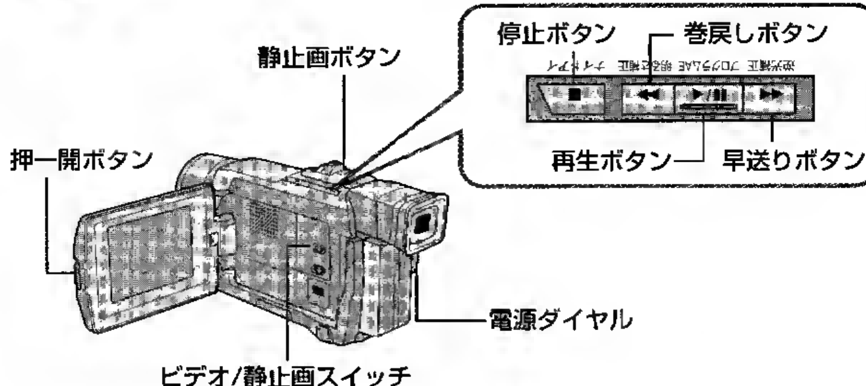




- 「メモリーカードへ記録できません」と表示されたときは（☞29ページ）

編集

メモリーカードからテープへコピーする

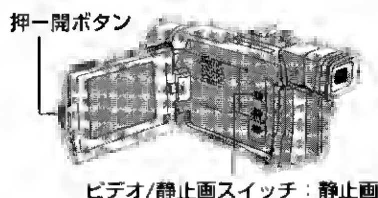


❶ ロック解除ボタンを押しながら電源ダイヤルを「見る」に合わせる

●電源ランプが点灯し、電源が入ります。

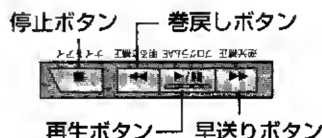


❷「押－開」ボタンを押して液晶画面を開き、ビデオ／静止画スイッチを「静止画」に合わせる



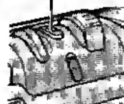
❸ コピーしたい静止画を探す

インデックス画面で探すには(☞74ページ)



❹ 静止画ボタンを押す

- 「静止画ボタンを押すとテープに記録します」と表示されます。









❺ 5秒以内に 静止画ボタンを押す

- 選んだ静止画がテープに約5秒間コピーされます。
- コピーが終了すると「録画」が消えます。



- 「テープへ記録できません」と表示されたときは（☞29ページ）

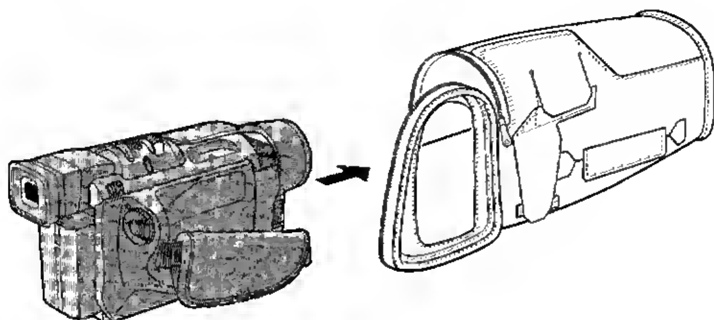
コラム こんなときどうするの？Q&A

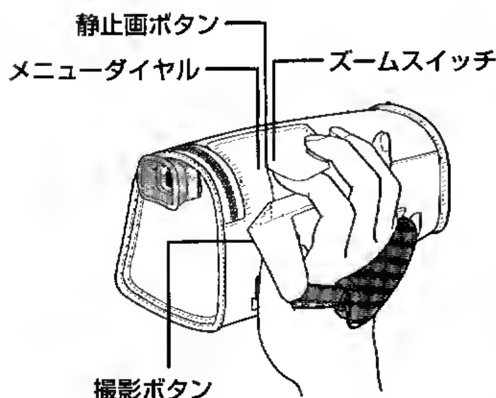
Q

夏は海辺で、冬はスキー場でビデオカメラを使いたいのですが、塩水や雪はビデオカメラによくないと聞きます。どうしたらいいですか？

A

小雨や小雪からビデオカメラを守る別売の「スノー&レインジャケット」があります。下図のようにジャケットを取り付けたまま、撮影することができます。





ご注意

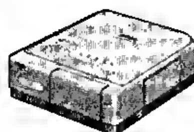
- スノー&レインジャケットは防水型ではありません。雨や雪の中での長時間の撮影は避けてください。
- スノー&レインジャケットの取扱説明書をよくお読みください。

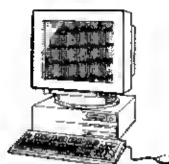
パソコン
&
プリンター

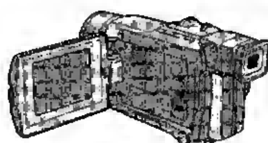
パソコンなどに静止画を取り込んで楽しもう！

楽しみかた

パソコンやプリンターにつないで
静止画をメールで送ったりプリントして楽しもう！







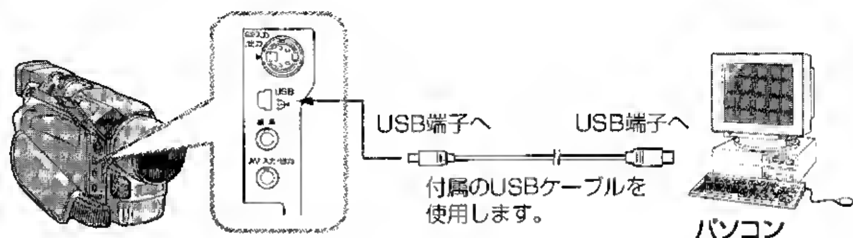
パソコンにつなぐ

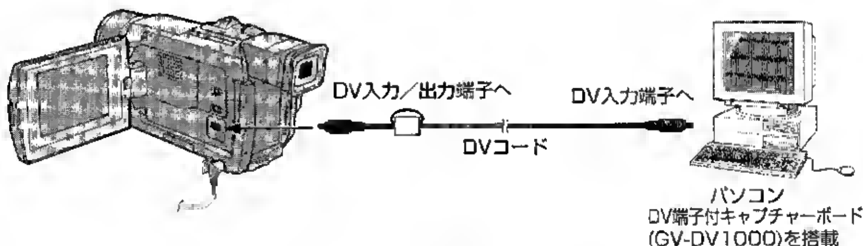


こんなときにお使いください。

●静止画を取り込みたいとき

本機に付属のパソコン接続キット(CD-ROM、USBケーブル)を使用するとメモリーカードに記録した静止画像をパソコンに取り込むことができます。またDVコードを使ってDV端子付キャプチャーボード(GV-DV1000：別売)を搭載したパソコンには、テープに記録した映像を静止画として取り込むことができます。







●USB通信中と表示されている間は、USBケーブルを抜かないでください
●本機の電源には、ACアダプターをお使いになることをおすすめします。



●日時情報などは、パソコンに取り込むことができません。
●パソコン、DV端子付キャプチャーボード(GV-DV1000)、パソコン接続キットの取扱説明書もご覧ください。
●GV-DV1000を使用するときは、GV-DV1000に付属のDVコードをご使用ください。

PCカードアダプターまたはフロッピーディスクアダプターを使う

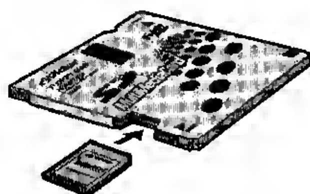


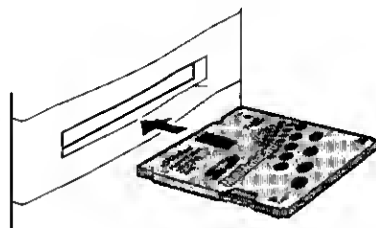
こんなときにお使いください。

●メモリーカードの静止画をパソコンに取り込みたいとき

別売のアダプター使うと、メモリーカードに記録した静止画を簡単にパソコンに取り込めます。

フロッピーディスクアダプター（CU-V40）：マルチメディアカード対応
フロッピーディスクアダプター（CU-V41）：マルチメディアカード／SDメモリーカード対応
PCカードアダプター（CU-V50）：マルチメディアカード対応
PCカードアダプター（CU-V51）：マルチメディアカード／SDメモリーカード対応
USBリーダー／ライター（CU-V70）：マルチメディアカード／SDメモリーカード対応
ここでは、フロッピーディスクアダプターを使ってパソコンに取り込む方法を説明します。





❶ メモリーカードをフロッピーディスクアダプターに差し込む

❷ パソコンのフロッピーディスクドライブに差し込む

❸ パソコンで、メモリーカードからハードディスクに静止画をコピーする

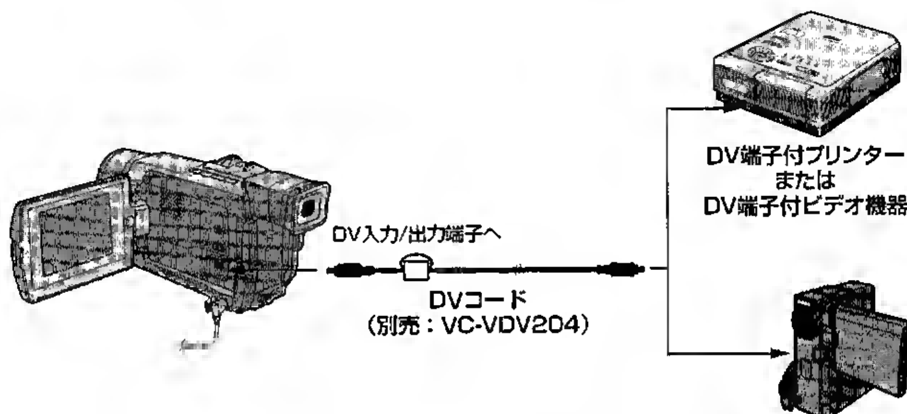
- パソコンの操作については、パソコンに付属されている取扱説明書をご覧ください。
- フロッピーディスクアダプター、PCカードアダプター、USBリーダー／ライターの取り扱いについては、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

DV端子付ビデオ機器につなぐ



こんなときにお使いください。　●撮影した静止画をプリントしたいとき

別売のプリンターGV-DT3を使用するとデジタル情報をそのままプリンターに送ることができるため、明瞭な画質でプリントできます。また、DV 端子付ビデオ機器に接続すると画質や音量の劣化がほとんどなく、デジタルダビングすることができます。(☞100、101ページ)





●電源を切った状態で接続してください
電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因になります。
●本機の電源には、ACアダプターをお使いになることをおすすめします。



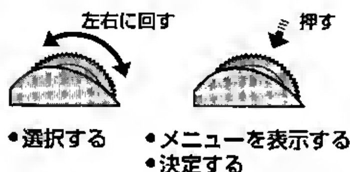
●デジタルダビングするときは本機と接続できるのは、1 台だけです。
●接続する機器（DV端子付ビデオ機器、デジタルプリンター）などの取扱説明書もご覧ください。

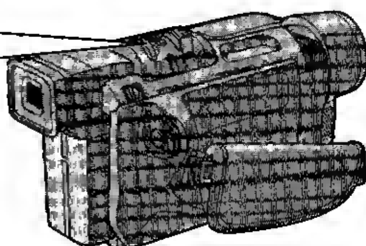
メニュー設定

メニューの設定を変更しよう

使いかた

メニューダイヤルの使いかた

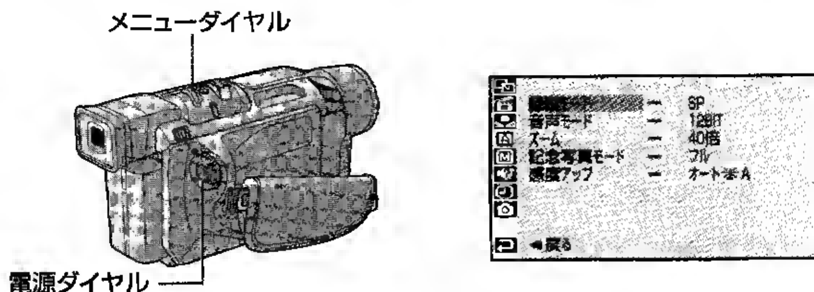




フルオート設定メニューについて

電源ダイヤルで [M] を選択しているときにメニューダイヤルを押して、ビデオカメラの撮影設定を変更する方法を説明します。

設定内容は、電源ダイヤルが「撮る」および「[M]」の両方で働きます。



項　目	設定内容	機　能	参　照
録画モード テープの撮影時間が1.5倍になる	SP	アフレコ編集、インサート編集を可能にする	☞102 ☞104 ☞38
	LP	撮影時間をSPモードの1.5倍にする	
音声モード アフレコ可能なモードで録音する	12BIT	アフレコ編集を可能にする	☞102
	16BIT	高音質で録音する	
ズーム ズーム倍率の上限を設定する	10倍	光学ズーム（画質が劣化しない）	☞50
	40倍	デジタルズーム	
	100倍	デジタルズーム	
記念写真モード 静止画の演出方法を設定する	ピンナップ	白フチと影をつける	☞51 ☞71
	フレーム	白フチをつける	
	フル	全面に静止画を表示する	
	4マルチ	連写画像を4分割で表示する	
	9マルチ	連写画像を9分割で表示する	
感度アップ 撮影の感度を設定する	切	自然のままの明るさにする	☞125
	AGC	電気的に感度を上げる	
	オート ☀ A	シャッタースピードの調整で感度を上げる	

- お買い上げ時の設定値は、░░ で表示してあります。
- 「録画モード」、「音声モード」はテープに撮影するときのみ有効です。

補足説明

録画モード

・本機の「LP」モードで撮影したテープは本機で再生することをおすすめします。他のデジタルビデオではうまく再生できない場合があります。
・ビデオ再生モード設定メニューにある「録画モード」でも「SP」、「LP」の設定を切り替えることができます。

音声モード

・アフレコ編集をするには、あらかじめ「12BIT」に設定して撮影してください。一方、「16BIT」に設定すると、より高音質で録音できます。
・どちらのモードでも、ステレオで録音されます。

ズーム

・10倍まではレンズの機能で映像をズームしますが、10倍以上は映像をデジタル処理してズームするため、映像品質が少し劣化します。

感度アップ

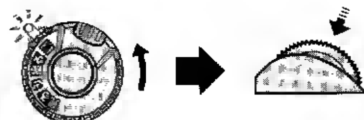
・「AGC」で撮影した画面は、デジタル映像を処理して実際よりも明るい映像を記録します。ただし、映像がザラザラした感じになります。
・「オート」で撮影した画面は、自動的にシャッタースピードを調整して、実際よりも明るい映像を記録します。ただし、被写体の動きは多少不自然になります。

フルオート設定メニューの設定方法

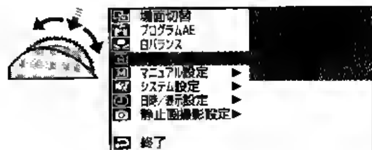
例)「記念写真モード」を「フレーム」に変更する

❶ 電源ダイヤルを「M」に合わせ、メニューダイヤルを押す

● メニューが表示されます。



❷ メニューダイヤルで「A フルオート設定」を選び、ダイヤルを押す



❸ メニューダイヤルで「記念写真モード」を選び、 ダイヤルを押す

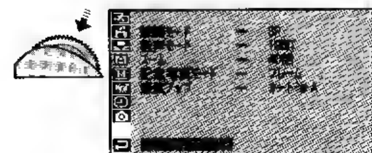


❹ メニューダイヤルで「フレーム」を選び、ダイヤルを押す



❺ メニューダイヤルを２回押す

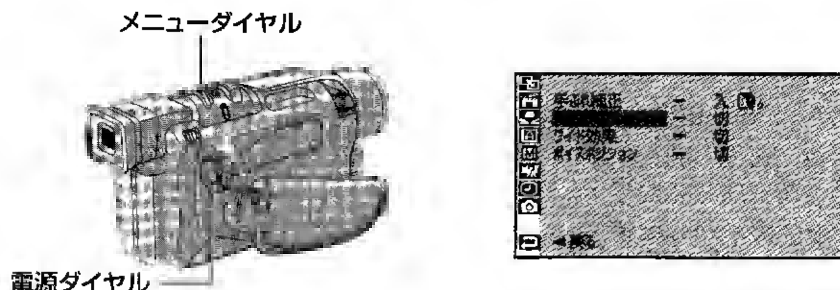
● 撮影画面に戻ります。



マニュアル設定メニューについて

電源ダイヤルで M を選択しているときにメニューダイヤルを押して、ビデオカメラの撮影設定を変更する方法を説明します。

設定内容は、電源ダイヤルが「M」のときのみ働きます。



項　目	設定内容	機　能	参　照
手ぶれ補正 手ぶれ補正をやめる	切	—	☞128
	入	手ぶれで映像が振れない	
テレマクロ 接写を設定する	切	T側（望遠側）で1mまで接近可能	☞50
	入	T側（望遠側）で60cmまで接近可能	
ワイド効果 ワイドテレビに合わせた画面にする	切	—	☞128
	シネマ	映画風に上下に黒い帯が入る	
	ワイド	ワイドテレビと同じ横長の画面になる	
ボイスポジション 録音される雑音を軽減する	切	自然な音声を録音する	—
	入	風による雑音を軽減して録音する	

• お買い上げ時の設定値は、▒▒ で表示してあります。
• 電源ダイヤルが「撮る」のときは ▒▒ の設定で動作します。
• 「ワイド効果」、「ボイスポジション」はテープに撮影するときのみ有効です。

メニュー設定

次ページへつづく

マニュアル設定メニューについて

補足説明

手ぶれ補正

- デジタル処理するため、多少映像品質が劣化します。
- 「フルオート」モードの手ぶれ補正は
  「手ぶれ補正」を「切」に設定していても、自動的に「入」になります。
- 三脚などでビデオカメラを固定して撮影するときは
  「手ぶれ補正」を「切」にしてください。「入」のままだと被写体の動きに合わせて必要のない補正を行い、不自然な映像になることがあります。
- 手ぶれが大きいときやコントラスト（明暗差）のほとんどない被写体を撮るときは
  補正できないことがあります。
- 映像をデジタル処理する機能と同時に使えないものがあります。
- 手ぶれ補正が働かないときは
  「(手ぶれ補正マーク)」表示が点滅、または表示が消えます。

ワイド効果

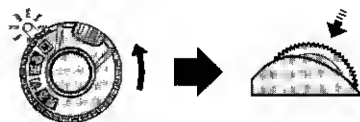
- 普通のテレビ（画面比率 4:3）やファインダー、液晶画面で見るときは
  ワイド映像は、撮影時、再生時ともに縦長の映像が映ります。シネマ映像は、撮影時、再生時ともに上下に黒い帯が入った映像が映ります。
- ワイドテレビで再生するときは
  ワイドで撮った映像には、ワイド用の識別信号が記録されています。本機のS2入力／出力端子をS映像コードでワイドテレビに接続してください。テレビのS2端子に接続すれば、ワイド、シネマをテレビが自動判別します。S1 端子に接続すると、ワイドを自動判別します。テレビ側にS2またはS1 端子がないときは、S端子に接続してください。自動判別はできません（詳細はお使いのワイドテレビの取扱説明書を参照してください）。
- ビデオデッキでダビングしたワイド映像を再生するときは
  ワイド映像になるようにテレビ側でモードを切り替えてください（詳細はお使いのワイドテレビの取扱説明書を参照してください）。
- ワイド映像とシネマ映像を混在させて撮ったときは
  早送り再生中、巻戻し再生中は、ワイド映像とシネマ映像を判別できません。

マニュアル設定メニューの設定方法

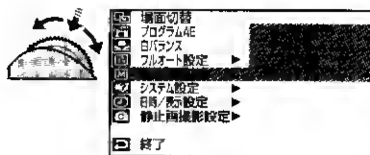
例)「テレマクロ」を「入」に変更する

❶ 電源ダイヤルを「M」に合わせ、メニューダイヤルを押す

●メニューが表示されます。



❷ メニューダイヤルで「M マニュアル設定」を選び、ダイヤルを押す



❸ メニューダイヤルで「テレマクロ」を選び、ダイヤルを押す

●「切」と「入」が表示されます。



❹ メニューダイヤルで「入」を選び、ダイヤルを押す



❺ メニューダイヤルを２回押す

●撮影画面に戻ります。

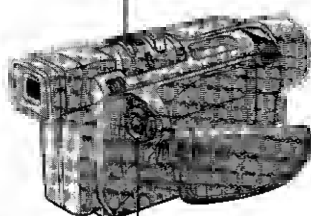


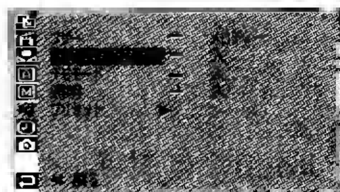
メニュー設定

システム設定メニューについて

電源ダイヤルで Ⓜ を選択しているときにメニューダイヤルを押して、ビデオカメラの撮影設定を変更する方法を説明します。

設定内容は、電源ダイヤルが「撮る」および「Ⓜ」の両方で働きます。





項　目	設定内容	機　能	参　照
ブザー 操作音を消す	切	操作音を消す	—
	ブザー	一部の操作のみ音を出す	
	メロディ	操作するごとにメロディー音を出す	
タリー 撮影中ランプを消す	切	ランプを消す	—
	入	撮影中にランプが点灯する	
デモモード 演出効果などを デモンストレーションで確認する	切	デモンストレーション表示をやめる	☞13
	入	カセットが入っていないときにデモンストレーションを表示する	
照明 撮影照明のライトを消す	切	ライトを消す	—
	入	ライトを点灯する	
プリセット メニューの設定をすべて最初に戻す	キャンセル	メニューの設定をすべて最初に戻す	—
	実行		

• お買い上げ時の設定値は、▒▒▒ で表示してあります。

補足説明

タリー

・「入」のとき、撮影中は撮影中ランプが点灯します。
・「切」のとき、撮影中でも撮影中ランプは点灯しません。

デモモード

・カセットテープを入れずに電源を入れ、「デモモード」を「入」にすると、画面にビデオカメラの機能デモを表示します。(☞13ページ)

照明

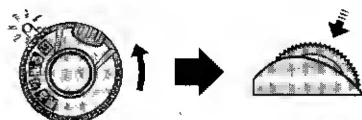
・撮影照明 (☞22ページ) のライトを入/切します。

システム設定メニューの設定方法

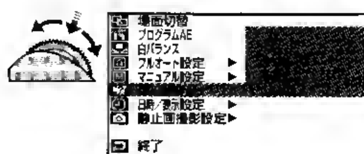
例）「タリー」を「切」に変更する

❶ 電源ダイヤルを「Ⓜ」に合わせ、メニューダイヤルを押す

●メニューが表示されます。



❷ メニューダイヤルで「 システム設定」を選び、ダイヤルを押す



❸ メニューダイヤルで「タリー」を選び、ダイヤルを押す

●「切」と「入」が表示されます。



❹ メニューダイヤルで「切」を選び、ダイヤルを押す



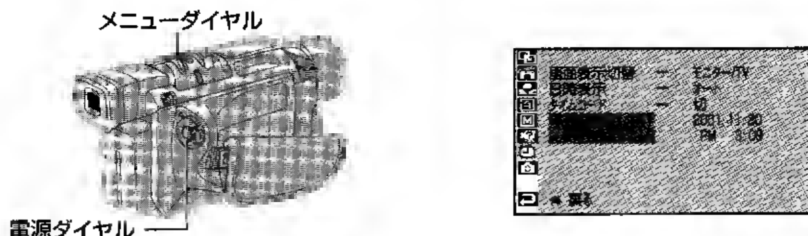
❺ メニューダイヤルを２回押す

●撮影画面に戻ります。



日時／表示設定メニューについて

電源ダイヤルでⓂまたは **見る** を選択しているときにメニューダイヤルを押して、ビデオカメラの画面に表示されるメッセージの表示方法や日時を変更する方法を説明します。



項　目	設定内容	機　能	参照
画面表示切替	モニター	TVやビデオデッキに、画面の表示を出力しない	－
	モニター/TV	TVやビデオデッキに、画面と常に同じ表示を出力する	
日時表示	切	表示しない	☞62
	オート	電源を入れたときや再生を始めたときなどに5秒間のみ表示する	
	入	常に表示する	
タイムコード	切	表示しない	☞64
	入	表示する	
年月日時計合わせ	年月日、時刻	日時を設定する（「Ⓜ」に設定したときのみ設定可能）	☞133

• お買い上げ時の設定値は、▒▒▒で表示してあります。

補足説明

画面表示切替
- ダビングや編集をおこなう時に画面の文字などの余分な表示を消すために設定します。

日時表示
- 日時表示を入／切するときに設定します。（☞62ページ）
- 日時表示を表示すると記録した日時がわかるので便利です。
- メモリーカードの静止画再生時は、日付のみ表示されます。（☞27ページ）

タイムコード
- タイムコード表示を入／切するときに設定します。（☞64ページ）

年月日時計合わせ
- ご購入時は、日時が設定されています。海外旅行、時刻がずれたときなどに設定しなおします。（☞133ページ）

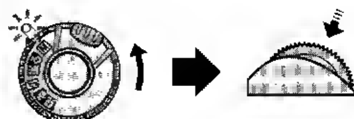

●「日時を設定してください！」が表示されたときは、時計用電池（内蔵）がなくなっています。電池交換は最寄りの「ビクターサービス窓口」にご相談ください。（☞158～159ページ）


●「画面表示切替」、「日時表示」、および「タイムコード」の設定は電源ダイヤルを「撮る」にしたときも働きます。

●「画面表示切替」の設定はリモコンの「画面表示」ボタンでも切り替えることができます。

日時／表示設定メニューの設定方法

例）年月日と時計を合わせる



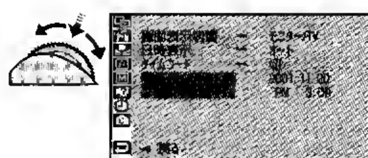
❶ 電源ダイヤルを「M」に合わせ、メニューダイヤルを押す

●メニューが表示されます。



❷ メニューダイヤルで「日時／表示設定」を選び、ダイヤルを押す

●電源ダイヤルが「見る」のときは、「年月日時計合わせ」が表示されません。



❸ メニューダイヤルで「年月日時計合わせ」を選び、ダイヤルを押す

●年が変更できるようになります。

❹ メニューダイヤルを回して正しい年に合わせる

●数値を大きくする→「＋」側
●数値を小さくする→「－」側



❺ メニューダイヤルを押す

●月が変更できます。



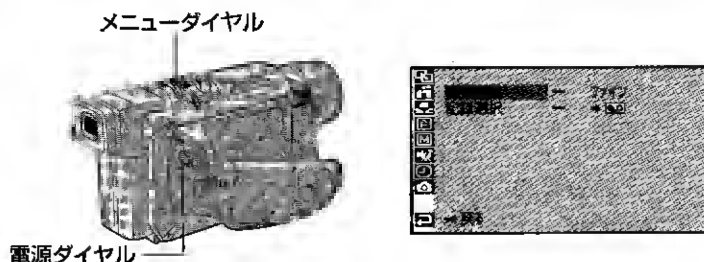
❻ 同様に❹～❺を繰り返して月日と時刻を合わせてメニューダイヤルを押す

❼ メニューダイヤルで「戻る」を選び、ダイヤルを２回押す

●通常画面に戻ります。

静止画撮影設定メニューについて

電源ダイヤルでMを選択しているときにメニューダイヤルを押して、静止画の撮影設定を変更する方法を説明します。



項　目	設定内容	機　能	参照
画質設定	ファイン	高画質で撮影する	☞40
	スタンダード	標準画質で撮影する	
記録選択	➔[テープ] (テープ)	静止画(記念写真)撮影時、テープのみに記録する	☞52
	➔[テープ] / ➔[M] (テープ/メモリーカード)	静止画(記念写真)撮影時、テープとメモリーカードの両方に記録する	

• お買い上げ時の設定値は、網掛けで表示してあります。

補足説明

画質設定

・モードによって撮影可能枚数が異なります。おおよその撮影可能枚数が画面右上に表示されます。(☞25ページ)

メモリカード	画質モード	
	ファイン	スタンダード
8MB(別売)	約100枚	約200枚
16MB(別売)	約200枚	約400枚
32MB(市販)	約400枚	約800枚
64MB(市販)	約800枚	約1600枚

・使用するメモリーカードや撮影した被写体の画像内容などによって、撮影可能枚数は変化します。

記録選択

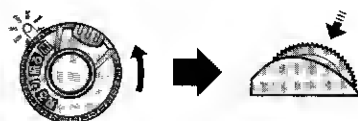
・ビデオ/静止画スイッチが「ビデオ」で静止画(記念写真)を撮影するとき、静止画をメモリーカードにも記録するかどうかを選択します。「➔[テープ]/➔[M]」を選択すると連写はできません。
(☞53ページ)

静止画撮影設定メニューの設定方法

例）「記録選択」を「➡📼／➡M」に変更する

❶ 電源ダイヤルを「M」に合わせ、メニューダイヤルを押す

● メニューが表示されます。

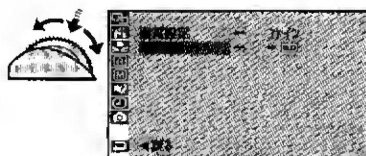


❷ メニューダイヤルで「📷 静止画撮影設定」を選び、ダイヤルを押す



❸ メニューダイヤルで「記録選択」を選び、ダイヤルを押す

●「➡📼」と「➡📼／➡M」が表示されます。

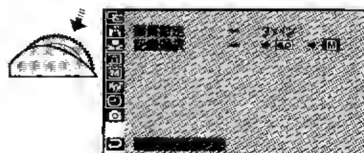


❹ メニューダイヤルで「➡📼/➡M」を選び、ダイヤルを押す



❺ メニューダイヤルを２回押す

● 撮影画面に戻ります。



メニュー設定

MEMO

他

故障かな？と思ったら 安全上のご注意など

⚠危険

⚠警告

⚠注意



故障かな?と思ったら

このビデオカメラはマイコンを使用しています。
雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。そんなときはビデオカメラから電源（バッテリー、ACアダプターなど）をはずし、あらためてご使用ください。それでも不具合があり、以下の処置をしても改善されない場合は、お買い上げ販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

	こんなとき	ご確認ください	参照ページ
電源	電源が入らない	● 電源は正しく接続されていますか？ ● バッテリーは充電されていますか？	35 34
撮影中	撮影できない	● テープの誤消去防止用つまみが「SAVE」側になっていませんか？ ●「テープおわり」になってませんか？ ● 電源ダイヤルが 見る になっていませんか？ ● カセットカバーが開いていませんか？	153 28 24 36
	映像が出ない	● 電源をもう一度入れ直してみてください 。	—
	メニューダイヤルの機能が使えない	● 電源ダイヤルを M にしてください。	—
	自動でピントが合わない	● 電源ダイヤルを 撮る にしてください。 M のまま撮影するときは「フォーカス」ボタンを押してマニュアルフォーカスを解除してください。 ● 暗いところや明暗差のないものを撮影していませんか？ ● レンズにゴミや水滴などが付いていませんか？	86 86 155
	撮影中、液晶画面に日時が出ない	●「日時表示」を「切」にしていませんか？	62、132
	撮影したビデオの縦に明るい線が出る	● 強い光の当たる被写体を撮影しませんでしたか？ 被写体に強い光が当たると、コントラストの違いで線が出ることがあります。故障ではありません。	—
	太陽光が映ると、画面が一瞬赤くなったり、黒くなったりする	● 故障ではありません。	—
	ビデオライトが点灯しない	● 十分な明るさがある場合は、「オート」では点灯しません。「入」に切り替えてください。	51
	ビデオライトがついたり消えたりする	● ビデオライトスイッチが「オート」になっていると周囲の明るさによってはついたり消えたりします。「入」または「切」のどちらかにセットしてください。	51

	こんなとき	ご確認ください	参照ページ
撮影中	記念写真で撮影した画像の色がおかしい	●照明の色や被写体に白い部分がない場合または被写体の背後にいろいろな光源がある場合に色がおかしくなるときがあります。	—
	デジタルズームできない	●「ズーム」が「10倍」に設定されているときは10倍ズームまでしかできません。 ●「プログラムAE」で「ゴースト」を選択しているときは、ズームは10倍ズームまでしか使えません。 ●「場面切替」で最後の映像ワイプ効果や「オーバーラップ」を選択しているときはデジタルズームは使えません。	124 93 91
	手振れ補正が働かない	●手振れ補正が「切」になっていませんか？ 「入」にしてください。	127
	「プログラムAE」や「場面切替」機能が使えない	●電源ダイヤルをⓂにしてください。	24
	「場面切替」の最後の映像（静止画）での切替が使えない	●最後の場面を記憶している状態になっていますか？ ●最後の場面を撮影した状態で、電源ダイヤルを「切」にしませんでしたか？ ●電源が切れていませんか（撮影一時停止を5分以上続けると、自動的に電源が切れます）？	92 92 92
	「場面切替」の「オーバーラップ」が使えない	●最後の場面を記憶した状態で「プログラムAE」を設定、変更しませんでしたか？ ●「プログラムAE」の「セピア」や「ブラック/ホワイト」、「高感度」を選択していませんか？ ●「ワイド効果」で「ワイド」を選択していませんか？　選択しているときは使えません。	93 93 127
	「場面切替」の最後の映像（静止画）でのワイプ効果が使えない	●「プログラムAE」の「高感度」を選択していませんか？ ●「ワイド効果」で「ワイド」や「シネマ」を選択していませんか？	93 127
	「場面切替」の「フェーダー：白黒」が使えない	●「プログラムAE」の「セピア」や「ブラック/ホワイト」を選択していませんか？	93
	「プログラムAE」の「ゴースト」が使えない	●「ワイド効果」で「ワイド」を選択していませんか？ ●「場面切替」の最後の映像（静止画）でのワイプ効果や「オーバーラップ」で撮影していませんか？ ●「場面切替」のフェーダー効果を使ってフェードイン、フェードアウトしていませんか？	127 91 91

故障かな?と思ったら

	こんなとき	ご確認ください	参照ページ
撮影中	「プログラムAE」の「映画効果」や「ストロボ」を選択してもコマ落とし効果が使えない	● 「場面切替」の最後の映像(静止画)でのワイプ効果や「オーバーラップ」で撮影していませんか?	91
	「白バランス」が設定できない	● 「プログラムAE」の「セピア」や「ブラック/ホワイト」を選択していませんか?	93
	液晶画面の映像が暗い、または白くなる	● 液晶画面の角度や明るさを調節してください。 ● 寒い場所で再生していませんか? 寒い場所では、多少液晶画面が暗く見えます。故障ではありません。 ● 液晶画面の寿命が短くなっている可能性があります。お買い上げの販売店、またはお近くのビクターサービス窓口にご相談ください。	42 — —
	液晶画面の裏側が熱くなる	● 液晶画面を長時間使用していませんか? 長時間使用すると、液晶画面裏の蛍光管が温かくなります。液晶画面を切るか電源を切ってしばらく放置しておくと元に戻ります。	—
	液晶画面に表示ムラが出る	● 液晶画面やそのまわりを押しませんでしたか? 液晶画面を圧迫すると映像ムラが生じます。手を離してしばらく放置しておくと元に戻ります。	—
	液晶画面のアイコン表示が点滅する	● 「場面切替」「プログラムAE」「手ぶれ補正」機能のうち、同時に使用できない機能を選択しているときは各機能のアイコンが点滅します。	91 93 127
	「ツユがつきました」と表示される	● メッセージが消えてから使用してください。	143
	「ヘッドが汚れています」と表示される	● 別売のデジタルビデオヘッドクリーニングカセットでヘッドを掃除してください。	142
再生中	液晶画面の映像が乱れる	● テープの無記録部分の再生、高速再生、および静止画再生中は液晶画面の映像が乱れることがあります。故障ではありません。	—
	テープの再生、巻戻し、早送りができない	● 電源ダイヤルが 撮る M になっていませんか? ● ビデオ/静止画スイッチが「静止画」になっていませんか?	24 24
	テープは回っているが再生されない	● カセットカバーが開いていませんか? ● テレビのチャンネルがビデオ用になっていますか?	36 58
	映像にモザイク状のノイズが出る	● 別売のデジタルビデオヘッドクリーニングカセットでヘッドを掃除してください。	142
	映像が映らず青い画面になる	● 別売のデジタルビデオヘッドクリーニングカセットでヘッドを掃除してください。	142
	メモリーカードの再生ができない	● ビデオ/静止画スイッチが「ビデオ」になっていませんか?	24

	こんなとき	ご確認ください	参照ページ
その他	液晶画面に「E01」など、Eの付いた数字が表示される	● 拡大故障を防ぐため、ビデオカメラが操作できなくなります。バッテリーなど電源を取り外し、数分待って表示が消えてからお使いください。2、3度くり返しても表示が消えないときはお買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。テープを傷める場合がありますので、テープを取り出さないでください。	—
	液晶画面に映像が表示されない	● 液晶画面の明るさを調節してみてください。	42
	ファインダーに映像が表示されない	● 液晶画面を閉じてみてください。	—
	テープが入らない	● テープの向きが間違っていませんか？ ● バッテリーの容量が少なくなっていませんか？	36 28
	プリンターで印刷したら画面の下に黒い線が出る	● 故障ではありません。 手振れ補正「入」で撮影すると、黒い線は出なくなります。	—
	液晶画面とファインダーに黒、赤、青、緑の点が出る	● 故障ではありません。	152
	ファインダー内にゴミが入っている	● 市販のレンズブロワーでごみを取ってください。	155
	DVコードで接続しているとき、操作ができない	● 電源が入った状態でDVコードを抜き差ししませんでしたか？ 一度電源を切り、接続をやり直してから操作してください。	—
	メモリーカードが入らない	● メモリーカードの向きを確かめてください。	37
	メモリーカードが出てこない	● メモリーカードを2~3回押してみてください。	37
	メモリーカードの画像を削除できない	● プロテクトを解除してください。	76

再生中の映像にノイズが出たら

ビデオカメラを長時間使用していると、ヘッドに空気中のほこりやちりが付着します。また、傷のあるテープを使用したときにテープの磁性粉がはがれてヘッドに付着したりします。ヘッドが汚れると次のような症状が出ます。

・撮影中に「⊗ヘッドが汚れています」(☞29ページ)が表示される
・再生しても音や映像が出ない(青い画面になる)
・再生すると、映像がモザイク画(ブロック状のノイズ)になる
・再生すると、映像に黒色やモザイク画の横しまが出る

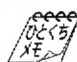


このようなときは、別売のデジタルビデオヘッドクリーナー(M-DV2CL)テープをビデオカメラで再生して、ヘッドを清掃してください。



M-DV2CLを長時間繰り返し再生すると、ヘッド摩耗の原因になりますのでご注意ください。(ビデオカメラでM-DV2CLを再生すると、20秒後に自動的に再生を停止します)

詳しくはM-DV2CLの取扱説明書をご覧ください。

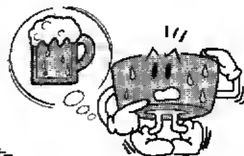


●M-DV2CLでクリーニングしても鮮明な映像が映らないときは
ヘッドが摩耗しています。または、テープに傷があります。お買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

●定期点検を行ってください
ヘッドやテープを動かす機械部品は、お使いになる間に汚れたり、摩耗したりします。ビデオカメラの性能を維持し、いつも美しい画面をご覧いただくために、およそ使用時間1000時間を目安に定期点検に出されることをおすすめします。定期点検は、お買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

「ツユがつきました」と表示されたら

よく冷えたビールをコップに注ぐと、コップのまわりに徐々に水滴が付着します。この状態を「つゆつき」と言います。ビデオカメラでつゆつきが発生すると、心臓部のヘッドドラムのまわりに水滴が付着し、テープが貼り付いてしまいます。



■ つゆつきはこんなときに起こります

- ビデオカメラを寒いところから急に暖かいところに移動したとき
- 湿気の多い場所でビデオカメラを使用しているとき
- 暖房した直後の部屋や、エアコンなどの冷風がビデオカメラに直接当たるとき

■ つゆつきが発生すると



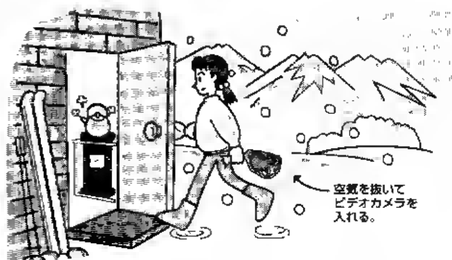
- 液晶画面に「ツユがつきました」と「しばらくお待ち下さい」が交互に表示され、ビデオカメラが停止します。カセットの出し入れはしないでください。
- 通常、つゆつきは徐々に発生するため、10～15分間はメッセージが表示されないことがあります。メッセージが表示される前でもレンズや保護ガラスに水滴が付いているときはヘッドドラムにも水滴が付着している可能性がありますので、カセットカバーを開けないでください。
- つゆつきはレンズにも発生します。レンズに水滴が付着しているときれいに撮影できませんので、つゆつきがなくなってから撮影してください。

■ つゆつき後再び使い始めるときは

- 電源を切って1時間以上待ちます。その後、電源を入れて数分待ち、メッセージが消えてからご使用ください。メッセージが消えないときは点検が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 寒冷地帯では露が凍結し、霜になることがあります。寒冷地帯ではメッセージが消えるまでに、さらに時間がかかることがあります。

■ つゆつきのトラブルを防ぐには

- 寒いところから暖かいところ、冷風の効いたところから温度、湿度の高い場所に移動したときは、ビデオカメラとテープをしばらく放置して、使用する環境になじませてからご使用ください。
- 例えばスキー場で撮影後、暖房の効いた部屋に入るときは、ビニール袋などにビデオカメラを入れて空気を抜き、密封してください。しばらくその状態で室温になじませてからご使用ください。



他

安全上のご注意

⚠警告

■持ち運ぶときには、液晶画面やファインダーを持たない

・液晶画面、またはファインダーを持って運ぶと、故障したり落として、けがの原因となります。

■不安定な場所に置かない

・ぐらついた台の上や傾いた所には置かないでください。
・落ちたり、倒れたりして、故障やけがの原因となります。

■指定の電源電圧以外で使用しない

・ぐらついた台の上や傾いた所には置かないでください。
・火災や感電の原因となります。

■ACアダプターのコードを傷つけない

・火災や感電の原因となります。
・次のようなことをすると、傷つく原因となります。ご注意ください。
加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものをのせる、
熱器具に近づける。

■内部に物を入れない

・カセットの出し入れ口などから、金属類や燃えやすいものなどを入れない でください。
・火災や感電の原因となります。
・特にお子様にご注意ください。

■内部の部品に触らない

・カセットの出し入れ口から見える部品に触らないでください。
・感電や故障の原因となります。

■機器を接続するときは、電源を切る

・電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因となります。

■分解や改造はしない

・火災や感電の原因となります。
・お客様ご自身による点検、整備、修理は危険です。絶対おやめください。
・内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

■自動車などの運転中に使用しない

・運転をしながら、撮影、再生をすることは絶対におやめください。
・交通事故の原因になります。

⚠警告

■レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けない



・レンズやファインダーを太陽に向けたまま放置しておくと、集光により内部部品が破損して発熱し、火災や故障の原因となります。

■ぬらさない





・火災や感電の原因となります。
・風呂場では使用しないでください。
・雨天、降雪中、海岸、水辺で使用するときは、ご注意ください。
・水などの入った容器（花びん、植木鉢、コップ、化粧水、薬品など）は、こぼれたりしますので、機器の近くに置かないでください。

■雷が鳴り出したら、電源プラグにはふれない



・感電の原因となります。

■電源プラグが不完全な接続状態で使用しない



・接触不良で発熱し、火災や感電の原因となります。
・最後までしっかりと接続してください。

■電源プラグにほこりや金属物を付着させない



・ほこりや金属物を伝わって電気が流れ，ショートや絶縁不良で発熱し、火災や感電の原因となります。
・ほこりや金属物が付着しているときは，電源プラグを抜き、取り除いてください。

■上に乗らない



・倒れたり、こわれたりして、けがの原因になります。特に小さなお子様がいるご家庭ではご注意ください。

他

安全上のご注意

⚠注意

■ACアダプターのコードの部分を持って抜かない



・コードの部分を持って抜くと、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
・ACアダプター本体を持って抜いてください。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



・感電の原因となることがあります。

■次のような場所には置かない



・砂浜などの砂ぼこりのある所
・湿気やほこりの多い所
・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気の当たる所
・熱器具の近くなど
・真夏の車内など高温になる所
・直射日光の強い所

火災や感電の原因となることがあります。

■上に重い物を置かない



・バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。

■カセットテープの出し入れ口に手を入れない





・手をはさまれてけがをする原因となります。
・特にお子様にご注意ください。

■本体に衝撃を与えない



・けがをするおそれがあります。また、本機が故障する原因となります。

⚠注意

■指定以外のアクセサリーを使わない



・性能や形状が異なると、火災や故障、感電の原因となることがあります。
・本機に指定されたものか確かめ、アクセサリーの取扱説明書もよくお読みください。

■照明用ライトなどを使うときはライト部に顔、素手、髪の毛などを近づけない



・高温のため、やけどや髪の毛が燃える原因となります。

■本機やアクセサリーなどを布などでおおった状態で使用しない



・熱がこもって変形したり、火災の原因となることがあります。

■コード類は正しく配置する



・ACアダプターのコードや接続用コードなどは、足にひっかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。
・十分注意して接続、配置してください。

■長期間使用しないときはバッテリーをはずす、または電源プラグを抜く



・電源が「切」でも本機に電気が流れていますので、安全のためにお守りください。

■別売の三脚を不安定な状態で使用しない



・足などの上に倒れる、けがをする原因となります。また、本機が故障する原因となります。
・足などを引っかけないようにご注意ください。強風にもご注意ください。

■移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずす



・接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
・カセットテープも取り出しておいてください。

安全上のご注意

⚠注意

■バッテリーやショルダーストラップは正しく取り付ける



・正しく取り付けられていないと、落下によりけがや故障の原因となることがあります。

■お手入れするときは、バッテリーをはずす、または電源プラグを抜く



・電源が「切」でも機器に電源が流れていますので感電の原因となることがあります。

■5年に一度は内部の点検を販売店に依頼する



・内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないで使用し続けると、火災や感電の原因となることがあります。
・湿気の多くなる梅雨期の前に点検すると、より効果的です。
・費用については、販売店にご相談ください。

■強い電波や磁気の発生する所、または雷が近いときは使用しない



・故障の原因となることがあります。
・テレビの上や近くでは使用しないでください。
・ACアダプターを使用しているときは、なるべく本機から遠ざけてご使用ください。

■飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う



・本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を与える原因となります。

ACアダプター、バッテリーや乾電池について

⚠危険

■ACアダプターを指定の電源電圧以外で使用しない
・火災や感電の原因となります。



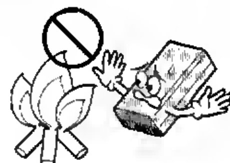
■ACアダプターは指定以外のビデオカメラには使わない
・性能や形状が異なると、火災や故障、感電の原因となることがあります。
・指定されたものか確かめ、取扱説明書もよくお読みください。



■ACアダプターを分解や改造はしない
・火災や感電の原因となります。
・お客様ご自身による点検・整備・修理は危険です。絶対におやめください。
・内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。



■バッテリーは絶対に分解、加工（はんだ付けなど）、加熱、火中投入などをしない
・液漏れ、発熱、破裂、発火し、火災やけがの原因となります。



ACアダプター、バッテリーや乾電池について

⚠危険

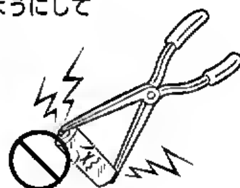
■高温の場所（60℃以上）に置かない
・発熱、破裂、発火の原因となります。



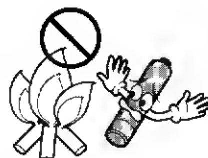
■バッテリーの端子部に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない
・ショートして発熱し、火災やけがの原因となります。
・持ち運びの際にはキャップを取りつけて、金属物と端子が接触しないようにしてください。



■乾電池の端子部（⊕と⊖）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない
・液漏れ、発熱の原因となります。
・持ち運びの際にはビニール袋などに入れ、金属物と端子が接触しないようにしてください。



■乾電池は絶対に分解、加工（はんだ付けなど）、充電、加熱、火中投入などをしない
・液漏れ、破裂などの原因となります。



ACアダプター、バッテリーや乾電池について

⚠警告

■指定以外の乾電池は使わない、また液漏れを起こしたバッテリーや乾電池を使わない



・液漏れを起こした電池はショートによる発熱で、さわるとやけどをする原因となります。
・電池を入れる前に品番をよく確かめてください。
・電池の液が漏れたときは、電池取り付け部の液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
・電池の液が身体や衣服についたときには、水でよく洗い流してください。
万一、目などに液が入った場合はきれいな水で洗った後、ただちに医師に相談してください。

■乾電池は幼児の手の届かない所に置く



・万一、誤って飲み込んだときは、ただちに医師と相談してください。

■濡れたバッテリーは使わない



・故障、感電、発熱、発火の原因となります。

⚠注意

■乾電池を入れるときは、極性表示（⊕と⊖）の向きに注意する



・機器の指示通りに乾電池を入れてください。間違えると電池の破壊、液漏れにより、火災やけが、周囲を汚す原因になることがあります。

■通電中のACアダプターや充電中のバッテリーに長時間触れない



・温度が上がり、長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

使用上のご注意

ビデオカメラについて

■ 本機は DV 方式のデジタルビデオカメラです。
従来式のビデオ、およびDV方式以外のデジタルビデオとは互換性がありません

Mini DV

■ 電源（バッテリーやACアダプター）をはずすときは、必ず電源が「切」になっていることを確認してください。
・ビデオカメラの動作中に電源を外すと、テープを傷めたり誤動作の原因になります。

■ 長時間使用しないときは電源ダイヤルを「切」にしてください。
・長時間電源を入れたままにしておくと、ビデオカメラの表面が温かくなります。長時間使用しないときは電源を「切」にしてください。

■ ビデオカメラを保管するときはカセットテープを出し、電源を切り、バッテリーをはずしてください。
・機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて動作を点検してください。

液晶画面について

■ 液晶画面の表面を強く押したり強い衝撃を与えないでください。
・傷がついたり割れたりして故障の原因となることがあります。

■ ファインダーや液晶画面に小さな光る点や黒い点が出ることがあります。
・ファインダーや液晶画面には 99.99% 以上の有効画素がありますが、0.01% 以下の小さな光る点（赤、青、緑）や黒い点が出ることがあります。（故障ではありません。）
これらはテープに記録されません。

カセットテープおよびメモリーカードについて

■ **本機はDV方式のデジタルビデオカメラです。またデジタルスチルカメラとしても使用できます。**

MiniDV マークの付いたデジタルビデオカセットテープをご使用ください。*MultiMediaCard*マークまたは SD、マークの付いたメモリーカード（マルチメディアカードまたはSDメモリーカード）をご使用ください。

■ **大切な録画を消してしまわないように注意してください。**

・保存しておきたい録画済みテープは、カセット背面にあるツマミを「SAVE」の矢印方向に引いてください（ツマミを「REC」の方向に引くと、再び録画できます）。



■ **事前に試し撮りをしてください。**

・大切な録画をするときは、事前に試し撮りを行い、正常に録画、録音されていることをご確認ください。

■ **内容の補償についてはご容赦ください。**

・万一、ビデオカメラ、カセットおよびメモリーカード等の不具合により正常に録画、録音や再生ができなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ **権利者に無断で使用できません。**

・あなたがビデオカメラで録画、録音したビデオは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

■ **撮影を制限している場所があります。**

・鑑賞や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場所がありますのでご注意ください。

■ **モザイク状のノイズが出る場合があります。**

・LPモードで録画されたテープは、他のLPモードのついたデジタルビデオで再生した場合、モザイク状のノイズが出る場合があります。また、LPモードのないデジタルビデオでは正常に再生できません。

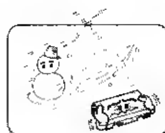
■ **カセットテープおよびメモリーカードは湿気が少なく風通しのよい、カビの発生しない場所に保存してください。**

■ **メモリーカードは精密機器です。曲げたり、落としたり、強い力、衝撃、振動を与えないでください。**

バッテリーについて

■ リチウムイオンバッテリーの特性

・リチウムイオンバッテリーは小型で高容量のバッテリーです。しかし、冬場の屋外などの低温（10℃以下）でバッテリーが冷えている場合、バッテリーの使用時間が短くなる特性があり、動作しないことがあります。このような時は、バッテリーをポケットに入れるなどして温かくし、撮影前にビデオカメラに取り付けてください。バッテリー自体が冷えていなければ、ビデオカメラの動作上問題ありません（カイロなどをご使用になっている場合は、直接カイロがバッテリーに触れないようにご注意ください）。





■ リチウムイオンバッテリーの保存

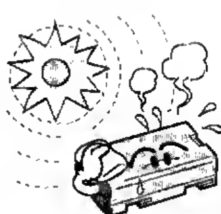
・充電された状態で長期間保存すると特性が劣化することがあります。
・しばらく使わない場合は、使い切った状態で保存してください。

<残りの容量を使い切るには>

① カセットテープを入れずに電源を入れる。

② ビデオカメラの電源が自動的に切れたらバッテリーを取り出す

・長期間保存する場合は、半年に一回程度充電した後、使い切ってから保存してください。
・使用しないときは必ずバッテリーをビデオカメラから取りはずしてください。付けたままにしておくと、電源が切れていても微少電流が流れていますので、過放電になり使用できなくなる恐れがあります。
・涼しい所で保存してください。周囲の温度が15℃～25℃くらいの乾燥した所をおすすめします。暑い所や極端に寒い所は避けてください。
・ご使用にならないときはバッテリーキャップを取り付けて保存してください。




Li-ion

美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルに協力しましょう。
ご使用済みの電池は廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

時計用電池について

・日時を記憶するために電池が内蔵されています。電池の容量がなくなると、バッテリーやACアダプターの電源をはずしたとき日時情報が失われます。電池の交換は最寄りの「ビクターサービス窓口」にご相談ください。（☞158ページ）日時の合わせ方については、☞133ページをご覧ください（日時を合わせなくても、ビデオカメラで撮影をすることはできます）。

日常のお手入れ

本体の汚れを取る

バッテリーやACアダプターをはずして電源を切ってから、次のようにお手入れしてください。
・汚れを乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
・ひどい汚れは水で薄めた中性洗剤に布を浸して固く絞ってから汚れを拭き、乾いた布で水分を拭き取ってください。

ご注意 ●ベンジンやシンナーは使用しないでください
ボディの損傷や故障の原因になります。
●化学ぞうきんや洗剤をご使用になるときはご使用になる製品の注意書きに従ってください。

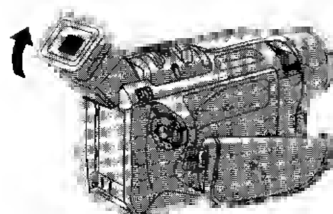
レンズや液晶画面のゴミ・汚れを取る

市販のレンズブロワーでほこりを落とし、また市販のレンズクリーニングペーパー等で汚れを落としてください。汚れたまま放置しておくと、かびなどが発生することがあります。

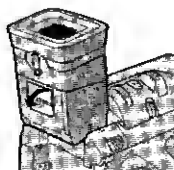
ファインダー内部のゴミを取る

ファインダーの内部にゴミなどが入ったときは、ファインダー底面のフタを開け、レンズブロワーでゴミ、汚れを取ってください。
終わったらファインダー底面のフタを確実に閉め、ファインダーをもとに戻します。

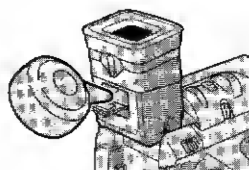
1 ファインダーを上にする



2 フタを開ける



3 レンズブロワーを使ってごみを取る



他

海外でお使いになるときは

付属のACアダプターは海外でも使用可能です。バッテリーをビデオカメラに取り付けて充電したりコンセントから直接電源を確保できます。ただし、コンセントの形状は国によって異なります。訪問国のコンセントに合った変換プラグをご用意ください。詳細は旅行代理店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

コンセントの形状と使用する変換プラグ

コンセントの形状					
使用する変換プラグ	ACパワーアダプターのプラグを直接、差し込みます。 主に北米、南米など	主にオーストラリア	主にヨーロッパ		

現地のテレビで再生する

NTSC方式の映像、音声入力端子付きテレビが必要です。NTSC方式を採用している国、および地域は以下の通りです。

- アメリカ合衆国
- プエルトリコ
- バルバドス
- キューバ
- フィリピン
- チリ
- コロンビア
- 台湾
- バミューダ
- バハマ
- カナダ
- 米領サモア
- 韓国
- コスタリカ
- メキシコ
- ニカラグア
- パナマ
- エルサルバドル
- ペルー
- グアム
- グァテマラ
- ミクロネシア
- スリナム
- ハイチ
- エクアドル
- ベネズエラ
- ミャンマー
- ボリビア
- ホンジュラス
- ドミニカ
- トリニダード・トバコ



- **再生できるテープは**
  日本と同じNTSC方式で撮影したミニDVテープが再生できます。
- **ビデオカメラが海外で故障したときは**
  - ☞158ページ「ビクターサービス窓口案内」の「海外主要都市でのビデオムービーご相談窓口」にご相談ください。日本語での対応ができない窓口もあります。海外では日本の保証書は適用されません。
  - その他の地域に関しては、日本にお持ち帰りになった後、お買い上げ販売店にご相談ください。

保証とアフターサービス

保証書（別途添付しています）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき、内容をよくお読みになってから大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、デジタルビデオカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低8年間保有しています。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口」にお問い合わせください。

修理を依頼される場合（持込修理）

138～143ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
万一本機およびデジタルビデオカセットなどの不具合により、正常に撮影や再生できなかった場合の内容の補償については、ご容赦ください。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	デジタルビデオカメラ
型　　名	GR-DVA22K
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	
お　名　前	
電話番号	（　　　）　　－

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店にて修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

愛情点検

● 長年ご使用のデジタルビデオカメラの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。



このような症状はありませんか	●再生しても映像が出ない。 ●異常な臭いや音がする。 ●水や異物が入った。 ●その他の異常な故障がある。



ご使用を中　止	故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください。

他

ビクターサービス窓口案内

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご用命ください

ご贈答品等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、機種名をご確認の上、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
北海道				
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29
	苫小牧S.S.	(0144)34-6682	053-0032	苫小牧市緑町2-7-11
	旭川S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路S.S.	(0154)24-0797	085-0036	釧路市若竹町6-13
	帯広S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函館S.S.	(0138)52-5324	040-0001	函館市五稜郭町4-16函館あおば生命ビル1F
東北				
青森	青森S.C.	(0177)23-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸S.S.	(0178)44-4521	031-0804	八戸市青葉2-21-2
	弘前S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186)43-0960	017-0874	大館市美園町5-6
	横手S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道南3-6
宮城	仙台S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-16
	酒田S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246)28-4991	970-8034	いわき市平上荒川字桜町19-4
	会津若松S.S.	(0242)38-1355	965-0831	会津若松市扇町1-44ハイツシンフォニー101号
	福島S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
関東・甲信越				
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(025)241-4003	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	新潟S.C.	(025)242-3431	950-0004	新潟市明石1-2-19
	長岡S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下下条2-1366-1
	上越S.S.	(0255)45-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(026)221-7607	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	長野S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田952-1
	松本S.S.	(0263)25-9165	390-0828	松本市庄内2-4-21
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(027)255-5982	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	前橋S.C.	(027)255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(028)635-2938	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	宇都宮S.C.	(028)638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	土浦S.C.	(0298)21-8756	300-0813	土浦市富士崎1丁目10-1
	水戸S.S.	(029)246-1560	310-0836	水戸市元吉田町1077
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(055)227-5773	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	甲府S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5
千葉				
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉S.C.	(043)246-2586	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	木更津S.S.	(0438)23-3035	292-0000	木更津市清見台2-1-3 グレイスビル1F
	柏S.C.	(0471)75-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
東京				
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷S.C.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル1F
	秋葉原S.S.	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	練馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
	八王子S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	首都圏メンテナンスセンター	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3
埼玉				
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮S.C.	(048)654-5241	330-0037	大宮市東大成町2-658-1
	熊谷S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
	川越S.S.	(0492)42-4496	350-1106	川越市小室491-1
神奈川				
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	横須賀S.S.	(0468)34-9261	239-0831	横須賀市久里浜6-4-1
	川崎S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2 (第2石原ビル)
	平塚S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原S.C.	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
静岡				
静岡	静岡S.C.	(054)282-4141	422-8006	静岡市曲金6-5-28
	沼津S.S.	(0559)22-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
東海、北陸				
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河S.C.	(0564)26-1005	444-2133	岡崎市井ノ口町字河原西31-1
	豊橋S.S.	(0532)64-0815	440-0853	豊橋市佐藤5-19-1
岐阜	岐阜S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町4丁目1-3
石川	金沢S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本4丁目65-17
福井	福井S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

0101

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
		近畿		
滋賀	滋賀S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京都S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31番地の1
京都北部	福知山S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良S.S.	(07442)4-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	大阪南S.C.	(06)6768-5489	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16
	堺S.C.	(0722)54-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊勢ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	大阪メンテナンスセンター	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
		中国		
岡山	岡山S.C.	(086)243-1566	700-0926	岡山市西古松西町8-23
広島	広島S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山S.S.	(0849)31-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口S.C.	(0839)73-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下関S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
		四国		
香川	高松S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島S.C.	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知S.S.	(088)882-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛媛	松山S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
	新居浜S.S.	(0897)67-1080	792-0881	新居浜市松神子2-2-25
		九州・沖縄		
福岡	福岡S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米S.S.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州S.C.	(093)921-3981	802-0065	北九州市小倉北区三萩野2-9-3
佐賀	佐賀S.S	(0952)26-8785	840-0023	佐賀市本庄町大字袋265-1
長崎	長崎S.C	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分S.C.	(097)543-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2
熊本	熊本S.C	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見8-1-10
宮崎	宮崎S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡S.S.	(0982)35-7077	882-0857	延岡市旭町24-3
鹿児島	鹿児島S.C.	(099)282-6818	890-0034	鹿児島市田上7丁目9-8
沖縄	沖縄S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16
		山陰		
島根	山陰ビクター販売(株) サービスセンター (松江・米子担当)	(0852)31-8900	690-0823	松江市学園1丁目16-39
	出雲営業所サービス係	(0853)21-4611	693-0001	出雲市今市町854
	浜田営業所サービス係	(0855)22-1584	697-0023	浜田市長沢町871-1
鳥取	鳥取営業所サービス係	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1

●海外主要都市でのビデオムービーご相談窓口

カナダ JVC CANADA INC.
・トロント (416-293-1311)
21 Finchdene Square, Scarborough, Ontario M1X 1A7

アメリカ JVC SERVICE & ENGINEERING COMPANY OF AMERICA
・ロサンゼルス (714-229-8011)
5665 Corporate Avenue Cypress, CA 90630-0024
・ニュージャージー (973-396-1000)
10 New Maple Avenue, Pine Brook, NJ 07058-9641
・ホノルル (808-833-5828)
2969 Mapunapuna Place, Honolulu, HI 96819-2040

イギリス JVC (U.K.) LIMITED
・ロンドン (0208-450-3282)
JVC BUSINESS PARK 14 Priestley Way, London NW2 7BA

フランス JVC FRANCE S.A.
・パリ (01-61-04-11-11)
1, Avenue, Eiffel 78422 Carrieres Sur Seine Cedex

シンガポール JVC ASIA PTE. LTD.
・シンガポール (255-8155)
31Kaki Bukit Roard 3, #06-18 Techlink, Singapore 417818

(注)・その他の地域に関しては、おでかけの前にお客様ご相談センターにご相談ください。・海外では日本の保証書は適用されません。
・日本語での対応はできないサービスセンターもございます。

●ビクター製品についてのご相談窓口

お買物相談、お取扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は、下記にご相談ください。

お客様ご相談センター	(03)5684-9311	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル
	(06)6765-4161	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

他


こころのかよう
サービス

サービスネットワークBS 9001

主な仕様

[ビデオカメラ]

一般仕様

項　目	仕　様
電源	DC11.0 V（ACアダプター使用時）、DC 7.2 V（バッテリー使用時）
消費電力	4.3 W（ファインダー使用時）、5.3 W（液晶画面使用時）、 7.8 W（ファインダーとビデオライト使用時）、 8.8 W（液晶画面とビデオライト使用時）
外形寸法	83 mm × 97 mm × 188 mm（幅×高さ×奥行き）
質量	本体質量　約 600 g 撮影時質量　約 740 g（バッテリー8N-V416、カセットM-DV30ME含む）
許容動作温度	0 °C ～ 40 °C
許容相対湿度	35 % ～ 80 %
許容保存温度	–20 °C ～ 50 °C

カメラ部仕様

項　目	仕　様
撮像素子	1/4型 68万画素CCD （撮像エリア　34万画素）
レンズ	F1.8、f=3.6 mm ～ 36 mm （35 mmカメラ換算：46 mm ～ 460 mm）
フィルター径	37 mm（ネジピッチ 0.75 mm）
ズーム倍率	光学10倍、最大100倍（デジタル使用）
最低照度	9ルクス

デジタルビデオカメラ部仕様

項　目	仕　様
録画／再生方式	DV方式（SD仕様） 映像：デジタルコンポーネント記録 音声：PCMデジタル記録、32 kHz 4チャンネル（12BIT）、 48 kHz 2チャンネル（16BIT）、44.1kHz（再生のみ）
信号方式	NTSC日米標準信号方式
使用カセット	ミニDVカセット
録画／再生時間	SPモード：80分、LPモード：120分（DVM80テープ使用時）
早送り／巻き戻し時間	約3分（DVM60テープ使用時）

デジタルスチルカメラ部仕様

項　目	仕　様
記憶メディア	マルチメディアカード／SDメモリーカード
圧縮方式	JPEG準拠
画像サイズ	VGA（640 × 480ドット）
画質	2モード（ファイン/スタンダード）
撮影可能枚数	ファイン:約100枚、スタンダード:約200枚（8MBのメモリーカード使用時）

液晶画面／ファインダー部仕様

項　目	仕　様
液晶画面	3型、11万画素　カラー液晶
ファインダー	0.44型、11万画素　カラー液晶

端子部仕様

項　目	仕　様
DV入力／出力端子	4ピン（i.LINK／IEEE1394準拠）
S2入力／出力端子 （S映像入力／出力端子）	アナログ入力（Y:0.8 V (p-p)－1.2 V (p-p)、75Ω C:0.2 V (p-p)－0.4 V (p-p)、75Ω） アナログ出力（Y:1.0 V (p-p)、75 Ω　C:0.29 V (p-p)、75 Ω）
AV入力／出力端子 （映像／音声入力／出力端子）	φ3.5 mmミニジャック 映像：アナログ入力（0.8 V (p-p)－1.2 V (p-p)、75 Ω） アナログ出力（1.0 V (p-p)、75 Ω） 音声：ステレオ／アナログ入力（300 mVrms、50 kΩ） ステレオ／アナログ出力（300 mVrms、1 kΩ）
USB端子	5 ピン
編集端子	φ3.5 mmミニジャック

[AC アダプター]

一般仕様

項　目	仕　様
定格入力	AC 100 V ～ 240 V、50 Hz/60 Hz
入力容量	25 VA（100 V）、34 VA（240 V）
定格出力	DC 11 V 、1 A
許容動作温度	0℃～40℃（充電時は10℃～35℃）
外形寸法	59 mm × 31 mm × 84 mm（幅×高さ×奥行き）
質量	約130 g

●仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

● 本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。この取扱説明書に従って正しく取り扱いをしてください。

メニュー一覧

撮影時

電源ダイヤルを「M」に設定し、メニューダイヤルを押すと表示されます。

■は初期値

アイコン	メニュー	
	場面切替	
	フェーダー：白	ワイプ：シャッター
	フェーダー：黒	P オーバーラップ
	フェーダー：白黒	P ワイプ：コーナー
	モザイク	P ワイプ：ウィンドウ
	ワイプ：コーナー	P ワイプ：スライド
	ワイプ：ウィンドウ	P ワイプ：ドア
	ワイプ：スライド	P ワイプ：スクロール
	ワイプ：ドア	P ワイプ：シャッター
	ワイプ：スクロール	切
	プログラムAE	
	1/60 シャッター1/60	B/W 白黒
	1/100 シャッター1/100	映画効果
	スポーツ	ストロボ
	スノー	1 高感度4倍
	スポットライト	2 高感度10倍
	夜景	ゴースト
	セピア	
	白バランス	
	オート	くもり
	ワンタッチ	ハロゲン
	はれ	

アイコン	メニュー	サブメニュー		
A	**フルオート設定**			
	録画モード	SP	LP	
	音声モード	12BIT	16BIT	
	ズーム	10倍	40倍	100倍
	記念写真モード	ピンナップ	フレーム	フル
		4マルチ	9マルチ	
	感度アップ	切	AGC	オート
M	**マニュアル設定**			
	手ぶれ補正	切	入	
	テレマクロ	切	入	
	ワイド効果	切	シネマ	ワイド
	ボイスポジション	切	入	
	システム設定			
	ブザー	切	ブザー	メロディー
	タリー	切	入	
	デモモード	切	入	
	照明	切	入	
	プリセット	キャンセル	実行	

■は初期値

アイコン	メニュー	サブメニュー		
	日時／表示設定			
	画面表示切替	モニター	モニター/TV	
	日時表示	切	オート	入
	タイムコード	切	入	
	年月日時計合わせ	現在の年月日、時刻を設定する		
	静止画撮影設定			
	画質設定	ファイン	スタンダード	
	記録選択	→[テープ]	→[テープ]／→[M]	

再生時

電源ダイヤルを「見る」に設定し、メニューダイヤルを押すと表示されます。
「メモリー再生モード設定」は、ビデオ／静止画スイッチを「静止画」にしているときのみ選択できます。

■は初期値

アイコン	メニュー	サブメニュー		
	ビデオ再生モード設定			
	音声切替	ステレオ	音声L	音声R
	12BIT音声	ミックス	音声1	音声2
	シンクロ補正	−1.3～ ±0.0 ～+1.3		
	録画モード	SP	LP	
	[テープ] → [M] コピー	切	入	
	アナログ入力	切	入	
	システム設定			
	ブザー	切	ブザー	メロディー
	タリー	切	入	
	デモモード	切	入	
	照明	切	入	
	プリセット	キャンセル	実行	
	日時／表示設定			
	画面表示切替	モニター	モニター/TV	
	日時表示	切	オート	入
	タイムコード	切	入	
M	**メモリー再生モード設定**			
	インデックス	（インデックス画面を表示します）		
	プロテクト	（プロテクト画面を表示します）		
	削除	キャンセル	表示画像	選択　すべて
	DPOF設定	選択	すべて1枚	リセット
	フォーマット	キャンセル	実行	

他

索引

他

Tokyo Video Festival
An International Video Contest for the People Around the World
東京ビデオフェスティバル

■「東京ビデオフェスティバル」は日本ビクターが主催するどなたでも参加できる国際的ビデオフェスティバルです。審査は著名な映画監督、俳優、作家の方々によって行われます。
■入賞作品のダイジェスト動画映像はビクターホームページでご覧いただけます。

■お問い合わせ先
日本ビクター株式会社　東京ビデオフェスティバル事務局
〒105-0004 東京都港区新橋1-7-1 ビクタービル内
☎03-3289-2815 Fax: 03-3289-2819
E-mail: jvc-tvf1@mb.kcom.ne.jp (2001年2月現在)

ご相談や修理は

故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に138～143ページをご確認ください。

修理相談

ご転居等で保証書に記載のお買上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、157ページの「保証とアフターサービス」をお読みのうえ、158～159ページの「ビクターサービス窓口」にご相談ください。

お問い合わせ

ビクター製品についてのお買い物相談、お取り扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は、下記までお問い合わせください。

東京お客様ご相談センター

東京 ☎ (03) 5684-9311

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

大阪お客様ご相談センター

大阪 ☎ (06) 6765-4161

〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

この機種についてのお取り扱い、技術的なご相談は、下記までお問い合わせください。

DVご相談窓口

☎ (045)450-2770

ビクターホームページ　http://www.jvc-victor.co.jp/





JVC

日本ビクター株式会社



ホームAVネットワークビジネスユニット

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地　電話 (045)450-2550

0101HOV＊BS＊VP

操作がわからなくなったときに役立つ
使いこなしダイジェスト

このページを切り取り、
破線にそって折り、
携帯用としてお使いください。

ピントを手動で合わせる

①電源ダイヤルを「M」に合わせる
②フォーカスボタンを押す
③メニューダイヤルを回してピントを合わせる
④メニューダイヤルを押す

●オートフォーカスに戻すには、フォーカスボタンを2回押す

最大ズーム倍率を変更する

①電源ダイヤルを「M」に合わせる
②メニューダイヤルを押す
③メニューダイヤルを回して「Aフルオート設定」を選び、ダイヤルを押す
④メニューダイヤルを回して「ズーム」を選び、ダイヤルを押す
⑤メニューダイヤルを回してお好みの倍率を選び、ダイヤルを押す
⑥メニューダイヤルを2回押す

画面の明るさを調節する

① 電源ダイヤルを「M」に合わせる
② メニューダイヤルを回して画面の明るさを調節する

画像の明るさを調節する

① 電源ダイヤルを「M」に合わせる
② 明るさ補正ボタンを押す
③ メニューダイヤルを回して明るさを調節する
④ メニューダイヤルを押す

● 自動調節に戻すには、明るさ補正ボタンを2回押す

操作音を消す

① 電源ダイヤルを「M」に合わせる
② メニューダイヤルを押す
③ メニューダイヤルを回して「システム設定」を選び、ダイヤルを押す
④ メニューダイヤルを回して「ブザー」を選び、ダイヤルを押す
⑤ メニューダイヤルを回して「切」を選び、ダイヤルを押す
⑥ メニューダイヤルを2回押す

録画モードを変更する

①電源ダイヤルを「M」に合わせる
②メニューダイヤルを押す
③メニューダイヤルを回して「Aフルオート設定」を選び、ダイヤルを押す
④メニューダイヤルを回して「録画モード」を選び、ダイヤルを押す
⑤メニューダイヤルを回して「SP」または「LP」を選び、ダイヤルを押す
⑥メニューダイヤルを2回押す

画像の色合いを調節する

①電源ダイヤルを「M」に合わせる
②メニューダイヤルを押す
③メニューダイヤルを回して「白バランス」を選び、ダイヤルを押す
④メニューダイヤルを回してお好みのモードを選び、ダイヤルを押す
⑤メニューダイヤルを押す

●自動調節に戻すには、手順④で「オート」を選ぶ

メニューの設定を初期値に戻す

①電源ダイヤルを「M」に合わせる
②メニューダイヤルを押す
③メニューダイヤルを回して「システム設定」を選び、ダイヤルを押す
④メニューダイヤルを回して「プリセット」を選び、ダイヤルを押す
⑤メニューダイヤルを回して「実行」を選び、ダイヤルを押す
⑥メニューダイヤルを2回押す

日時を設定する

① 電源ダイヤルを「M」に合わせる
② メニューダイヤルを押す
③ メニューダイヤルを回して「日時/表示設定」を選び、ダイヤルを押す
④ メニューダイヤルを回して「年月日時計合わせ」を選び、ダイヤルを押す
⑤ メニューダイヤルを回して年を合わせ、ダイヤルを押す
⑥ 同様にして月日と時刻を合わせ、ダイヤルを押す
⑦ メニューダイヤルを2回押す

フェーダー/ワイプを設定する

① 電源ダイヤルを「M」に合わせる
② メニューダイヤルを押す
③ メニューダイヤルを回して「場面切替」を選び、ダイヤルを押す
④ メニューダイヤルを回してお好みのモードを選び、ダイヤルを押す
⑤ メニューダイヤルを押す

● フェーダー/ワイプをやめたいときは、手順④で「切」を選ぶ

プログラムAEを設定する

① 電源ダイヤルを「M」に合わせる
② メニューダイヤルを押す
③ メニューダイヤルを回して「プログラムAE」を選び、ダイヤルを押す
④ メニューダイヤルを回してお好みのモードを選び、ダイヤルを押す
⑤ メニューダイヤルを押す
⑥ プログラムAEボタンを押す

● プログラムAEをやめたいときは、再度、プログラムAEボタンを押す

画質モードを変更する

① 電源ダイヤルを「M」に合わせる
② メニューダイヤルを押す
③ メニューダイヤルを回して「静止画撮影設定」を選び、ダイヤルを押す
④ メニューダイヤルを回して「画質設定」を選び、ダイヤルを押す
⑤ メニューダイヤルを回して「ファイン」または「スタンダード」を選び、ダイヤルを押す
⑥ メニューダイヤルを2回押す

静止画モードを変更する

① 電源ダイヤルを「M」に合わせる
② メニューダイヤルを押す
③ メニューダイヤルを回して「A フルオート設定」を選び、ダイヤルを押す
④ メニューダイヤルを回して「記念写真モード」を選び、ダイヤルを押す
⑤ メニューダイヤルを回してお好みのモードを選び、ダイヤルを押す
⑥ メニューダイヤルを2回押す

静止画を自動で再生する

① 電源ダイヤルを「見る」に合わせる
② ビデオ/静止画スイッチを「静止画」に合わせる
③ 再生（▶/❚❚）ボタンを押す

● 自動再生をやめたいときは、停止（■）ボタンを押す

静止画を一覧表示する

① 電源ダイヤルを「見る」に合わせる
② ビデオ/静止画スイッチを「静止画」に合わせる
③ メニューダイヤルを押す
④ メニューダイヤルを回して「メモリー再生モード設定」を選び、ダイヤルを押す
⑤ メニューダイヤルを回して「インデックス」を選び、ダイヤルを押す

● 一覧表示をやめたいときは、メニューダイヤルを押す

